

大学番号：045

注3

[平成29年度設置]

計画の区分： 研究科の設置

注1

意見伺い

名古屋大学大学院 情報学研究科

注2

【意見伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人名古屋大学
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画部企画課

職名・氏名 カチヨウ クマガイ カナコ
課長・熊谷 果奈子

電話番号 052-789-5758

（夜間） 同上

F A X 052-747-6500

e-mail sougoukikakusitu1@adm.nagoya-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

大学院情報学研究科

数理情報学専攻<博士後期課程>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	4
2. 授業科目の概要	9
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	23
6. 附帯事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	32

複雑系科学専攻<博士後期課程>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	35
2. 授業科目の概要	40
3. 施設・設備の整備状況、経費	46
4. 既設大学等の状況	48
5. 教員組織の状況	56
6. 附帯事項等に対する履行状況等	67
7. その他全般的事項	68

社会情報学専攻<博士後期課程>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	73
2. 授業科目の概要	78
3. 施設・設備の整備状況、経費	82
4. 既設大学等の状況	83
5. 教員組織の状況	91
6. 附帯事項等に対する履行状況等	99
7. その他全般的事項	100

心理・認知科学専攻<博士後期課程>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	103
2. 授業科目の概要	108
3. 施設・設備の整備状況、経費	112
4. 既設大学等の状況	114
5. 教員組織の状況	122
6. 附帯事項等に対する履行状況等	130
7. その他全般的事項	131

情報システム学専攻<博士後期課程>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	136
2. 授業科目の概要	141
3. 施設・設備の整備状況、経費	145
4. 既設大学等の状況	146
5. 教員組織の状況	154
6. 附帯事項等に対する履行状況等	168
7. その他全般的事項	169

知能システム学専攻<博士後期課程>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	173
2. 授業科目の概要	178
3. 施設・設備の整備状況、経費	182
4. 既設大学等の状況	184
5. 教員組織の状況	192
6. 附帯事項等に対する履行状況等	205
7. その他全般的事項	206

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

(2) 大学名

名古屋大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾 清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺 芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山 直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下 裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻 朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村 彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満 鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北 一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋 雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷 桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月 正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷 通子 (平成27年4月)		
研究科長	(ムラセ ヒロシ) 村瀬 洋 (平成29年4月)		

副研究科長	(キタ エイスケ) 北 栄 輔 (平成29年4月)		
副研究科長	(アリタ タカヤ) 有 田 隆 也 (平成29年4月)	(エダヒロ マサト) 枝 廣 正 人 (平成31年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成31年4月 1日(31)

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
情報学研究科 数理情報学専攻 (博士後期課程) 博士(情報学) 博士(学術)	理学関係	3年	4人	年次人	12人	基礎となる学部等 情報学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	0.91倍	-	
志願者数	()	()	()	()	3	-	6	-	4						
受験者数	()	()	()	()	3	-	6	-	4						
合格者数	()	()	()	()	3	-	5	-	4						
B 入学者数	()	()	()	()	3	-	5	-	3						
入学定員超過率 B/A					0.75		1.25		0.75						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	3 [1] (-)	- [-] (-)	5 [3] (-)	- [-] (-)	3 [-] (-)	- [-] (-)			
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	3 [1] (-)	- [-] (-)	5 [3] (-)	- [-] (-)			
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	3 [1] (-)	- [-] (-)			
4年次	/				[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	3 [1] (-)	8 [4] (-)	11 [4] ()				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	3人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	8人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	11人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{3} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<情報学研究科 数理情報学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	情報学特論II	1①		1								7
	情報倫理II	1②		1								1
	リーダーシップ特論	1①		1								3
	実世界データ循環システム特論II-1	1③		1								1
	実世界データ循環システム特論II-2	1④		1								1
	小計(5科目)	-		5								13
実践的教育科目	インターンシップII-A	1-2-3 ①②③ ④		2								1
	インターンシップII-B	1-2-3 ①②③ ④		1								1
	インターンシップII-C	1-2-3 ①②③ ④		2								1
	グローバルチャレンジII-A	1-2① ②③④		2								2
	グローバルチャレンジII-B	1-2① ②③④		3								2
	グローバルチャレンジII-C	1-2① ②③④		4								2
	グローバルチャレンジII-D	1-2① ②③④		5								2
	グローバルチャレンジII-E	1-2① ②③④		6								2
		小計(8科目)	-		25							
主専攻科目 セミナー	数理情報学基礎論セミナーII-a	1①		1		3	1	1				
	数理情報学基礎論セミナーII-b	1②		1		3	1	1				
	数理情報学基礎論セミナーII-c	1③		1		3	1	1				
	数理情報学基礎論セミナーII-d	1④		1		3	1	1				
	数理情報学基礎論セミナーII-e	2①		1		3	1	1				
	数理情報学基礎論セミナーII-f	2②		1		3	1	1				
	数理情報学基礎論セミナーII-g	2③		1		3	1	1				
	数理情報学基礎論セミナーII-h	2④		1		3	1	1				
	数理情報学モデル論セミナーII-a	1①		1		1	2		1			
	数理情報学モデル論セミナーII-b	1②		1		1	2		1			
	数理情報学モデル論セミナーII-c	1③		1		1	2		1			
	数理情報学モデル論セミナーII-d	1④		1		1	2		1			
	数理情報学モデル論セミナーII-e	2①		1		1	2		1			
	数理情報学モデル論セミナーII-f	2②		1		1	2		1			
	数理情報学モデル論セミナーII-g	2③		1		1	2		1			
	数理情報学モデル論セミナーII-h	2④		1		1	2		1			
	小計(16科目)	-		16		32	24	8	8			
	(研究指導)	-		-		4	3	1				
	小計(1科目)	-				4	3	1				
合計(30科目)			-	46		36	27	9	8			26

卒業要件及び履修方法

主専攻科目(セミナー)から6単位以上を含む合計8単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び学位試験に合格すること

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	情報学特論II(未開講)	1①		1								7
	情報倫理II(未開講)	1②		1								1
	リーダーシップ特論(未開講)	1①		1								3
	実世界データ循環システム特論II-1(未開講)	1③		1								1
	実世界データ循環システム特論II-2(未開講)	1④		1								1
	小計(5科目)	-		5								13
実践的教育科目	インターンシップII-A	1-2-3 ①②③ ④		2								1
	インターンシップII-B	1-2-3 ①②③ ④		1								1
	インターンシップII-C	1-2-3 ①②③ ④		2								1
	グローバルチャレンジII-A	1-2① ②③④		2								2
	グローバルチャレンジII-B	1-2① ②③④		3								2
	グローバルチャレンジII-C	1-2① ②③④		4								2
	グローバルチャレンジII-D	1-2① ②③④		5								2
	グローバルチャレンジII-E	1-2① ②③④		6								2
		小計(8科目)	-		25							
主専攻科目 セミナー	数理情報学基礎論セミナーII-a(未開講)	1①		1		3	1	1				
	数理情報学基礎論セミナーII-b(未開講)	1②		1		3	1	1				
	数理情報学基礎論セミナーII-c(未開講)	1③		1		3	1	1				
	数理情報学基礎論セミナーII-d(未開講)	1④		1		3	1	1				
	数理情報学基礎論セミナーII-e(未開講)	2①		1		3	1	1				
	数理情報学基礎論セミナーII-f(未開講)	2②		1		3	1	1				
	数理情報学基礎論セミナーII-g(未開講)	2③		1		3	1	1				
	数理情報学基礎論セミナーII-h(未開講)	2④		1		3	1	1				
	数理情報学モデル論セミナーII-a	1①		1		1	2		1			
	数理情報学モデル論セミナーII-b	1②		1		1	2		1			
	数理情報学モデル論セミナーII-c(未開講)	1③		1		1	2		1			
	数理情報学モデル論セミナーII-d(未開講)	1④		1		1	2		1			
	数理情報学モデル論セミナーII-e	2①		1		1	2		1			
	数理情報学モデル論セミナーII-f	2②		1		1	2		1			
	数理情報学モデル論セミナーII-g	2③		1		1	2		1			
	数理情報学モデル論セミナーII-h	2④		1		1	2		1			
	小計(16科目)	-		16		40	16	8	8			
	(研究指導)	-		-		5	2	1				
	小計(1科目)	-				5	2	1				
合計(30科目)			-	46		45	18	9	8			26

卒業要件及び履修方法

主専攻科目(セミナー)から6単位以上を含む合計8単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び学位試験に合格すること

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
共通科目	情報学特論II	1①		1							7	
	情報倫理II	1②		1							1	
	リーダーシップ特論(未開講)	1①		1							3	
	実世界データ循環システム特論II-1	1③		1							1	
	実世界データ循環システム特論II-2	1④		1							1	
	小計(5科目)	-		5							13	
実践的教育科目	インターンシップII-A	1・2・3 ①②③ (4)		2							1	
	インターンシップII-B	1・2・3 ①②③ (4)		1							1	
	インターンシップII-C	1・2・3 ①②③ (4)		2							1	
	グローバルチャレンジII-A	1・2① ②③④		2							2	
	グローバルチャレンジII-B	1・2① ②③④		3							2	
	グローバルチャレンジII-C	1・2① ②③④		4							2	
	グローバルチャレンジII-D	1・2① ②③④		5							2	
	グローバルチャレンジII-E	1・2① ②③④		6							2	
	小計(8科目)	-		25							13	
主専攻科目	セミナー	数理情報学基礎論セミナーII-a	1①	1		3	1	1				
		数理情報学基礎論セミナーII-b	1②	1		3	1	1				
		数理情報学基礎論セミナーII-c	1③	1		3	1	1				
		数理情報学基礎論セミナーII-d	1④	1		3	1	1				
		数理情報学基礎論セミナーII-e	2①	1		3	1	1				
		数理情報学基礎論セミナーII-f	2②	1		3	1	1				
		数理情報学基礎論セミナーII-g	2③	1		3	1	1				
		数理情報学基礎論セミナーII-h	2④	1		3	1	1				
		数理情報学モデル論セミナーII-a(未開講)	1①	1		2	2		1			
		数理情報学モデル論セミナーII-b(未開講)	1②	1		2	2		1			
		数理情報学モデル論セミナーII-c	1③	1		2	2		1			
		数理情報学モデル論セミナーII-d	1④	1		2	2		1			
		数理情報学モデル論セミナーII-e	2①	1		2	2		1			
		数理情報学モデル論セミナーII-f	2②	1		2	2		1			
		数理情報学モデル論セミナーII-g	2③	1		2	2		1			
		数理情報学モデル論セミナーII-h	2④	1		2	2		1			
	小計(16科目)	-		16		40	24	8	8			
	(研究指導)	-		-		4	3	1				
	小計(1科目)	-		-		4	3	1				
合計(30科目)		-		46		44	27	9	8		26	
卒業要件及び履修方法												
主専攻科目(セミナー)から6単位以上を含む合計8単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び学位試験に合格すること												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
共通科目	情報学特論II(未開講)	1①		1							7	
	情報倫理II(未開講)	1②		1							1	
	リーダーシップ特論(未開講)	1①		1							3	
	実世界データ循環システム特論II-1(未開講)	1③		1							1	
	実世界データ循環システム特論II-2(未開講)	1④		1							1	
	小計(5科目)	-		5							13	
実践的教育科目	インターンシップII-A	1・2・3 ①②③ (4)		2							1	
	インターンシップII-B	1・2・3 ①②③ (4)		1							1	
	インターンシップII-C	1・2・3 ①②③ (4)		2							1	
	グローバルチャレンジII-A	1・2① ②③④		2							2	
	グローバルチャレンジII-B	1・2① ②③④		3							2	
	グローバルチャレンジII-C	1・2① ②③④		4							2	
	グローバルチャレンジII-D	1・2① ②③④		5							2	
	グローバルチャレンジII-E	1・2① ②③④		6							2	
	小計(8科目)	-		25							13	
主専攻科目	セミナー	数理情報学基礎論セミナーII-a(未開講)	1①	1		3	1	1				
		数理情報学基礎論セミナーII-b(未開講)	1②	1		3	1	1				
		数理情報学基礎論セミナーII-c(未開講)	1③	1		3	1	1				
		数理情報学基礎論セミナーII-d(未開講)	1④	1		3	1	1				
		数理情報学基礎論セミナーII-e(未開講)	2①	1		3	1	1				
		数理情報学基礎論セミナーII-f(未開講)	2②	1		3	1	1				
		数理情報学基礎論セミナーII-g	2③	1		3	1	1				
		数理情報学基礎論セミナーII-h	2④	1		3	1	1				
		数理情報学モデル論セミナーII-a	1①	1		2	2		1			
		数理情報学モデル論セミナーII-b	1②	1		2	2		1			
		数理情報学モデル論セミナーII-c(未開講)	1③	1		2	2		1			
		数理情報学モデル論セミナーII-d(未開講)	1④	1		2	2		1			
		数理情報学モデル論セミナーII-e	2①	1		2	2		1			
		数理情報学モデル論セミナーII-f	2②	1		2	2		1			
		数理情報学モデル論セミナーII-g	2③	1		2	2		1			
		数理情報学モデル論セミナーII-h	2④	1		2	2		1			
	小計(16科目)	-		16		40	24	8	8			
	(研究指導)	-		-		4	3	1				
	小計(1科目)	-		-		4	3	1				
合計(30科目)		-		46		36	27	9	8		26	
卒業要件及び履修方法												
主専攻科目(セミナー)から6単位以上を含む合計8単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び学位試験に合格すること												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

特になし。

【平成30年度】

・担当教員の退職のため、「数理情報学モデル論セミナーII-a~d」の専任教員の配置を「教授2」から「教授1」に変更。

【令和元年度】

・担当教員の職位の変更のため、「数理情報学モデル論セミナーII-a~h」の専任教員の配置を「教授1」から「教授2」に、「准教授2」から「准教授1」に変更。
 ・担当教員の職位の変更のため、「研究指導」の専任教員の配置を「教授4」から「教授5」に、「准教授3」から「准教授2」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	29 科目	0 科目	29 科目	0 科目 [0]	29 科目 [0]	0 科目 [0]	29 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{29} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容				備考		
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体 うち附属病院 51,789㎡ 施設整備（新築、改修、解体）に伴う、面積・室数の増減のため(元)	
	校舎敷地	628,131 617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131 617,966 ㎡			
	運動場用地	105,775 105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775 105,994 ㎡			
	小計	733,906 723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906 723,960 ㎡			
	その他	2,507,320 2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320 2,495,186 ㎡			
	合計	3,241,226 3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226 3,219,146 ㎡			
(2) 校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体		
	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	252 -234 室	232 -240 室	1,680 -1,326 室	16 17 室 (補助職員 1 人)	14 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室数			専任教員を新規採用したため(29)		
	情報学研究科		114 室 112 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体
	情報学部・情報学研究科	3,272,188 -〔1,527,524〕 3,353,092 -〔1,550,503〕 3,337,531 〔1,531,848〕	54,571〔23,725〕 54,836〔24,093〕 54,722〔23,560〕	30,880〔30,309〕 20,848〔20,776〕 20,678〔20,608〕	59,261 10,294	17,798	129,577	
		3,272,188〔1,527,524〕 3,353,092〔1,550,503〕 3,337,531〔1,531,848〕	-〔54,571〔23,725〕〕 -〔54,836〔24,093〕〕 (54,722〔23,560〕)	-〔30,880〔30,309〕〕 -〔20,848〔20,776〕〕 (20,678〔20,608〕)	(59,261 10,294)	(17,798)	(129,577)	
	計	3,272,188 -〔1,527,524〕 3,353,092 -〔1,550,503〕 3,337,531 〔1,531,848〕	54,571〔23,725〕 54,836〔24,093〕 54,722〔23,560〕	30,880〔30,309〕 20,848〔20,776〕 20,678〔20,608〕	59,261 10,294	17,798	129,577	
(6) 図書館	面積	閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体		
	24,829 ㎡ 28,681 ㎡	2,031 2,195 席		3,140,500 冊				
(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体	
	9,229 ㎡	弓道場、プール(25m×7コース)、陸上競技場(400mトラック)、テニスコート(11面)、野球場(1面)、相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場(各1か所)						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
千円		千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の

項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次 10	520	学士(文学)	1.04		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次 10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次 10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)			昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)			昭和24年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報学部				405		1.03	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	177	学士(情報学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数理学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,494				昭和24年度		3年次編入20人を含む。保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
医学科	6	107	3年次 5	662	学士(医学)	1.01	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	
保健学科	4	200	3年次 — 2年次 —	832	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				2,040		1.02		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		平成29年度より学生募集停止
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		平成29年度より学生募集停止
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		平成29年度より学生募集停止
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
化学生命工学科	4	99	—	297	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	249	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	330	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	354	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	450	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	120	学士(工学)	1.04	平成29年度	平成29年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
環境土木・建築学科	4	80	—	240	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
農学部				680		1.07		昭和26年度		
生物環境科学科	4	35	—	140	学士(農学)	1.08		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士(農学)	1.06		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士(農学)	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 55 2年次 — 年次	7,979						
文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		昭和28年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(歴史学)	—		平成12年度		
					博士(文学)					
					博士(歴史学)					
人文学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 (博士前期課程)	2	104	—	208	修士(文学)	0.99	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	61	—	183	修士(歴史学)					
					修士(学術)					
					博士(文学)	0.73	平成29年度			
					博士(歴史学)					
					博士(学術)					
教育発達科学研究科								昭和28年度 (平成12年度名称変更) 平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(教育学)	0.73				
(博士後期課程)	3	16	—	48	修士(教育)					
					博士(教育学)	0.70				
					博士(教育)					
心理発達科学専攻 (博士前期課程)	2	22	—	44	修士(心理学)	0.88		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	修士(臨床心理学)					
					博士(心理学)	0.86				
法学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
総合法政専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(法学)	0.38		平成16年度		
(博士後期課程)	3	17	—	51	修士(比較法学)					
					修士(現代法学)					
					博士(法学)	0.42				
					博士(比較法学)					
					博士(現代法学)					
実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.66		平成16年度		
経済学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(経済学)	1.01		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	修士(経営管理)					
					博士(経済学)	0.51				
産業経営システム専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(経済学)	1.06		平成12年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(経済学)	0.75				
情報学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(情報学)	1.13	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	修士(学術)					
					博士(情報学)	0.91				
					博士(学術)					
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(情報学)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	修士(学術)					
					博士(情報学)	0.79				
					博士(学術)					

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会情報学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(情報学)	0.88	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	5	—	15	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.66				
心理・認知科学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学) 修士(学術)	0.73	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(情報学) 博士(学術)	0.99				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学) 修士(学術)	1.04	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(情報学) 博士(学術)	0.55				
知能システム学専攻 (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学) 修士(学術)	1.24	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(情報学) 博士(学術)	0.83				
理学研究科								昭和28年度 平成7年度		
素粒子宇宙物理学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05				
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(理学)	0.88				
物質理学専攻 (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20		平成7年度		
(博士後期課程)	3	22	—	66	博士(理学)	0.66				
生命理学専攻 (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05		平成8年度		
(博士後期課程)	3	18	—	54	博士(理学)	0.42				
名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度		
医学系研究科								昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)
総合医学専攻 (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12				
名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度		
名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度		
名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度	平成30年10月学生受入開始	
医科学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87		平成13年度		
医療行政コース	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00				
看護学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(看護学)	—	平成14年度		愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(看護学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
医療技術学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	20	—	40	修士(医療技術学)	—				
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(医療技術学)	—				
リハビリテーション療法学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	10	—	20	修士(リハビリテーション療法学)	—				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(リハビリテーション療法学)	—				
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
電子情報システム専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
機械理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
航空宇宙工学専攻								昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
社会基盤工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
結晶材料工学専攻								昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
エネルギー理工学専攻								平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
量子工学専攻								平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マイクロ・ナノシステム工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
物質制御工学専攻								平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				
生命分子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03				
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18				
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年度名称変更) 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
生物圏資源学専攻										
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
生命技術科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
森林・資材科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	27 6	— —	54 12	修士(農学) 博士(農学)	1.09 0.46	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
植物生産科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	30 9	— —	60 18	修士(農学) 博士(農学)	1.11 0.60	平成30年度	平成30年度		
動物科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	28 7	— —	56 14	修士(農学) 博士(農学)	0.98 0.21	平成30年度	平成30年度		
応用生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	66 16	— —	132 32	修士(農学) 博士(農学)	1.04 0.57	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オ ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科 国際開発専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— — — —		平成3年度 平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
国際協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— — — —		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(学術) 博士(学術)	— —		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
国際開発協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	44 22	— —	88 44	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学)	1.13 0.61	平成30年度	平成30年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
多元数理科学研究科					博士(学術)			平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
多元数理科学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(数理学)	1.06		平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(数理学)	0.49				
国際言語文化研究科								平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
日本語文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術)	—				
国際多元文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	博士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—				
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学)	0.87		平成13年度		
(博士後期課程)	3	24	—	72	修士(理学)	0.57				
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	博士(環境学)	1.24		平成13年度		
(博士後期課程)	3	21	—	63	修士(工学)	0.37				
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(建築学)	0.84		平成13年度		
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(環境学)	0.48				
情報科学研究科								平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(学術)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(情報科学)	—				
メディア科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	博士(工学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術)	—				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	博士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				
創薬科学研究科 基盤創薬学専攻								平成24年度		
(博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学)	1.13		平成24年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(創薬科学)	0.66		平成26年度		
合計										
博士前期課程		1,604	0	3,208						
博士後期課程		568	0	1,638						
博士課程		161	—	644						
修士課程		30	—	50						
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	松原 洋	専	教授	松原 洋	専	教授	松原 洋	専	教授	松原 洋
		柳浦 睦憲			柳浦 睦憲			柳浦 睦憲			柳浦 睦憲
		平成29年4月 博士 (工学)			平成29年4月 博士 (工学)			平成29年4月 博士 (工学)			平成29年4月 博士 (工学)
		数理情報学モデル論セミナーII-a 数理情報学モデル論セミナーII-b 数理情報学モデル論セミナーII-c 数理情報学モデル論セミナーII-d 数理情報学モデル論セミナーII-e 数理情報学モデル論セミナーII-f 数理情報学モデル論セミナーII-g 数理情報学モデル論セミナーII-h (研究指導)			数理情報学モデル論セミナーII-a 数理情報学モデル論セミナーII-b 数理情報学モデル論セミナーII-c 数理情報学モデル論セミナーII-d 数理情報学モデル論セミナーII-e 数理情報学モデル論セミナーII-f 数理情報学モデル論セミナーII-g 数理情報学モデル論セミナーII-h (研究指導)			数理情報学モデル論セミナーII-a 数理情報学モデル論セミナーII-b 数理情報学モデル論セミナーII-c 数理情報学モデル論セミナーII-d 数理情報学モデル論セミナーII-e 数理情報学モデル論セミナーII-f 数理情報学モデル論セミナーII-g 数理情報学モデル論セミナーII-h (研究指導)			数理情報学モデル論セミナーII-a 数理情報学モデル論セミナーII-b 数理情報学モデル論セミナーII-c 数理情報学モデル論セミナーII-d 数理情報学モデル論セミナーII-e 数理情報学モデル論セミナーII-f 数理情報学モデル論セミナーII-g 数理情報学モデル論セミナーII-h (研究指導)
専	准教授	佐藤 潤也	専	准教授	佐藤 潤也	専	准教授	佐藤 潤也	専	准教授	佐藤 潤也
		平成29年4月 博士 (理学)			平成29年4月 博士 (理学)			平成29年4月 博士 (理学)			平成29年4月 博士 (理学)
		数理情報学基礎論セミナーII-a 数理情報学基礎論セミナーII-b 数理情報学基礎論セミナーII-c 数理情報学基礎論セミナーII-d 数理情報学基礎論セミナーII-e 数理情報学基礎論セミナーII-f 数理情報学基礎論セミナーII-g 数理情報学基礎論セミナーII-h (研究指導)			数理情報学基礎論セミナーII-a 数理情報学基礎論セミナーII-b 数理情報学基礎論セミナーII-c 数理情報学基礎論セミナーII-d 数理情報学基礎論セミナーII-e 数理情報学基礎論セミナーII-f 数理情報学基礎論セミナーII-g 数理情報学基礎論セミナーII-h (研究指導)			数理情報学基礎論セミナーII-a 数理情報学基礎論セミナーII-b 数理情報学基礎論セミナーII-c 数理情報学基礎論セミナーII-d 数理情報学基礎論セミナーII-e 数理情報学基礎論セミナーII-f 数理情報学基礎論セミナーII-g 数理情報学基礎論セミナーII-h (研究指導)			数理情報学基礎論セミナーII-a 数理情報学基礎論セミナーII-b 数理情報学基礎論セミナーII-c 数理情報学基礎論セミナーII-d 数理情報学基礎論セミナーII-e 数理情報学基礎論セミナーII-f 数理情報学基礎論セミナーII-g 数理情報学基礎論セミナーII-h (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	松原 洋 長岡 正隆 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	松原 洋 長岡 正隆 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	松原 洋 長岡 正隆 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	松原 洋 長岡 正隆 平成29年4月 工学博士
		情報学特論II※			情報学特論II※			情報学特論II※			情報学特論II※
兼任	教授	北 栄輔 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	北 栄輔 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	北 栄輔 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	北 栄輔 平成29年4月 工学博士
		情報学特論II※ リーダーシップ特論※			情報学特論II※ リーダーシップ特論※			情報学特論II※ リーダーシップ特論※			情報学特論II※ リーダーシップ特論※
兼任	教授	戸田山 和久 平成29年4月 文学 修士※	兼任	教授	戸田山 和久 平成29年4月 文学 修士※	兼任	教授	戸田山 和久 平成29年4月 文学 修士※	兼任	教授	戸田山 和久 平成29年4月 文学 修士※
		情報学特論II※ 情報倫理II			情報学特論II※ 情報倫理II			情報学特論II※ 情報倫理II			情報学特論II※ 情報倫理II
兼任	教授	安田 孝美 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	安田 孝美 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	安田 孝美 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	安田 孝美 平成29年4月 工学博士
		情報学特論II※ リーダーシップ特論※			情報学特論II※ リーダーシップ特論※			情報学特論II※ リーダーシップ特論※			情報学特論II※ リーダーシップ特論※
兼任	教授	三輪 和久 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	三輪 和久 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	三輪 和久 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	三輪 和久 平成29年4月 工学博士
		情報学特論II※			情報学特論II※			情報学特論II※			情報学特論II※
兼任	教授	村瀬 洋 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	村瀬 洋 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	村瀬 洋 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	村瀬 洋 平成29年4月 工学博士
		情報学特論II※ リーダーシップ特論※ インターンシップII-A インターンシップII-B インターンシップII-C			情報学特論II※ リーダーシップ特論※ インターンシップII-A インターンシップII-B インターンシップII-C			情報学特論II※ リーダーシップ特論※ インターンシップII-A インターンシップII-B インターンシップII-C			情報学特論II※ リーダーシップ特論※ インターンシップII-A インターンシップII-B インターンシップII-C
兼任	教授	武田 一哉 平成29年4月 博士 (工学)	兼任	教授	武田 一哉 平成29年4月 博士 (工学)	兼任	教授	武田 一哉 平成29年4月 博士 (工学)	兼任	教授	武田 一哉 平成29年4月 博士 (工学)
		情報学特論II※ 実世界データ循環システム特論II-1 実世界データ循環システム特論II-2 グローバルチャレンジII-A グローバルチャレンジII-B グローバルチャレンジII-C グローバルチャレンジII-D グローバルチャレンジII-E			情報学特論II※ 実世界データ循環システム特論II-1 実世界データ循環システム特論II-2 グローバルチャレンジII-A グローバルチャレンジII-B グローバルチャレンジII-C グローバルチャレンジII-D グローバルチャレンジII-E			情報学特論II※ 実世界データ循環システム特論II-1 実世界データ循環システム特論II-2 グローバルチャレンジII-A グローバルチャレンジII-B グローバルチャレンジII-C グローバルチャレンジII-D グローバルチャレンジII-E			情報学特論II※ 実世界データ循環システム特論II-1 実世界データ循環システム特論II-2 グローバルチャレンジII-A グローバルチャレンジII-B グローバルチャレンジII-C グローバルチャレンジII-D グローバルチャレンジII-E
兼任	准教授	井手 一郎 平成29年4月 博士 (工学)	兼任	准教授	井手 一郎 平成29年4月 博士 (工学)	兼任	准教授	井手 一郎 平成29年4月 博士 (工学)	兼任	准教授	井手 一郎 平成29年4月 博士 (工学)
		グローバルチャレンジII-A グローバルチャレンジII-B グローバルチャレンジII-C グローバルチャレンジII-D			グローバルチャレンジII-A グローバルチャレンジII-B グローバルチャレンジII-C グローバルチャレンジII-D			グローバルチャレンジII-A グローバルチャレンジII-B グローバルチャレンジII-C グローバルチャレンジII-D			グローバルチャレンジII-A グローバルチャレンジII-B グローバルチャレンジII-C グローバルチャレンジII-D

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- ・ その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

特になし

【平成30年度】

・森本宏教授定年退職。設置時の計画通り、担当する全科目に十分な数の教員が配置されているため、授業の実施に支障はない。
・西村治道准教授の職位を教授に変更。平成30年7月AC教員審査済み。

【令和元年度】

特になし

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4 名	3 名	3 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
4	3	1	1	9	5	2	1	1	9
(5)	(3)	(1)	(1)	(10)					
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
6	2	1			5	2	2		
(7)	(2)	(1)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
6	3	1	1	11	5	2	1	1	9
[1]	[1]	[0]	[0]	[2]	[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
6	3	2			5	2	2		
[1]	[1]	[0]			[Δ1]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{10}{9} = \boxed{111.11} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1		該当なし							
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
0	人	必修	科目		必修	科目		必修	科目
		選択	科目		選択	科目		選択	科目
		自由	科目		自由	科目		自由	科目
		計	科目		計	科目		計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1		該当なし							
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
0	人	必修	科目		必修	科目		必修	科目
		選択	科目		選択	科目		選択	科目
		自由	科目		自由	科目		自由	科目
		計	科目		計	科目		計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{9} = 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	森本 宏	選択	数理情報学モデル論セミナーII-a	①	H30.3.31付け65歳で定年退職(30)				
			選択	数理情報学モデル論セミナーII-b	①					
			選択	数理情報学モデル論セミナーII-c	①					
			選択	数理情報学モデル論セミナーII-d	①					
			—	(研究指導)	①					
2										
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	4	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>定年退職の教員の担当科目については、設置時の計画通り、他の専任教員が担当し、学生への周知もシラバスや学生便覧等で行っている。</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<大学院情報学研究科 数理情報学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>名古屋大学では、学内共同教育研究施設として「高等教育研究センター」を設置し、高等教育に関する専門的・実践的研究のもと、各種の教育改善支援を実施している。 また、情報学研究科では、FDは研究科執行部、教務入試委員会を主体として企画し、授業評価アンケートや教授会の前に講師を招いて実施する。</p> <p>b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)</p> <p>執行部会議及び教務入試委員会は、それぞれ夏休みなどを除いて原則として毎月1回開催している。その場において、FDに関する事項を随時審議する。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生による授業評価アンケートに関する事項 ・ FDに関する事項 ・ 学生の進学・休学・復学に関する事項 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本学新任教員研修FDへの参加 ・ 新入生に対する教育意識調査の実施 (4月新入生ガイダンス) ・ 学生による授業評価アンケートの実施 (各学期末) ・ 授業アンケート及び教員自己評価結果に基づく授業方法改善のためのFDの開催 (5月) ・ 教育目標及びシラバスの対比評価の実施 (4月) ・ シラバスの点検 (12月) ・ 紙レポート連携サービス説明会の開催 (平成30年2月) ・ 教授会の前に行うテーマ別FD <ul style="list-style-type: none"> 外国人教員によるイギリスの大学における状況の変化について (平成29年5月) 研究費の適切な使用について (平成29年6月) (平成30年7月) 学生相談総合センターによる現状報告と部局との連携について (平成29年11月) ハラスメントの防止について (平成29年12月) 安全保障輸出管理について (平成30年3月) どのように精神科医と連携するか (精神科受診をためらう学生にどう勧めるか) (平成30年6月) 産学連携における秘密情報管理 (平成30年7月)

b 実施方法

・ 本学新任教員研修FDへの参加

高等教育研究センターが主催し、全学の新任教員を対象とした研修会を行った。各種職務の遂行に必要な基本情報及び授業で困ったときや改善したいときに参考となる情報を得る機会とした。

・ 新入生に対する教育意識調査の実施（4月新入生ガイダンス）

新入生ガイダンスを開催し、本学部教育目標・カリキュラム及び修了要件を周知するとともに、新入生教育意識調査アンケートを実施し、その結果をFDに反映させた。

・ 学生による授業評価アンケートの実施（各学期末）

教務入試委員会において、質問項目を検討・決定のうえ、これに基づいて授業評価アンケートを実施し、その結果を担当教員へフィードバックして授業実施方法等の改善に役立てている。

・ 授業アンケート及び教員自己評価結果に基づく授業方法改善のためのFDの開催（5月）

授業評価アンケート実施前に教務入試委員会において、授業評価アンケートの質問項目等について授業運営の改善に繋げるためにより効果的な質問となるよう出席教員間で検討し、質問項目が適切かどうかを検討し決定した。また、教員の自己評価結果についても授業方法の改善に繋がるようにこれを活用することを確認した。

・ 教育目標及びシラバスの対比評価の実施（4月）

シラバスを学生に公表するにあたり、その作成段階において、本学部の教育目標等と照らし合わせて適切な内容で作成するように授業を担当する全教員に依頼した。

・ シラバスの点検（12月）

次年度向けのシラバス作成にあたり、各教員に今年度のシラバスを点検し、必要に応じてこれを修正のうえ、次年度のシラバスを作成するように授業を担当する全教員に依頼した。

・ 紙レポート連携サービス説明会の開催（平成30年2月）

複合機などでスキャンしたレポートを解析し、受講者の学籍番号と点数を自動で読み取って、結果を出力できる紙レポートシステムの説明会を実施した。紙レポートの並び替えや成績入力の手間をなくしてミスを低減するとともに、解答用紙返却の効率化を図るシステムの利用方法を知る機会とした。

・ 教授会の前に行うテーマ別FD

教授会の開催前に、全教員を対象としたテーマ別のFDを開催した。

[外国人教員によるイギリスの大学における状況の変化について]

外国人教員による講演と質疑応答を通じて、海外の大学の状況について、学ぶ機会とした。

[研究費の適切な使用について]

研究費の適正使用、不正防止の重要性を再認識する機会とした。

[学生相談総合センターによる現状報告と部局との連携について]

学生相談総合センターより、学生の状況や相談内容、学生支援の現状について報告があった後、センターと学部、研究科との連携について、意見交換を行った。

[ハラスメントの防止について]

ハラスメント相談センターにより、学生の指導上起こり得るハラスメントの具体例とその対応策について説明を受けたあと、質疑応答による議論により、学生指導に関する知識を深める機会とした。

[安全保障輸出管理について]

国内での留学生等への技術指導も対象となりえる安全保障輸出管理について、学術研究・産学官連携推進本部による講演により、知識を深める機会とした。

[どのように精神科医と連携するか -精神科受診をためらう学生にどう勧めるか-]

学生相談総合センターにより、代表的な病気の特徴、受診をためらう学生にセンターや精神科等の受診を勧める方法について説明を受けた後、質疑応答による議論により、学生指導に関する知識を深める機会とした。

[産学連携における秘密情報管理]

学術研究・産学官連携推進本部により、秘密情報の定義、秘密情報漏洩時の学内措置及び代表的事例、秘密情報管理における適切な保管方法及び注意点等について説明を受けた後、質疑応答による議論により、学生指導に関する知識を深める機会とした。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・ 本学新任教員研修FDへの参加

平成29年4月開催に新任教員2名が参加、平成30年4月開催に新任教員1名が参加

・ 新入生に対する教育意識調査の実施（4月新入生ガイダンス）

平成29年4月、平成30年4月開催に専任教員多数が参加

・ 授業アンケート及び教員自己評価結果に基づく授業方法改善のためのFDの開催

教務入試委員会（委員長1名、研究科委員6名）を年間12回開催し、教務内容全般について、審議・改善を図り、その中で、授業アンケートや教員自己評価の結果等について検討した。

・ 教育目標及びシラバスの対比評価の実施

シラバスを学生に公表するにあたり、その作成段階において、全教員が本学部の教育目標等と照らし合わせて適切な内容で作成した。

・ シラバスの点検

シラバスを学生に公表するにあたり、その作成段階において、全教員が本研究科の教育目標等と照らし合わせて適切な内容で作成した。

・ 紙レポート連携サービス説明会の開催（平成30年2月）

教授会の前開催し、専任教員の7割程度が参加

・ 教授会の前に行うテーマ別FD

教授会の前開催し、専任教員の7割程度が参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・ 学生へのアンケート結果を踏まえて、教務入試委員会では対策を議論。その結果を各専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。

・ 全学的な取り組みとして、新任教員に対するFDや学生相談総合センター等の各種専門分野の教職員によるFDを通じて、学生指導に関する様々な観点からの研鑽を行っている。また、授業を効率化するシステムの開発、周知を通じて、授業の改善に役立てている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

少人数のセミナーを除く全講義科目で学生による授業評価を実施し、アンケート結果を教員にフィードバックして教育の質の向上に役立てている。実施時期は、原則として各期における最終の授業時に行う。各授業科目についてアンケートが実施されることは、事前に教員及び学生に通知する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は、教員及び学生に公開することを原則とし、項目を選んで公開する。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制
a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）
該当なし
b 委員会の開催状況（回数や開催日など）
該当なし
c 委員会の審議事項等
該当なし
d その他
該当なし
② 審議状況
a 審議した内容
該当なし
b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
該当なし
c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況
該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
申請時の授業科目が漏れなく開講できており、設置計画を着実に実行している。 今後も、さらに総合的な研究教育体制を整備し、本学部の一層の充実を図る。
② 自己点検・評価報告書
a 公表（予定）時期
・令和元年10月頃 公表予定
b 公表方法
・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省へ提出している。 ・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。
③ 認証評価を受ける計画
学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）
a ホームページへの公表予定の有無 （ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ）
b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 6月 1日 ）
b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

(2) 大学名

名古屋大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾 清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺 芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山 直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下 裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻 朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村 彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満 鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北 一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋 雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷 桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月 正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷 通子 (平成27年4月)		
研究科長	(ムラセ ヒロシ) 村瀬 洋 (平成29年4月)		

副研究科長	(キタ エイスケ) 北 栄 輔 (平成29年4月)		
副研究科長	(アリタ タカヤ) 有 田 隆 也 (平成29年4月)	(エダヒロ マサト) 枝 廣 正 人 (平成31年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成31年4月 1日(31)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
情報学研究科 複雑系科学専攻 (博士後期課程) 博士(情報学) 博士(学術)	理学関係	3年	8人	年次人	24人	基礎となる学部等 情報学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人	人	人	人	8	人	人	8	人	人	8	人			
志願者数	()	()	()	()	7	3	2	2	8	()	()	()			
受験者数	()	()	()	()	7	3	2	2	8	()	()	()			
合格者数	()	()	()	()	6	3	2	2	8	()	()	()			
B 入学者数	()	()	()	()	6	3	2	2	8	()	()	()			
入学定員超過率 B/A					1.12		0.5		1				0.87倍		倍

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	6 [2] (-)	3 [1] (-)	2 [1] (-)	2 [1] (-)	8 [4] (-)	2 [1] (-)			
2年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	6 [2] (-)	2 [1] (-)	2 [1] (-)	2 [1] (-)			
3年次					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	6 [2] (-)				
4年次					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()			
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	9 [3] (-)	12 [5] (-)	20 [9] (-)						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	9人	1人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	1人	0人	家庭の事情(1人)
平成30年度	12人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	20人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		1人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{9} = \boxed{11.11} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{20} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<情報学研究科 複雑系科学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	情報学特論II	1①		1		2					5	
	情報倫理II	1②		1							1	
	リーダーシップ特論	1①		1		1					2	
	実世界データ循環システム特論II-1	1③		1							1	
	実世界データ循環システム特論II-2	1④		1							1	
小計(5科目)	-		5		3						10	
実践的教育科目	インターンシップII-A	1-2-3 ①②③ ④		2							1	
	インターンシップII-B	1-2-3 ①②③ ④		1							1	
	インターンシップII-C	1-2-3 ①②③ ④		2							1	
	グローバルチャレンジII-A	1-2① ②③④		2							2	
	グローバルチャレンジII-B	1-2① ②③④		3							2	
	グローバルチャレンジII-C	1-2① ②③④		4							2	
	グローバルチャレンジII-D	1-2① ②③④		5							2	
	グローバルチャレンジII-E	1-2① ②③④		6							2	
小計(8科目)	-		25								13	
主専攻科目	セミナー	多自由度システム情報論セミナーII-a	1①		1		3	1			1	
		多自由度システム情報論セミナーII-b	1②		1		3	1			1	
		多自由度システム情報論セミナーII-c	1③		1		3	1			1	
		多自由度システム情報論セミナーII-d	1④		1		3	1			1	
		多自由度システム情報論セミナーII-e	2①		1		3	1			1	
		多自由度システム情報論セミナーII-f	2②		1		3	1			1	
		多自由度システム情報論セミナーII-g	2③		1		3	1			1	
		多自由度システム情報論セミナーII-h	2④		1		3	1			1	
		生命情報論セミナーII-a	1①		1		2	1	1	1		1
		生命情報論セミナーII-b	1②		1		2	1	1	1		1
		生命情報論セミナーII-c	1③		1		2	1	1	1		1
		生命情報論セミナーII-d	1④		1		2	1	1	1		1
		生命情報論セミナーII-e	2①		1		2	1	1	1		1
		生命情報論セミナーII-f	2②		1		2	1	1	1		1
		生命情報論セミナーII-g	2③		1		2	1	1	1		1
		生命情報論セミナーII-h	2④		1		2	1	1	1		1
		物質情報論セミナーII-a	1①		1		2	1				1
		物質情報論セミナーII-b	1②		1		2	1				1
		物質情報論セミナーII-c	1③		1		2	1				1
		物質情報論セミナーII-d	1④		1		2	1				1
		物質情報論セミナーII-e	2①		1		2	1				1
		物質情報論セミナーII-f	2②		1		2	1				1
		物質情報論セミナーII-g	2③		1		2	1				1
		物質情報論セミナーII-h	2④		1		2	1				1
		創発システム論セミナーII-a	1①		1		2	2				1
		創発システム論セミナーII-b	1②		1		2	2				1
		創発システム論セミナーII-c	1③		1		2	2				1
		創発システム論セミナーII-d	1④		1		2	2				1
小計(28科目)	-		28		64	32	8	28				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	情報学特論II(未開講)	1①		1		2					5	
	情報倫理II(未開講)	1②		1							1	
	リーダーシップ特論(未開講)	1①		1		1					2	
	実世界データ循環システム特論II-1(未開講)	1③		1							1	
	実世界データ循環システム特論II-2(未開講)	1④		1							1	
小計(5科目)	-		5		3						10	
実践的教育科目	インターンシップII-A	1-2-3 ①②③ ④		2							1	
	インターンシップII-B	1-2-3 ①②③ ④		1							1	
	インターンシップII-C	1-2-3 ①②③ ④		2							1	
	グローバルチャレンジII-A	1-2① ②③④		2							2	
	グローバルチャレンジII-B	1-2① ②③④		3							2	
	グローバルチャレンジII-C	1-2① ②③④		4							2	
	グローバルチャレンジII-D	1-2① ②③④		5							2	
	グローバルチャレンジII-E	1-2① ②③④		6							2	
小計(8科目)	-		25								13	
主専攻科目	セミナー	多自由度システム情報論セミナーII-a(未開講)	1①		1		3	1			1	
		多自由度システム情報論セミナーII-b(未開講)	1②		1		3	1			1	
		多自由度システム情報論セミナーII-c(未開講)	1③		1		3	1			1	
		多自由度システム情報論セミナーII-d(未開講)	1④		1		3	1			1	
		多自由度システム情報論セミナーII-e(未開講)	2①		1		3	1			1	
		多自由度システム情報論セミナーII-f(未開講)	2②		1		3	1			1	
		多自由度システム情報論セミナーII-g(未開講)	2③		1		3	1			1	
		多自由度システム情報論セミナーII-h(未開講)	2④		1		3	1			1	
		生命情報論セミナーII-a(未開講)	1①		1		2	1	1	1		1
		生命情報論セミナーII-b(未開講)	1②		1		2	1	1	1		1
		生命情報論セミナーII-c	1③		1		2	1	1	1		1
		生命情報論セミナーII-d	1④		1		2	1	1	1		1
		生命情報論セミナーII-e	2①		1		2	1	1	1		1
		生命情報論セミナーII-f	2②		1		2	1	1	1		1
		生命情報論セミナーII-g	2③		1		2	1	1	1		1
		生命情報論セミナーII-h	2④		1		2	1	1	1		1
		物質情報論セミナーII-a	1①		1		2	1				1
		物質情報論セミナーII-b	1②		1		2	1				1
		物質情報論セミナーII-c(未開講)	1③		1		2	1				1
		物質情報論セミナーII-d(未開講)	1④		1		2	1				1
		物質情報論セミナーII-e	2①		1		2	1				1
		物質情報論セミナーII-f	2②		1		2	1				1
		物質情報論セミナーII-g	2③		1		2	1				1
		物質情報論セミナーII-h	2④		1		2	1				1
		創発システム論セミナーII-a	1①		1		2	2			1	
		創発システム論セミナーII-b	1②		1		2	2			1	
		創発システム論セミナーII-c	1③		1		2	2			1	
		創発システム論セミナーII-d	1④		1		2	2			1	
小計(28科目)	-		28		64	32	12	24				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
主専攻科目	創発システム論セミナーII-e	2①		1		2	2		1		
	創発システム論セミナーII-f	2②		1		2	2		1		
	創発システム論セミナーII-g	2③		1		2	2		1		
	創発システム論セミナーII-h	2④		1		2	2		1		
	複雑系計算論セミナーII-a	1①		1		3	1				
	複雑系計算論セミナーII-b	1②		1		3	1				
	複雑系計算論セミナーII-c	1③		1		3	1				
	複雑系計算論セミナーII-d	1④		1		3	1				
	複雑系計算論セミナーII-e	2①		1		3	1				
	複雑系計算論セミナーII-f	2②		1		3	1				
	複雑系計算論セミナーII-g	2③		1		3	1				
	複雑系計算論セミナーII-h	2④		1		3	1				
	情報可視化論セミナーII-a	1①		1		1	1				
	情報可視化論セミナーII-b	1②		1		1	1				
	情報可視化論セミナーII-c	1③		1		1	1				
	情報可視化論セミナーII-d	1④		1		1	1				
	情報可視化論セミナーII-e	2①		1		1	1				
	情報可視化論セミナーII-f	2②		1		1	1				
	情報可視化論セミナーII-g	2③		1		1	1				
	情報可視化論セミナーII-h	2④		1		1	1				
小計(20科目)		-		20		40	24		4		
(研究指導)		-		-		13	7	1			
小計(1科目)		-				13	7	1			
合計(62科目)		-		78		80	63	9	32	23	
卒業要件及び履修方法											
主専攻科目(セミナー)から6単位以上を含む合計8単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び学位試験に合格すること。											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
主専攻科目	創発システム論セミナーII-e	2①		1		2	2	1			
	創発システム論セミナーII-f	2②		1		2	2	1			
	創発システム論セミナーII-g	2③		1		2	2	1			
	創発システム論セミナーII-h	2④		1		2	2	1			
	複雑系計算論セミナーII-a(未開講)	1①		1		3	1				
	複雑系計算論セミナーII-b(未開講)	1②		1		3	1				
	複雑系計算論セミナーII-c	1③		1		3	1				
	複雑系計算論セミナーII-d	1④		1		3	1				
	複雑系計算論セミナーII-e	2①		1		3	1				
	複雑系計算論セミナーII-f	2②		1		3	1				
	複雑系計算論セミナーII-g	2③		1		3	1				
	複雑系計算論セミナーII-h	2④		1		3	1				
	情報可視化論セミナーII-a(未開講)	1①		1		1	1				
	情報可視化論セミナーII-b(未開講)	1②		1		1	1				
	情報可視化論セミナーII-c(未開講)	1③		1		1	1				
	情報可視化論セミナーII-d(未開講)	1④		1		1	1				
	情報可視化論セミナーII-e(未開講)	2①		1		1	1				
	情報可視化論セミナーII-f(未開講)	2②		1		1	1				
	情報可視化論セミナーII-g	2③		1		1	1				
	情報可視化論セミナーII-h	2④		1		1	1				
小計(20科目)		-		20		40	24	4			
(研究指導)		-		-		13	7	2			
小計(1科目)		-				13	7	2			
合計(62科目)		-		78		120	63	18		23	
卒業要件及び履修方法											
主専攻科目(セミナー)から6単位以上を含む合計8単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び学位試験に合格すること。											

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	情報学特論II	1①		1		2						5
	情報倫理II	1②		1								1
	リーダーシップ特論(未開講)	1①		1		1						2
	実世界データ循環システム特論II-1	1③		1								1
	実世界データ循環システム特論II-2	1④		1								1
小計(5科目)	-		5		3							10
実践的教育科目	インターンシップII-A	1-2-3 ①②③ ④		2								1
	インターンシップII-B	1-2-3 ①②③ ④		1								1
	インターンシップII-C	1-2-3 ①②③ ④		2								1
	グローバルチャレンジII-A	1-2① ②③④		2								2
	グローバルチャレンジII-B	1-2① ②③④		3								2
	グローバルチャレンジII-C	1-2① ②③④		4								2
	グローバルチャレンジII-D	1-2① ②③④		5								2
	グローバルチャレンジII-E	1-2① ②③④		6								2
小計(8科目)	-		25									13
主専攻科目	セミナー	多自由度システム情報論セミナーII-a(未開講)	1①	1		3	1			1		
		多自由度システム情報論セミナーII-b(未開講)	1②	1		3	1			1		
		多自由度システム情報論セミナーII-c	1③	1		3	1			1		
		多自由度システム情報論セミナーII-d	1④	1		3	1			1		
		多自由度システム情報論セミナーII-e	2①	1		3	1			1		
		多自由度システム情報論セミナーII-f	2②	1		3	1			1		
		多自由度システム情報論セミナーII-g	2③	1		3	1			1		
		多自由度システム情報論セミナーII-h	2④	1		3	1			1		
		生命情報論セミナーII-a	1①	1		2	1	1	1	1		
		生命情報論セミナーII-b	1②	1		2	1	1	1	1		
		生命情報論セミナーII-c	1③	1		2	1	1	1	1		
		生命情報論セミナーII-d	1④	1		2	1	1	1	1		
		生命情報論セミナーII-e	2①	1		2	1	1	1	1		
		生命情報論セミナーII-f	2②	1		2	1	1	1	1		
		生命情報論セミナーII-g	2③	1		2	1	1	1	1		
		生命情報論セミナーII-h	2④	1		2	1	1	1	1		
		物質情報論セミナーII-a(未開講)	1①	1		2	1			1		
		物質情報論セミナーII-b(未開講)	1②	1		2	1			1		
		物質情報論セミナーII-c	1③	1		2	1			1		
		物質情報論セミナーII-d	1④	1		2	1			1		
		物質情報論セミナーII-e	2①	1		2	1			1		
		物質情報論セミナーII-f	2②	1		2	1			1		
		物質情報論セミナーII-g	2③	1		2	1			1		
		物質情報論セミナーII-h	2④	1		2	1			1		
		創発システム論セミナーII-a	1①	1		2	2			1		
		創発システム論セミナーII-b	1②	1		2	2			1		
		創発システム論セミナーII-c	1③	1		2	2			1		
		創発システム論セミナーII-d	1④	1		2	2			1		
小計(28科目)	-		28		64	32	8	28				

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	情報学特論II(未開講)	1①		1		2						5
	情報倫理II(未開講)	1②		1								1
	リーダーシップ特論(未開講)	1①		1		1						2
	実世界データ循環システム特論II-1(未開講)	1③		1								1
	実世界データ循環システム特論II-2(未開講)	1④		1								1
小計(5科目)	-		5		3							10
実践的教育科目	インターンシップII-A	1-2-3 ①②③ ④		2								1
	インターンシップII-B	1-2-3 ①②③ ④		1								1
	インターンシップII-C	1-2-3 ①②③ ④		2								1
	グローバルチャレンジII-A	1-2① ②③④		2								2
	グローバルチャレンジII-B	1-2① ②③④		3								2
	グローバルチャレンジII-C	1-2① ②③④		4								2
	グローバルチャレンジII-D	1-2① ②③④		5								2
	グローバルチャレンジII-E	1-2① ②③④		6								2
小計(8科目)	-		25									13
主専攻科目	セミナー	多自由度システム情報論セミナーII-a(未開講)	1①	1		3	1			1		
		多自由度システム情報論セミナーII-b(未開講)	1②	1		3	1			1		
		多自由度システム情報論セミナーII-c	1③	1		3	1			1		
		多自由度システム情報論セミナーII-d	1④	1		3	1			1		
		多自由度システム情報論セミナーII-e	2①	1		3	1			1		
		多自由度システム情報論セミナーII-f	2②	1		3	1			1		
		多自由度システム情報論セミナーII-g	2③	1		3	1			1		
		多自由度システム情報論セミナーII-h	2④	1		3	1			1		
		生命情報論セミナーII-a	1①	1		2	1	1	1	1		
		生命情報論セミナーII-b	1②	1		2	1	1	1	1		
		生命情報論セミナーII-c	1③	1		2	1	1	1	1		
		生命情報論セミナーII-d	1④	1		2	1	1	1	1		
		生命情報論セミナーII-e	2①	1		2	1	1	1	1		
		生命情報論セミナーII-f	2②	1		2	1	1	1	1		
		生命情報論セミナーII-g	2③	1		2	1	1	1	1		
		生命情報論セミナーII-h	2④	1		2	1	1	1	1		
		物質情報論セミナーII-a	1①	1		2	1			1		
		物質情報論セミナーII-b	1②	1		2	1			1		
		物質情報論セミナーII-c	1③	1		2	1			1		
		物質情報論セミナーII-d	1④	1		2	1			1		
		物質情報論セミナーII-e	2①	1		2	1			1		
		物質情報論セミナーII-f	2②	1		2	1			1		
		物質情報論セミナーII-g	2③	1		2	1			1		
		物質情報論セミナーII-h	2④	1		2	1			1		
		創発システム論セミナーII-a	1①	1		2	2			1	0	
		創発システム論セミナーII-b	1②	1		2	2			1	0	
		創発システム論セミナーII-c	1③	1		2	2			1	0	
		創発システム論セミナーII-d	1④	1		2	2			1	0	
小計(28科目)	-		28		64	32	12	24				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
主専攻科目	セミナー	創発システム論セミナーII-e	2①	1		2	2		1			
		創発システム論セミナーII-f	2②	1		2	2		1			
		創発システム論セミナーII-g	2③	1		2	2		1			
		創発システム論セミナーII-h	2④	1		2	2		1			
		複雑系計算論セミナーII-a	1①	1		3	1					
		複雑系計算論セミナーII-b	1②	1		3	1					
		複雑系計算論セミナーII-c	1③	1		3	1					
		複雑系計算論セミナーII-d	1④	1		3	1					
		複雑系計算論セミナーII-e	2①	1		3	1					
		複雑系計算論セミナーII-f	2②	1		3	1					
		複雑系計算論セミナーII-g	2③	1		3	1					
		複雑系計算論セミナーII-h	2④	1		3	1					
		情報可視化論セミナーII-a(未開講)	1①	1		1	1					
		情報可視化論セミナーII-b(未開講)	1②	1		1	1					
		情報可視化論セミナーII-c	1③	1		1	1					
		情報可視化論セミナーII-d	1④	1		1	1					
		情報可視化論セミナーII-e	2①	1		1	1					
		情報可視化論セミナーII-f	2②	1		1	1					
		情報可視化論セミナーII-g	2③	1		1	1					
		情報可視化論セミナーII-h	2④	1		1	1					
小計(20科目)		-		20		40	24		4			
	(研究指導)	-				13	7	1				
	小計(1科目)	-				13	7	1				
合計(62科目)			-	78		120	63	9	4			
卒業要件及び履修方法												
主専攻科目(セミナー)から6単位以上を含む合計8単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び学位試験に合格すること。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
主専攻科目	セミナー	創発システム論セミナーII-e	2①	1		2	2	1	0		
		創発システム論セミナーII-f	2②	1		2	2	1	0		
		創発システム論セミナーII-g	2③	1		2	2	1	0		
		創発システム論セミナーII-h	2④	1		2	2	1	0		
		複雑系計算論セミナーII-a(未開講)	1①	1		3	1				
		複雑系計算論セミナーII-b(未開講)	1②	1		3	1				
		複雑系計算論セミナーII-c	1③	1		3	1				
		複雑系計算論セミナーII-d	1④	1		3	1				
		複雑系計算論セミナーII-e	2①	1		3	1				
		複雑系計算論セミナーII-f	2②	1		3	1				
		複雑系計算論セミナーII-g	2③	1		3	1				
		複雑系計算論セミナーII-h	2④	1		3	1				
		情報可視化論セミナーII-a(未開講)	1①	1		1	1				
		情報可視化論セミナーII-b(未開講)	1②	1		1	1				
		情報可視化論セミナーII-c(未開講)	1③	1		1	1				
		情報可視化論セミナーII-d(未開講)	1④	1		1	1				
		情報可視化論セミナーII-e(未開講)	2①	1		1	1				
		情報可視化論セミナーII-f(未開講)	2②	1		1	1				
		情報可視化論セミナーII-g	2③	1		1	1				
		情報可視化論セミナーII-h	2④	1		1	1				
小計(20科目)		-		20		40	24	4			
	(研究指導)	-				13	7	2			
	小計(1科目)	-				13	7	2			
合計(62科目)			-	78		120	63	18	24		23
卒業要件及び履修方法											
主専攻科目(セミナー)から6単位以上を含む合計8単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び学位試験に合格すること。											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

特になし。

【平成30年度】

- ・担当教員の職位の変更のため、「創発システム論セミナーII-a~h」の専任教員の配置を「講師0」から「講師1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・職位の変更による担当教員の追加のため、「(研究指導)」の専任教員の配置を「講師1」から「講師2」に変更。

【令和元年度】

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	61 科目	0 科目	61 科目	0 科目 [0]	61 科目 [0]	0 科目 [0]	61 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{61} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容				備考		
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体 うち附属病院 51,789㎡ 施設整備（新築、改修、解体）に伴う、面積・室数の増減のため(元)	
	校舎敷地	628,131 617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131 617,966 ㎡			
	運動場用地	105,775 105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775 105,994 ㎡			
	小計	733,906 723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906 723,960 ㎡			
	その他	2,507,320 2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320 2,495,186 ㎡			
	合計	3,241,226 3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226 3,219,146 ㎡			
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体	
		590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)			
(3) 教室等		講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体	
		252 -234 室	232 -240 室	1,680 -1,326 室	16 17 室 (補助職員 1 人)	14 室 (補助職員 0 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室数		専任教員を新規採用したため(29)	
		情報学研究科			114 室 112 室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体
		情報学部・情報学研究科						
	計							
(6) 図書館		面積	閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体	
		24,829 ㎡ 28,681 ㎡	2,031 席 2,195 席		3,140,500 冊			
(7) 体育館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体
		9,229 ㎡	弓道場、プール(25m×7コース)、陸上競技場(400mトラック)、テニスコート(11面)、野球場(1面)、相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場(各1か所)					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

- ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次 10	520	学士(文学)	1.04		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次 10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次 10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)			昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)			昭和24年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報学部				405		1.03	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	177	学士(情報学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数理学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,494				昭和24年度		3年次編入20人を含む。保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
医学科	6	107	3年次 5	662	学士(医学)	1.01	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	
保健学科	4	200	3年次 — 2年次 —	832	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				2,040		1.02		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		平成29年度より学生募集停止
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		平成29年度より学生募集停止
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		平成29年度より学生募集停止
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
化学生命工学科	4	99	—	297	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	249	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	330	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	354	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	450	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	120	学士(工学)	1.04	平成29年度	平成29年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
環境土木・建築学科	4	80	—	240	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
農学部				680		1.07		昭和26年度		
生物環境科学科	4	35	—	140	学士(農学)	1.08		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士(農学)	1.06		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士(農学)	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 55 2年次 — 年次	7,979						
文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		昭和28年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(歴史学)	—		平成12年度		
					博士(文学)					
					博士(歴史学)					
人文学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 (博士前期課程)	2	104	—	208	修士(文学)	0.99	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	61	—	183	修士(歴史学)					
					修士(学術)					
					博士(文学)	0.73	平成29年度			
					博士(歴史学)					
					博士(学術)					
教育発達科学研究科								昭和28年度 (平成12年度名称変更) 平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(教育学)	0.73				
(博士後期課程)	3	16	—	48	修士(教育)					
					博士(教育学)	0.70				
					博士(教育)					
心理発達科学専攻 (博士前期課程)	2	22	—	44	修士(心理学)	0.88		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	修士(臨床心理学)					
					博士(心理学)	0.86				
法学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
総合法政専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(法学)	0.38		平成16年度		
(博士後期課程)	3	17	—	51	修士(比較法学)					
					修士(現代法学)					
					博士(法学)	0.42				
					博士(比較法学)					
					博士(現代法学)					
実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.66		平成16年度		
経済学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(経済学)	1.01		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	修士(経営管理 学)					
					博士(経済学)	0.51				
産業経営システム専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(経済学)	1.06		平成12年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(経済学)	0.75				
情報学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(情報学)	1.13	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	修士(学術)					
					博士(情報学)	0.91				
					博士(学術)					
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(情報学)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	修士(学術)					
					博士(情報学)	0.79				
					博士(学術)					

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会情報学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(情報学)	0.88	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	5	—	15	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.66				
心理・認知科学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学) 修士(学術)	0.73	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(情報学) 博士(学術)	0.99				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学) 修士(学術)	1.04	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(情報学) 博士(学術)	0.55				
知能システム学専攻 (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学) 修士(学術)	1.24	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(情報学) 博士(学術)	0.83				
理学研究科								昭和28年度 平成7年度		
素粒子宇宙物理学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05				
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(理学)	0.88				
物質理学専攻 (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20		平成7年度		
(博士後期課程)	3	22	—	66	博士(理学)	0.66				
生命理学専攻 (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05		平成8年度		
(博士後期課程)	3	18	—	54	博士(理学)	0.42				
名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度		
医学系研究科								昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)
総合医学専攻 (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12				
名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度		
名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度		
名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度	平成30年10月学生受入開始	
医科学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87		平成13年度		
医療行政コース	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00				
看護学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(看護学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(看護学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
医療技術学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	20	—	40	修士(医療技術学)	—				
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(医療技術学)	—				
リハビリテーション療法学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	10	—	20	修士(リハビリテーション療法学)	—				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(リハビリテーション療法学)	—				
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
電子情報システム専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
機械理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
航空宇宙工学専攻								昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
社会基盤工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
結晶材料工学専攻								昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
エネルギー理工学専攻								平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
量子工学専攻								平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マイクロ・ナノシステム工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
物質制御工学専攻								平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				
生命分子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03				
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18				
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年度名称変更) 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
生物圏資源学専攻										
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
生命技術科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
森林・資材科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	27 6	— —	54 12	修士(農学) 博士(農学)	1.09 0.46	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
植物生産科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	30 9	— —	60 18	修士(農学) 博士(農学)	1.11 0.60	平成30年度	平成30年度		
動物科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	28 7	— —	56 14	修士(農学) 博士(農学)	0.98 0.21	平成30年度	平成30年度		
応用生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	66 16	— —	132 32	修士(農学) 博士(農学)	1.04 0.57	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オ ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科 国際開発専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— — — —		平成3年度 平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
国際協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— — — —		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(学術) 博士(学術)	— —		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
国際開発協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	44 22	— —	88 44	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学)	1.13 0.61	平成30年度	平成30年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
多元数理科学研究科					博士（学術）			平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
多元数理科学専攻 （博士前期課程）	2	47	—	94	修士（数理学）	1.06		平成7年度		
（博士後期課程）	3	30	—	90	博士（数理学）	0.49				
国際言語文化研究科								平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
日本語文化専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（文学）	—		平成10年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	修士（学術） 博士（文学） 博士（学術）	—				
国際多元文化専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（文学）	—		平成10年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	修士（学術） 博士（文学） 博士（学術）	—				
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
地球環境科学専攻 （博士前期課程）	2	53	—	106	修士（環境学）	0.87		平成13年度		
（博士後期課程）	3	24	—	72	修士（理学） 博士（環境学） 博士（理学）	0.57				
都市環境学専攻 （博士前期課程）	2	47	—	94	修士（環境学）	1.24		平成13年度		
（博士後期課程）	3	21	—	63	修士（工学） 修士（建築学） 博士（環境学） 博士（工学） 博士（建築学）	0.37				
社会環境学専攻 （博士前期課程）	2	27	—	54	修士（環境学）	0.84		平成13年度		
（博士後期課程）	3	13	—	39	修士（社会学） 修士（地理学） 修士（法学） 修士（経済学） 博士（環境学） 博士（社会学） 博士（地理学） 博士（法学） 博士（経済学）	0.48				
情報科学研究科								平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（情報科学）	—		平成15年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	修士（工学） 修士（学術） 博士（情報科学） 博士（工学） 博士（学術）	—				
情報システム学専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（情報科学）	—		平成15年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	修士（工学） 修士（学術） 博士（情報科学） 博士（工学） 博士（学術）	—				
メディア科学専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（情報科学）	—		平成15年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	修士（工学） 修士（学術） 博士（情報科学） 博士（工学） 博士（学術）	—				
複雑系科学専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（情報科学）	—		平成15年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	修士（工学） 修士（学術） 博士（情報科学） 博士（工学） 博士（学術）	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				
創薬科学研究科 基盤創薬学専攻								平成24年度		
(博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学)	1.13		平成24年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(創薬科学)	0.66		平成26年度		
合計										
博士前期課程		1,604	0	3,208						
博士後期課程		568	0	1,638						
博士課程		161	—	644						
修士課程		30	—	50						
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】			【令和元年度】		
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	武田 一哉 平成29年4月 博士 (工学)	兼担	教授	武田 一哉 平成29年4月 博士 (工学)	兼担	教授	武田 一哉 平成29年4月 博士 (工学)	兼担	教授	武田 一哉 平成29年4月 博士 (工学)
		情報学特論II※ 実世界データ循環システム特論II-1 実世界データ循環システム特論II-2 グローバルチャレンジII-A グローバルチャレンジII-B グローバルチャレンジII-C グローバルチャレンジII-D グローバルチャレンジII-E			情報学特論II※ 実世界データ循環システム特論II-1 実世界データ循環システム特論II-2 グローバルチャレンジII-A グローバルチャレンジII-B グローバルチャレンジII-C グローバルチャレンジII-D グローバルチャレンジII-E			情報学特論II※ 実世界データ循環システム特論II-1 実世界データ循環システム特論II-2 グローバルチャレンジII-A グローバルチャレンジII-B グローバルチャレンジII-C グローバルチャレンジII-D グローバルチャレンジII-E			情報学特論II※ 実世界データ循環システム特論II-1 実世界データ循環システム特論II-2 グローバルチャレンジII-A グローバルチャレンジII-B グローバルチャレンジII-C グローバルチャレンジII-D グローバルチャレンジII-E
兼担	准教授	井手 一郎 平成29年4月 博士 (工学)	兼担	准教授	井手 一郎 平成29年4月 博士 (工学)	兼担	准教授	井手 一郎 平成29年4月 博士 (工学)	兼担	准教授	井手 一郎 平成29年4月 博士 (工学)
		グローバルチャレンジII-A グローバルチャレンジII-B グローバルチャレンジII-C グローバルチャレンジII-D グローバルチャレンジII-E			グローバルチャレンジII-A グローバルチャレンジII-B グローバルチャレンジII-C グローバルチャレンジII-D グローバルチャレンジII-E			グローバルチャレンジII-A グローバルチャレンジII-B グローバルチャレンジII-C グローバルチャレンジII-D グローバルチャレンジII-E			グローバルチャレンジII-A グローバルチャレンジII-B グローバルチャレンジII-C グローバルチャレンジII-D グローバルチャレンジII-E

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼担、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

特になし

【平成30年度】

・笹原和俊助教の職位を講師に変更、担当科目を追加。平成29年11月AC教員審査済み。

【令和元年度】

特になし

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4 名	3 名	3 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文科省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
13 (13)	7 (7)	1 (1)	4 (4)	25 (25)	13	7	2	3	25
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
20 (20)	1 (1)	4 (4)		22	0	3			
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(C)	教授	准教授	講師	助教	計(D)
13 [0]	7 [0]	2 [0]	3 [0]	25 [0]	13 [0]	7 [0]	2 [1]	3 [Δ1]	25 [0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
22 [2]	0 [Δ1]	3 [Δ1]		22 [2]	0 [Δ1]	3 [Δ1]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{25}{25} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{25} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1		該当なし							
2									
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
0	人	必修	科目		必修	科目		必修	科目
		選択	科目		選択	科目		選択	科目
		自由	科目		自由	科目		自由	科目
		計	科目		計	科目		計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1		該当なし							
2									
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
0	人	必修	科目		必修	科目		必修	科目
		選択	科目		選択	科目		選択	科目
		自由	科目		自由	科目		自由	科目
		計	科目		計	科目		計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{25} = 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1		該当なし							
2									
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<情報学研究科 複雑系科学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

名古屋大学では、学内共同教育研究施設として「高等教育研究センター」を設置し、高等教育に関する専門的・実践的研究のもと、各種の教育改善支援を実施している。

また、情報学研究科では、FDは研究科執行部、教務入試委員会を主体として企画し、授業評価アンケートや教授会の前に講師を招いて実施する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

執行部会議及び教務入試委員会は、それぞれ夏休みなどを除いて原則として毎月1回開催している。その場において、FDに関する事項を随時審議する。

c 委員会の審議事項等

- ・ 学生による授業評価アンケートに関する事項
- ・ FDに関する事項
- ・ 学生の進学・休学・復学に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 本学新任教員研修FDへの参加
- ・ 新入生に対する教育意識調査の実施（4月新入生ガイダンス）
- ・ 学生による授業評価アンケートの実施（各学期末）
- ・ 授業アンケート及び教員自己評価結果に基づく授業方法改善のためのFDの開催（5月）
- ・ 教育目標及びシラバスの対比評価の実施（4月）
- ・ シラバスの点検（12月）
- ・ 紙レポート連携サービス説明会の開催（平成30年2月）
- ・ 教授会の前に行うテーマ別FD
 - 外国人教員によるイギリスの大学における状況の変化について（平成29年5月）
 - 研究費の適切な使用について（平成29年6月）（平成30年7月）
 - 学生相談総合センターによる現状報告と部局との連携について（平成29年11月）
 - ハラスメントの防止について（平成29年12月）
 - 安全保障輸出管理について（平成30年3月）
 - どのように精神科医と連携するか -精神科受診をためらう学生にどう勧めるか-（平成30年6月）
 - 産学連携における秘密情報管理（平成30年7月）

b 実施方法

・ 本学新任教員研修FDへの参加

高等教育研究センターが主催し、全学の新任教員を対象とした研修会を行った。各種職務の遂行に必要な基本情報及び授業で困ったときや改善したいときに参考となる情報を得る機会とした。

・ 新入生に対する教育意識調査の実施（4月新入生ガイダンス）

新入生ガイダンスを開催し、本学部教育目標・カリキュラム及び修了要件を周知するとともに、新入生教育意識調査アンケートを実施し、その結果をFDに反映させた。

・ 学生による授業評価アンケートの実施（各学期末）

教務入試委員会において、質問項目を検討・決定のうえ、これに基づいて授業評価アンケートを実施し、その結果を担当教員へフィードバックして授業実施方法等の改善に役立てている。

・ 授業アンケート及び教員自己評価結果に基づく授業方法改善のためのFDの開催（5月）

授業評価アンケート実施前に教務入試委員会において、授業評価アンケートの質問項目等について授業運営の改善に繋げるためにより効果的な質問となるよう出席教員間で検討し、質問項目が適切かどうかを検討し決定した。また、教員の自己評価結果についても授業方法の改善に繋がるようにこれを活用することを確認した。

・ 教育目標及びシラバスの対比評価の実施（4月）

シラバスを学生に公表するにあたり、その作成段階において、本学部の教育目標等と照らし合わせて適切な内容で作成するように授業を担当する全教員に依頼した。

・ シラバスの点検（12月）

次年度向けのシラバス作成にあたり、各教員に今年度のシラバスを点検し、必要に応じてこれを修正のうえ、次年度のシラバスを作成するように授業を担当する全教員に依頼した。

・ 紙レポート連携サービス説明会の開催（平成30年2月）

複合機などでスキャンしたレポートを解析し、受講者の学籍番号と点数を自動で読み取って、結果を出力できる紙レポートシステムの説明会を実施した。紙レポートの並び替えや成績入力の手間をなくしてミスを低減するとともに、解答用紙返却の効率化を図るシステムの利用方法を知る機会とした。

・ 教授会の前に行うテーマ別FD

教授会の開催前に、全教員を対象としたテーマ別のFDを開催した。

[外国人教員によるイギリスの大学における状況の変化について]

外国人教員による講演と質疑応答を通じて、海外の大学の状況について、学ぶ機会とした。

[研究費の適切な使用について]

研究費の適正使用、不正防止の重要性を再認識する機会とした。

[学生相談総合センターによる現状報告と部局との連携について]

学生相談総合センターより、学生の状況や相談内容、学生支援の現状について報告があった後、センターと学部、研究科との連携について、意見交換を行った。

[ハラスメントの防止について]

ハラスメント相談センターにより、学生の指導上起こり得るハラスメントの具体例とその対応策について説明を受けたあと、質疑応答による議論により、学生指導に関する知識を深める機会とした。

[安全保障輸出管理について]

国内での留学生等への技術指導も対象となりえる安全保障輸出管理について、学術研究・産学官連携推進本部による講演により、知識を深める機会とした。

[どのように精神科医と連携するか -精神科受診をためらう学生にどう勧めるか-]

学生相談総合センターにより、代表的な病気の特徴、受診をためらう学生にセンターや精神科等の受診を勧める方法について説明を受けた後、質疑応答による議論により、学生指導に関する知識を深める機会とした。

[産学連携における秘密情報管理]

学術研究・産学官連携推進本部により、秘密情報の定義、秘密情報漏洩時の学内措置及び代表的事例、秘密情報管理における適切な保管方法及び注意点等について説明を受けた後、質疑応答による議論により、学生指導に関する知識を深める機会とした。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・ 本学新任教員研修FDへの参加

平成29年4月開催に新任教員2名が参加、平成30年4月開催に新任教員1名が参加

・ 新入生に対する教育意識調査の実施（4月新入生ガイダンス）

平成29年4月、平成30年4月開催に専任教員多数が参加

・ 授業アンケート及び教員自己評価結果に基づく授業方法改善のためのFDの開催

教務入試委員会（委員長1名、研究科委員6名）を年間12回開催し、教務内容全般について、審議・改善を図り、その中で、授業アンケートや教員自己評価の結果等について検討した。

・ 教育目標及びシラバスの対比評価の実施

シラバスを学生に公表するにあたり、その作成段階において、全教員が本学部の教育目標等と照らし合わせて適切な内容で作成した。

・ シラバスの点検

シラバスを学生に公表するにあたり、その作成段階において、全教員が本研究科の教育目標等と照らし合わせて適切な内容で作成した。

・ 紙レポート連携サービス説明会の開催（平成30年2月）

教授会の前に行うテーマ別FD

・ 教授会の前に行うテーマ別FD

教授会の前に行うテーマ別FD

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・学生へのアンケート結果を踏まえて、教務入試委員会で対策を議論。その結果を各専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。

・全学的な取り組みとして、新任教員に対するFDや学生相談総合センター等の各種専門分野の教職員によるFDを通じて、学生指導に関する様々な観点からの研鑽を行っている。また、授業を効率化するシステムの開発、周知を通じて、授業の改善に役立っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

少人数のセミナーを除く全講義科目で学生による授業評価を実施し、アンケート結果を教員にフィードバックして教育の質の向上に役立っている。実施時期は、原則として各期における最終の授業時に行う。各授業科目についてアンケートが実施されることは、事前に教員及び学生に通知する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は、教員及び学生に公開することを原則とし、項目を選んで公開する。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>申請時の授業科目が漏れなく開講できており、設置計画を着実に実行している。 今後も、さらに総合的な研究教育体制を整備し、本学部の一層の充実を図る。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <ul style="list-style-type: none">・令和元年10月頃 公表予定 <p>b 公表方法</p> <ul style="list-style-type: none">・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省あて提出している。・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。 <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <ul style="list-style-type: none">・学内で検討中
--

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）</p> <p>a ホームページへの公表予定の有無 （ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ）</p> <p>b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 6月 1日 ）</p> <p>b 公表無の場合の特段の理由 （ ）</p>

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

(2) 大学名

名古屋大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾 清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺 芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山 直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下 裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻 朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村 彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満 鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北 一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋 雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷 桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月 正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷 通子 (平成27年4月)		
研究科長	(ムラセ ヒロシ) 村瀬 洋 (平成29年4月)		

副研究科長	(キタ エイスケ) 北 栄 輔 (平成29年4月)		
副研究科長	(アリタ タカヤ) 有 田 隆 也 (平成29年4月)	(エダヒロ マサト) 枝 廣 正 人 (平成31年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成31年4月 1日(31)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
情報学研究科 社会情報学専攻 (博士後期課程) 博士(情報学) 博士(学術)	文学関係	3年	5人	年次人	15人	基礎となる学部等 情報学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	0.80倍	-	
志願者数	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()			
受験者数	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()			
合格者数	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()			
B 入学者数	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()			
入学定員超過率 B/A					0.80		1.40		0.20						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	4 [1] (-)	— [-] (-)	5 [2] (-)	2 [1] (-)	1 [-] (-)	2 [1] (-)				
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[1] (-)		3 [1] (-)	5 [2] (-)				
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	3 [1] (-)	[] ()		
4年次					/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			[] ()	[] ()			[] ()	[] ()	4 [1] (-)	10 [4] (-)	11 [3] (-)			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	4人	1人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	1人	0人	経済的理由による
平成30年度	10人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	11人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	人	
			平成30年度	0人	人	
			令和元年度	0人	人	
合計		1人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{4} = \boxed{25} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{10} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<情報学研究科 社会情報学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	情報学特論II	1①		1		2						5
	情報倫理II	1②		1		1						
	リーダーシップ特論	1①		1		1						2
	実世界データ循環システム特論II-1	1③		1								1
	実世界データ循環システム特論II-2	1④		1								1
小計(5科目)		-		5		4						9
実践的教育科目	インターンシップII-A	1・2・3 ①②③ ④		2								1
	インターンシップII-B	1・2・3 ①②③ ④		1								1
	インターンシップII-C	1・2・3 ①②③ ④		2								1
	グローバルチャレンジII-A	1・2①② ③④		2								2
	グローバルチャレンジII-B	1・2①② ③④		3								2
	グローバルチャレンジII-C	1・2①② ③④		4								2
	グローバルチャレンジII-D	1・2①② ③④		5								2
	グローバルチャレンジII-E	1・2①② ③④		6								2
小計(8科目)		-		25								13
主専攻科目 セミナー	情報哲学セミナーII-a	1①		1		1	4					
	情報哲学セミナーII-b	1②		1		1	4					
	情報哲学セミナーII-c	1③		1		1	4					
	情報哲学セミナーII-d	1④		1		1	4					
	情報哲学セミナーII-e	2①		1		1	4					
	情報哲学セミナーII-f	2②		1		1	4					
	情報哲学セミナーII-g	2③		1		1	4					
	情報哲学セミナーII-h	2④		1		1	4					
	情報社会設計論セミナーII-a	1①		1		1	2	1				
	情報社会設計論セミナーII-b	1②		1		1	2	1				
	情報社会設計論セミナーII-c	1③		1		1	2	1				
	情報社会設計論セミナーII-d	1④		1		1	2	1				
	情報社会設計論セミナーII-e	2①		1		1	2	1				
	情報社会設計論セミナーII-f	2②		1		1	2	1				
	情報社会設計論セミナーII-g	2③		1		1	2	1				
	情報社会設計論セミナーII-h	2④		1		1	2	1				
	グローバルメディア論セミナーII-a	1①		1		1	2					
	グローバルメディア論セミナーII-b	1②		1		1	2					
	グローバルメディア論セミナーII-c	1③		1		1	2					
	グローバルメディア論セミナーII-d	1④		1		1	2					
	グローバルメディア論セミナーII-e	2①		1		1	2					
	グローバルメディア論セミナーII-f	2②		1		1	2					
	グローバルメディア論セミナーII-g	2③		1		1	2					
	グローバルメディア論セミナーII-h	2④		1		1	2					
小計(24科目)		-		24		24	64	8				
(研究指導)		-		-		3	8	1				
小計(1科目)		-				3	8	1				
合計(38科目)		-		54		31	72	9				22
卒業要件及び履修方法												
主専攻科目(セミナー)から6単位以上を含む合計8単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び学位試験に合格すること。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	情報学特論II(未開講)	1①		1		2						5
	情報倫理II(未開講)	1②		1		1						
	リーダーシップ特論(未開講)	1①		1		1						2
	実世界データ循環システム特論II-1(未開講)	1③		1								1
	実世界データ循環システム特論II-2(未開講)	1④		1								1
小計(5科目)		-		5		4						9
実践的教育科目	インターンシップII-A	1・2・3 ①②③ ④		2								1
	インターンシップII-B	1・2・3 ①②③ ④		1								1
	インターンシップII-C	1・2・3 ①②③ ④		2								1
	グローバルチャレンジII-A	1・2①② ③④		2								2
	グローバルチャレンジII-B	1・2①② ③④		3								2
	グローバルチャレンジII-C	1・2①② ③④		4								2
	グローバルチャレンジII-D	1・2①② ③④		5								2
	グローバルチャレンジII-E	1・2①② ③④		6								2
小計(8科目)		-		25								13
主専攻科目 セミナー	情報哲学セミナーII-a	1①		1		1	4					
	情報哲学セミナーII-b	1②		1		1	4					
	情報哲学セミナーII-c	1③		1		1	4					
	情報哲学セミナーII-d	1④		1		1	4					
	情報哲学セミナーII-e	2①		1		1	4					
	情報哲学セミナーII-f	2②		1		1	4					
	情報哲学セミナーII-g	2③		1		1	4					
	情報哲学セミナーII-h	2④		1		1	4					
	情報社会設計論セミナーII-a	1①		1		1	2	1				
	情報社会設計論セミナーII-b	1②		1		1	2	1				
	情報社会設計論セミナーII-c	1③		1		1	2	1				
	情報社会設計論セミナーII-d	1④		1		1	2	1				
	情報社会設計論セミナーII-e(未開講)	2①		1		1	2	1				
	情報社会設計論セミナーII-f(未開講)	2②		1		1	2	1				
	情報社会設計論セミナーII-g	2③		1		1	2	1				
	情報社会設計論セミナーII-h	2④		1		1	2	1				
	グローバルメディア論セミナーII-a	1①		1		1	2					
	グローバルメディア論セミナーII-b	1②		1		1	2					
	グローバルメディア論セミナーII-c(未開講)	1③		1		1	2					
	グローバルメディア論セミナーII-d(未開講)	1④		1		1	2					
	グローバルメディア論セミナーII-e(未開講)	2①		1		1	2					
	グローバルメディア論セミナーII-f(未開講)	2②		1		1	2					
	グローバルメディア論セミナーII-g	2③		1		1	2					
	グローバルメディア論セミナーII-h	2④		1		1	2					
小計(24科目)		-		24		32	56	8				
(研究指導)		-		-		4	7	1				
小計(1科目)		-				4	7	1				
合計(38科目)		-		54		40	63	9				22
卒業要件及び履修方法												
主専攻科目(セミナー)から6単位以上を含む合計8単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び学位試験に合格すること。												

【平成29年度】

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	情報学特論II	1①		1		2						5
	情報倫理II	1②		1		1						
	リーダーシップ特論(未開講)	1①		1		1						2
	実世界データ循環システム特論II-1	1③		1								1
	実世界データ循環システム特論II-2	1④		1								1
小計(5科目)	-		5		4							9
実践的教育科目	インターンシップII-A	1・2・3 ①②③		2								1
	インターンシップII-B	1・2・3 ①②③		1								1
	インターンシップII-C	1・2・3 ①②③		2								1
	グローバルチャレンジII-A	1・2①② ③④		2								2
	グローバルチャレンジII-B	1・2①② ③④		3								2
	グローバルチャレンジII-C	1・2①② ③④		4								2
	グローバルチャレンジII-D	1・2①② ③④		5								2
	グローバルチャレンジII-E	1・2①② ③④		6								2
小計(8科目)	-		25									13
主専攻科目 セミナー	情報哲学セミナーII-a	1①		1		2	4					
	情報哲学セミナーII-b	1②		1		2	4					
	情報哲学セミナーII-c	1③		1		2	4					
	情報哲学セミナーII-d	1④		1		2	4					
	情報哲学セミナーII-e	2①		1		2	4					
	情報哲学セミナーII-f	2②		1		2	4					
	情報哲学セミナーII-g	2③		1		2	4					
	情報哲学セミナーII-h	2④		1		2	4					
	情報社会設計論セミナーII-a	1①		1		1	2	1				
	情報社会設計論セミナーII-b	1②		1		1	2	1				
	情報社会設計論セミナーII-c	1③		1		1	2	1				
	情報社会設計論セミナーII-d	1④		1		1	2	1				
	情報社会設計論セミナーII-e	2①		1		1	2	1				
	情報社会設計論セミナーII-f	2②		1		1	2	1				
	情報社会設計論セミナーII-g	2③		1		1	2	1				
	情報社会設計論セミナーII-h	2④		1		1	2	1				
	グローバルメディア論セミナーII-a(未開講)	1①		1		1	2					
	グローバルメディア論セミナーII-b(未開講)	1②		1		1	2					
	グローバルメディア論セミナーII-c(未開講)	1③		1		1	2					
	グローバルメディア論セミナーII-d(未開講)	1④		1		1	2					
	グローバルメディア論セミナーII-e(未開講)	2①		1		1	2					
	グローバルメディア論セミナーII-f(未開講)	2②		1		1	2					
	グローバルメディア論セミナーII-g(未開講)	2③		1		1	2					
	グローバルメディア論セミナーII-h(未開講)	2④		1		1	2					
小計(24科目)	-		24		32	64	8					
(研究指導)	-		-		3	8	1					
小計(1科目)	-				3	8	1					
合計(38科目)	-				39	72	9					22
卒業要件及び履修方法												
主専攻科目(セミナー)から6単位以上を含む合計8単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び学位試験に合格すること。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	情報学特論II(未開講)	1①		1		2						5
	情報倫理II(未開講)	1②		1		1						
	リーダーシップ特論(未開講)	1①		1		1						2
	実世界データ循環システム特論II-1(未開講)	1③		1								1
	実世界データ循環システム特論II-2(未開講)	1④		1								1
小計(5科目)	-		5		4							9
実践的教育科目	インターンシップII-A	1・2・3 ①②③		2								1
	インターンシップII-B	1・2・3 ①②③		1								1
	インターンシップII-C	1・2・3 ①②③		2								1
	グローバルチャレンジII-A	1・2①② ③④		2								2
	グローバルチャレンジII-B	1・2①② ③④		3								2
	グローバルチャレンジII-C	1・2①② ③④		4								2
	グローバルチャレンジII-D	1・2①② ③④		5								2
	グローバルチャレンジII-E	1・2①② ③④		6								2
小計(8科目)	-		25									13
主専攻科目 セミナー	情報哲学セミナーII-a	1①		1		1	4					
	情報哲学セミナーII-b	1②		1		1	4					
	情報哲学セミナーII-c	1③		1		1	4					
	情報哲学セミナーII-d	1④		1		1	4					
	情報哲学セミナーII-e	2①		1		1	4					
	情報哲学セミナーII-f	2②		1		1	4					
	情報哲学セミナーII-g	2③		1		1	4					
	情報哲学セミナーII-h	2④		1		1	4					
	情報社会設計論セミナーII-a	1①		1		1	1	1				
	情報社会設計論セミナーII-b	1②		1		1	1	1				
	情報社会設計論セミナーII-c	1③		1		1	1	1				
	情報社会設計論セミナーII-d	1④		1		1	1	1				
	情報社会設計論セミナーII-e(未開講)	2①		1		1	1	1				
	情報社会設計論セミナーII-f(未開講)	2②		1		1	1	1				
	情報社会設計論セミナーII-g	2③		1		1	1	1				
	情報社会設計論セミナーII-h	2④		1		1	1	1				
	グローバルメディア論セミナーII-a	1①		1		1	2					
	グローバルメディア論セミナーII-b	1②		1		1	2					
	グローバルメディア論セミナーII-c(未開講)	1③		1		1	2					
	グローバルメディア論セミナーII-d(未開講)	1④		1		1	2					
	グローバルメディア論セミナーII-e(未開講)	2①		1		1	2					
	グローバルメディア論セミナーII-f(未開講)	2②		1		1	2					
	グローバルメディア論セミナーII-g	2③		1		1	2					
	グローバルメディア論セミナーII-h	2④		1		1	2					
小計(24科目)	-		24		24	56	8					
(研究指導)	-		-		3	7	1					
小計(1科目)	-				3	7	1					
合計(38科目)	-				54	31	63	9				22
卒業要件及び履修方法												
主専攻科目(セミナー)から6単位以上を含む合計8単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び学位試験に合格すること。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

特になし。

【平成30年度】

- ・他大学採用による辞任のため、「情報社会設計論セミナーII-a~h」の専任教員の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・他大学採用による辞任のため、「(研究指導)」の専任教員の配置を「准教授8」から「准教授7」に変更。
- ・担当教員の退職のため、「情報哲学セミナーII-a~d」の専任教員の配置を「教授2」から「教授1」に変更。

【令和元年度】

- ・教育内容の充実のため、「グローバルメディア論セミナーII-a~h」の専任教員の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「研究指導」の専任教員の配置を「教授3」から「教授4」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	37 科目	0 科目	37 科目	0 科目 [0]	37 科目 [0]	0 科目 [0]	37 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{37} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体 うち附属病院 51,789㎡ 施設整備（新築、改修、解体）に伴う、面積・室数の増減のため(元)	
	校舎敷地	628,131 617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131 617,966 ㎡			
	運動場用地	105,775 105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775 105,994 ㎡			
	小 計	733,906 723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906 723,960 ㎡			
	そ の 他	2,507,320 2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320 2,495,186 ㎡			
	合 計	3,241,226 3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226 3,219,146 ㎡			
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体		
	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	252 -234 室	232 -240 室	1,680 -1,326 室	16 47 室 (補助職員 1 人)	14 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員を新規採用したため(29)		
	情報学研究科			114 室 112 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体	
		[うち外国書]	[うち外国書]					電子ジャーナル
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点		
	情報学部・情報学研究科							
	3,272,188 -[1,527,524]-	54,571 [23,725] 54,836 [24,093]	30,880 [30,309] 20,848 [20,776]	59,261 10,294 (59,261 10,294)	17,798 (17,798)	129,577 (129,577)		
計	3,272,188 -[1,527,524]-	54,571 [23,725] 54,836 [24,093]	30,880 [30,309] 20,848 [20,776]	59,261 10,294 (59,261 10,294)	17,798 (17,798)	129,577 (129,577)		
(6) 図書館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	24,829 ㎡ 28,681 ㎡	2,034 2,195 席	3,140,500 冊					
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	9,229 ㎡	弓道場、プール(25m×7コース)、陸上競技場(400mトラック)、テニスコート(11面)、野球場(1面)、相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場(各1か所)						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次10	520	学士(文学)	1.04		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)			昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)			昭和24年度		
学部共通			3年次10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次10	20						
情報学部				405		1.03	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	177	学士(情報学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数理学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,494				昭和24年度		3年次編入20人を含む。保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
医学科	6	107	3年次5	662	学士(医学)	1.01	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	
保健学科	4	200	3年次— 2年次—	832	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				2,040		1.02		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		
化学生命工学科	4	99	—	297	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	249	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	330	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	354	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	450	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	120	学士(工学)	1.04	平成29年度	平成29年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
環境土木・建築学科	4	80	—	240	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
農学部				680		1.07		昭和26年度		
生物環境科学科	4	35	—	140	学士(農学)	1.08		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士(農学)	1.06		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士(農学)	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 55 2年次 — 年次	7,979						
文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		昭和28年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(歴史学)	—		平成12年度		
					博士(文学)					
					博士(歴史学)					
人文学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 (博士前期課程)	2	104	—	208	修士(文学)	0.99	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	61	—	183	修士(歴史学)					
					修士(学術)					
					博士(文学)	0.73	平成29年度			
					博士(歴史学)					
					博士(学術)					
教育発達科学研究科								昭和28年度 (平成12年度名称変更) 平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(教育学)	0.73				
(博士後期課程)	3	16	—	48	修士(教育)					
					博士(教育学)	0.70				
					博士(教育)					
心理発達科学専攻 (博士前期課程)	2	22	—	44	修士(心理学)	0.88		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	修士(臨床心理学)					
					博士(心理学)	0.86				
法学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
総合法政専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(法学)	0.38		平成16年度		
(博士後期課程)	3	17	—	51	修士(比較法学)					
					修士(現代法学)					
					博士(法学)	0.42				
					博士(比較法学)					
					博士(現代法学)					
実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.66		平成16年度		
経済学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(経済学)	1.01		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	修士(経営管理)					
					博士(経済学)	0.51				
産業経営システム専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(経済学)	1.06		平成12年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(経済学)	0.75				
情報学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(情報学)	1.13	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	修士(学術)					
					博士(情報学)	0.91				
					博士(学術)					
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(情報学)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	修士(学術)					
					博士(情報学)	0.79				
					博士(学術)					

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会情報学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(情報学)	0.88	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	5	—	15	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.66				
心理・認知科学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学) 修士(学術)	0.73	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(情報学) 博士(学術)	0.99				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学) 修士(学術)	1.04	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(情報学) 博士(学術)	0.55				
知能システム学専攻 (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学) 修士(学術)	1.24	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(情報学) 博士(学術)	0.83				
理学研究科								昭和28年度 平成7年度		
素粒子宇宙物理学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05				
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(理学)	0.88				
物質理学専攻 (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20		平成7年度		
(博士後期課程)	3	22	—	66	博士(理学)	0.66				
生命理学専攻 (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05		平成8年度		
(博士後期課程)	3	18	—	54	博士(理学)	0.42				
名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度		
医学系研究科								昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)
総合医学専攻 (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12				
名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度		
名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度		
名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度	平成30年10月学生受入開始	
医科学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87		平成13年度		
医療行政コース	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00				
看護学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(看護学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(看護学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
医療技術学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	20	—	40	修士(医療技術学)	—				
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(医療技術学)	—				
リハビリテーション療法学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	10	—	20	修士(リハビリテーション療法学)	—				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(リハビリテーション療法学)	—				
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
電子情報システム専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
機械理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
航空宇宙工学専攻								昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
社会基盤工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
結晶材料工学専攻								昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
エネルギー理工学専攻								平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
量子工学専攻								平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マイクロ・ナノシステム工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
物質制御工学専攻								平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				
生命分子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03				
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18				
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年度名称変更) 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
生物圏資源学専攻										
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
生命技術科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
森林・資材科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	27 6	— —	54 12	修士(農学) 博士(農学)	1.09 0.46	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
植物生産科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	30 9	— —	60 18	修士(農学) 博士(農学)	1.11 0.60	平成30年度	平成30年度		
動物科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	28 7	— —	56 14	修士(農学) 博士(農学)	0.98 0.21	平成30年度	平成30年度		
応用生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	66 16	— —	132 32	修士(農学) 博士(農学)	1.04 0.57	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オ ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科 国際開発専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— —		平成3年度 平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
国際協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— —		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(学術) 博士(学術)	— —		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
国際開発協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	44 22	— —	88 44	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学)	1.13 0.61	平成30年度	平成30年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
多元数理科学研究科					博士（学術）			平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
多元数理科学専攻 （博士前期課程）	2	47	—	94	修士（数理学）	1.06		平成7年度		
（博士後期課程）	3	30	—	90	博士（数理学）	0.49				
国際言語文化研究科								平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
日本語文化専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（文学）	—		平成10年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	修士（学術）	—				
国際多元文化専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	博士（文学）	—		平成10年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	博士（学術）	—				
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
地球環境科学専攻 （博士前期課程）	2	53	—	106	修士（環境学）	0.87		平成13年度		
（博士後期課程）	3	24	—	72	修士（理学）	0.57				
都市環境学専攻 （博士前期課程）	2	47	—	94	博士（環境学）	1.24		平成13年度		
（博士後期課程）	3	21	—	63	修士（工学）	0.37				
					修士（建築学）					
博士（環境学）					博士（工学）					
博士（建築学）					博士（建築学）					
社会環境学専攻 （博士前期課程）	2	27	—	54	修士（環境学）	0.84		平成13年度		
（博士後期課程）	3	13	—	39	修士（社会学）	0.48				
					修士（地理学）					
					修士（法学）					
					修士（経済学）					
博士（環境学）					博士（環境学）					
博士（社会学）					博士（社会学）					
博士（地理学）					博士（地理学）					
博士（法学）					博士（法学）					
博士（経済学）					博士（経済学）					
情報科学研究科								平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（情報科学）	—		平成15年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	修士（工学）	—				
					修士（学術）	—				
博士（情報科学）					博士（情報科学）	—				
博士（工学）					博士（工学）	—				
博士（学術）					博士（学術）	—				
情報システム学専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（情報科学）	—		平成15年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	修士（工学）	—				
					修士（学術）	—				
博士（情報科学）					博士（情報科学）	—				
博士（工学）					博士（工学）	—				
博士（学術）					博士（学術）	—				
メディア科学専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（情報科学）	—		平成15年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	修士（工学）	—				
					修士（学術）	—				
博士（情報科学）					博士（情報科学）	—				
博士（工学）					博士（工学）	—				
博士（学術）					博士（学術）	—				
複雑系科学専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（情報科学）	—		平成15年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	修士（工学）	—				
					修士（学術）	—				
博士（情報科学）					博士（情報科学）	—				
博士（工学）					博士（工学）	—				
博士（学術）					博士（学術）	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				
創薬科学研究科 基盤創薬学専攻								平成24年度		
(博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学)	1.13		平成24年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(創薬科学)	0.66		平成26年度		
合計										
博士前期課程		1,604	0	3,208						
博士後期課程		568	0	1,638						
博士課程		161	—	644						
修士課程		30	—	50						
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<情報学研究科 社会情報学専攻（博士後期課程）>

(1) - ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】			【令和元年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	米山 優 平成29年4月 博士 (学術) 情報哲学セミナーII-a 情報哲学セミナーII-b 情報哲学セミナーII-c 情報哲学セミナーII-d (研究指導)	専	教授	米山 優 平成29年4月 博士 (学術) 情報哲学セミナーII-a 情報哲学セミナーII-b 情報哲学セミナーII-c 情報哲学セミナーII-d (研究指導)						
専	教授	戸田山 和久 平成29年4月 文学 修士※ 情報学特論II※ 情報倫理II 情報哲学セミナーII-a 情報哲学セミナーII-b 情報哲学セミナーII-c 情報哲学セミナーII-d 情報哲学セミナーII-e 情報哲学セミナーII-f 情報哲学セミナーII-g 情報哲学セミナーII-h (研究指導)	専	教授	戸田山 和久 平成29年4月 文学 修士※ 情報学特論II※ 情報倫理II 情報哲学セミナーII-a 情報哲学セミナーII-b 情報哲学セミナーII-c 情報哲学セミナーII-d 情報哲学セミナーII-e 情報哲学セミナーII-f 情報哲学セミナーII-g 情報哲学セミナーII-h (研究指導)	専	教授	戸田山 和久 平成29年4月 文学 修士※ 情報学特論II※ 情報倫理II 情報哲学セミナーII-a 情報哲学セミナーII-b 情報哲学セミナーII-c 情報哲学セミナーII-d 情報哲学セミナーII-e 情報哲学セミナーII-f 情報哲学セミナーII-g 情報哲学セミナーII-h (研究指導)	専	教授	戸田山 和久 平成29年4月 文学 修士※ 情報学特論II※ 情報倫理II 情報哲学セミナーII-a 情報哲学セミナーII-b 情報哲学セミナーII-c 情報哲学セミナーII-d 情報哲学セミナーII-e 情報哲学セミナーII-f 情報哲学セミナーII-g 情報哲学セミナーII-h (研究指導)
専	教授	安田 孝美 平成29年4月 工学博士 情報学特論II※ リーダーシップ特論※ 情報社会設計論セミナーII-a 情報社会設計論セミナーII-b 情報社会設計論セミナーII-c 情報社会設計論セミナーII-d 情報社会設計論セミナーII-e 情報社会設計論セミナーII-f 情報社会設計論セミナーII-g 情報社会設計論セミナーII-h (研究指導)	専	教授	安田 孝美 平成29年4月 工学博士 情報学特論II※ リーダーシップ特論※ 情報社会設計論セミナーII-a 情報社会設計論セミナーII-b 情報社会設計論セミナーII-c 情報社会設計論セミナーII-d 情報社会設計論セミナーII-e 情報社会設計論セミナーII-f 情報社会設計論セミナーII-g 情報社会設計論セミナーII-h (研究指導)	専	教授	安田 孝美 平成29年4月 工学博士 情報学特論II※ リーダーシップ特論※ 情報社会設計論セミナーII-a 情報社会設計論セミナーII-b 情報社会設計論セミナーII-c 情報社会設計論セミナーII-d 情報社会設計論セミナーII-e 情報社会設計論セミナーII-f 情報社会設計論セミナーII-g 情報社会設計論セミナーII-h (研究指導)	専	教授	安田 孝美 平成29年4月 工学博士 情報学特論II※ リーダーシップ特論※ 情報社会設計論セミナーII-a 情報社会設計論セミナーII-b 情報社会設計論セミナーII-c 情報社会設計論セミナーII-d 情報社会設計論セミナーII-e 情報社会設計論セミナーII-f 情報社会設計論セミナーII-g 情報社会設計論セミナーII-h (研究指導)
専	教授	中村 登志哉 平成29年4月 Ph. D. (豪州) グローバルメディア論セミナーII-a グローバルメディア論セミナーII-b グローバルメディア論セミナーII-c グローバルメディア論セミナーII-d グローバルメディア論セミナーII-e グローバルメディア論セミナーII-f グローバルメディア論セミナーII-g グローバルメディア論セミナーII-h (研究指導)	専	教授	中村 登志哉 平成29年4月 Ph. D. (豪州) グローバルメディア論セミナーII-a グローバルメディア論セミナーII-b グローバルメディア論セミナーII-c グローバルメディア論セミナーII-d グローバルメディア論セミナーII-e グローバルメディア論セミナーII-f グローバルメディア論セミナーII-g グローバルメディア論セミナーII-h (研究指導)	専	教授	中村 登志哉 平成29年4月 Ph. D. (豪州) グローバルメディア論セミナーII-a グローバルメディア論セミナーII-b グローバルメディア論セミナーII-c グローバルメディア論セミナーII-d グローバルメディア論セミナーII-e グローバルメディア論セミナーII-f グローバルメディア論セミナーII-g グローバルメディア論セミナーII-h (研究指導)	専	教授	中村 登志哉 平成29年4月 Ph. D. (豪州) グローバルメディア論セミナーII-a グローバルメディア論セミナーII-b グローバルメディア論セミナーII-c グローバルメディア論セミナーII-d グローバルメディア論セミナーII-e グローバルメディア論セミナーII-f グローバルメディア論セミナーII-g グローバルメディア論セミナーII-h (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	長岡 正隆 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	長岡 正隆 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	長岡 正隆 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	長岡 正隆 平成29年4月 工学博士
		情報学特論II※			情報学特論II※			情報学特論II※			
兼任	教授	北 栄輔 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	北 栄輔 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	北 栄輔 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	北 栄輔 平成29年4月 工学博士
		情報学特論II※ リーダーシップ特論※			情報学特論II※ リーダーシップ特論※			情報学特論II※ リーダーシップ特論※			
兼任	教授	三輪 和久 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	三輪 和久 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	三輪 和久 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	三輪 和久 平成29年4月 工学博士
		情報学特論II※			情報学特論II※			情報学特論II※			
兼任	教授	村瀬 洋 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	村瀬 洋 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	村瀬 洋 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	村瀬 洋 平成29年4月 工学博士
		情報学特論II※ リーダーシップ特論※ インターンシップII-A インターンシップII-B インターンシップII-C			情報学特論II※ リーダーシップ特論※ インターンシップII-A インターンシップII-B インターンシップII-C			情報学特論II※ リーダーシップ特論※ インターンシップII-A インターンシップII-B インターンシップII-C			
兼任	教授	武田 一哉 平成29年4月 博士 (工学)	兼任	教授	武田 一哉 平成29年4月 博士 (工学)	兼任	教授	武田 一哉 平成29年4月 博士 (工学)	兼任	教授	武田 一哉 平成29年4月 博士 (工学)
		情報学特論II※ 実世界データ循環システム特論II-1 実世界データ循環システム特論II-2 グローバルチャレンジII-A グローバルチャレンジII-B グローバルチャレンジII-C グローバルチャレンジII-D グローバルチャレンジII-E			情報学特論II※ 実世界データ循環システム特論II-1 実世界データ循環システム特論II-2 グローバルチャレンジII-A グローバルチャレンジII-B グローバルチャレンジII-C グローバルチャレンジII-D グローバルチャレンジII-E			情報学特論II※ 実世界データ循環システム特論II-1 実世界データ循環システム特論II-2 グローバルチャレンジII-A グローバルチャレンジII-B グローバルチャレンジII-C グローバルチャレンジII-D グローバルチャレンジII-E			
兼任	准教授	井手 一郎 平成29年4月 博士 (工学)	兼任	准教授	井手 一郎 平成29年4月 博士 (工学)	兼任	准教授	井手 一郎 平成29年4月 博士 (工学)	兼任	准教授	井手 一郎 平成29年4月 博士 (工学)
		グローバルチャレンジII-A グローバルチャレンジII-B グローバルチャレンジII-C グローバルチャレンジII-D グローバルチャレンジII-E			グローバルチャレンジII-A グローバルチャレンジII-B グローバルチャレンジII-C グローバルチャレンジII-D グローバルチャレンジII-E			グローバルチャレンジII-A グローバルチャレンジII-B グローバルチャレンジII-C グローバルチャレンジII-D グローバルチャレンジII-E			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

特になし

【平成30年度】

- ・米山優教授定年退職。設置時の計画通り、担当する全科目に十分な数の教員が配置されているため、授業の実施に支障はない。
- ・他大学に採用されたため、加藤ジェーン准教授が辞任。
- ・平成30年10月山本竜大教授就任。平成30年7月AC教員審査済み。

【令和元年度】

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
2 名	2 名	3 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
3	8	1	0	12	4	7	1	0	12
(4)	(8)	(1)	(0)	(13)					
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
11	1	0			11	1	0		
(12)	(1)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(C)	教授	准教授	講師	助教	計(D)
4	7	1	0	12	4	7	1	0	12
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
11	1	0			11	1	0		
[0]	[0]	[0]			[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{12} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1		該当なし					
2							
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	加藤 ジェーン		選択	情報社会設計論セミナーII-a	①	H30.3.31付けで他大学に採用のため辞任 (30)
				選択	情報社会設計論セミナーII-b	①	
				選択	情報社会設計論セミナーII-c	①	
				選択	情報社会設計論セミナーII-d	①	
				選択	情報社会設計論セミナーII-e	①	
				選択	情報社会設計論セミナーII-f	①	
				選択	情報社会設計論セミナーII-g	①	
				選択	情報社会設計論セミナーII-h	①	
		—	(研究指導)	①			
2							

合計 (F)		後任補充状況の集計 (G)								
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	8	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	8	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)		後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	8	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	8	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{12} = 8.33 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	米山 優	選択	情報哲学セミナーII-a	①	H30.3.31付け65歳で定年退職(30)				
			選択	情報哲学セミナーII-b	①					
			選択	情報哲学セミナーII-c	①					
			選択	情報哲学セミナーII-d	①					
			—	(研究指導)	①					
2										
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)				
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	4	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>辞任した加藤ジェーン准教授の全担当科目について、専任教員が十分な人数で共同で担当しており、授業の実施に支障はないと考えている。 学生に配布するシラバスや学生便覧の印刷以前に本件が明らかとなったことから、修正した上で配布しており、1年生だけでなく2年生にも配布していることから、学生への周知についても問題はない。</p> <p>定年退職の教員の担当科目については、設置時の計画通り、他の専任教員が担当し、学生への周知もシラバスや学生便覧等で行っている。</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<情報学研究科 社会情報学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>名古屋大学では、学内共同教育研究施設として「高等教育研究センター」を設置し、高等教育に関する専門的・実践的研究のもと、各種の教育改善支援を実施している。 また、情報学研究科では、FDは研究科執行部、教務入試委員会を主体として企画し、授業評価アンケートや教授会の前に講師を招いて実施する。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>執行部会議及び教務入試委員会は、それぞれ夏休みなどを除いて原則として毎月1回開催している。その場において、FDに関する事項を随時審議する。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生による授業評価アンケートに関する事項 ・ FDに関する事項 ・ 学生の進学・休学・復学に関する事項 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本学新任教員研修FDへの参加 ・ 新入生に対する教育意識調査の実施（4月新入生ガイダンス） ・ 学生による授業評価アンケートの実施（各学期末） ・ 授業アンケート及び教員自己評価結果に基づく授業方法改善のためのFDの開催（5月） ・ 教育目標及びシラバスの対比評価の実施（4月） ・ シラバスの点検（12月） ・ 紙レポート連携サービス説明会の開催（平成30年2月） ・ 教授会の前に行うテーマ別FD <p>外国人教員によるイギリスの大学における状況の変化について（平成29年5月） 研究費の適切な使用について（平成29年6月）（平成30年7月） 学生相談総合センターによる現状報告と部局との連携について（平成29年11月） ハラスメントの防止について（平成29年12月） 安全保障輸出管理について（平成30年3月） どのように精神科医と連携するか「精神科受診をためらう学生にどう勧めるか」（平成30年6月） 産学連携における秘密情報管理（平成30年7月）</p>

b 実施方法

- ・ 本学新任教員研修FDへの参加

高等教育研究センターが主催し、全学の新任教員を対象とした研修会を行った。各種職務の遂行に必要な基本情報及び授業で困ったときや改善したいときに参考となる情報を得る機会とした。

- ・ 新入生に対する教育意識調査の実施（4月新入生ガイダンス）

新入生ガイダンスを開催し、本学部教育目標・カリキュラム及び修了要件を周知するとともに、新入生教育意識調査アンケートを実施し、その結果をFDに反映させた。

- ・ 学生による授業評価アンケートの実施（各学期末）

教務入試委員会において、質問項目を検討・決定のうえ、これに基づいて授業評価アンケートを実施し、その結果を担当教員へフィードバックして授業実施方法等の改善に役立てている。

- ・ 授業アンケート及び教員自己評価結果に基づく授業方法改善のためのFDの開催（5月）

授業評価アンケート実施前に教務入試委員会において、授業評価アンケートの質問項目等について授業運営の改善に繋げるためにより効果的な質問となるよう出席教員間で検討し、質問項目が適切かどうかを検討し決定した。また、教員の自己評価結果についても授業方法の改善に繋がるようにこれを活用することを確認した。

- ・ 教育目標及びシラバスの対比評価の実施（4月）

シラバスを学生に公表するにあたり、その作成段階において、本学部の教育目標等と照らし合わせて適切な内容で作成するように授業を担当する全教員に依頼した。

- ・ シラバスの点検（12月）

次年度向けのシラバス作成にあたり、各教員に今年度のシラバスを点検し、必要に応じてこれを修正のうえ、次年度のシラバスを作成するように授業を担当する全教員に依頼した。

- ・ 紙レポート連携サービス説明会の開催（平成30年2月）

複合機などでスキャンしたレポートを解析し、受講者の学籍番号と点数を自動で読み取って、結果を出力できる紙レポートシステムの説明会を実施した。紙レポートの並び替えや成績入力の手間をなくしてミスを低減するとともに、解答用紙返却の効率化を図るシステムの利用方法を知る機会とした。

- ・ 教授会の前に行うテーマ別FD

教授会の開催前に、全教員を対象としたテーマ別のFDを開催した。

[外国人教員によるイギリスの大学における状況の変化について]

外国人教員による講演と質疑応答を通じて、海外の大学の状況について、学ぶ機会とした。

[研究費の適切な使用について]

研究費の適正使用、不正防止の重要性を再認識する機会とした。

[学生相談総合センターによる現状報告と部局との連携について]

学生相談総合センターより、学生の状況や相談内容、学生支援の現状について報告があった後、センターと学部、研究科との連携について、意見交換を行った。

[ハラスメントの防止について]

ハラスメント相談センターにより、学生の指導上起こり得るハラスメントの具体例とその対応策について説明を受けたあと、質疑応答による議論により、学生指導に関する知識を深める機会とした。

[安全保障輸出管理について]

国内での留学生等への技術指導も対象となりえる安全保障輸出管理について、学術研究・産学官連携推進本部による講演により、知識を深める機会とした。

[どのように精神科医と連携するか（精神科受診をためらう学生にどう勧めるか）]

学生相談総合センターにより、代表的な病気の特徴、受診をためらう学生にセンターや精神科等の受診を勧める方法について説明を受けた後、質疑応答による議論により、学生指導に関する知識を深める機会とした。

[産学連携における秘密情報管理]

学術研究・産学官連携推進本部により、秘密情報の定義、秘密情報漏洩時の学内措置及び代表的事例、秘密情報管理における適切な保管方法及び注意点等について説明を受けた後、質疑応答による議論により、学生指導に関する知識を深める機会とした。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 本学新任教員研修FDへの参加

平成29年4月開催に新任教員2名が参加、平成30年4月開催に新任教員1名が参加

- ・ 新入生に対する教育意識調査の実施（4月新入生ガイダンス）

平成29年4月、平成30年4月開催に専任教員多数が参加

- ・ 授業アンケート及び教員自己評価結果に基づく授業方法改善のためのFDの開催

教務入試委員会（委員長1名、研究科委員6名）を年間12回開催し、教務内容全般について、審議・改善を図り、その中で、授業アンケートや教員自己評価の結果等について検討した。

- ・ 教育目標及びシラバスの対比評価の実施

シラバスを学生に公表するにあたり、その作成段階において、全教員が本学部の教育目標等と照らし合わせて適切な内容で作成した。

- ・ シラバスの点検

シラバスを学生に公表するにあたり、その作成段階において、全教員が本研究科の教育目標等と照らし合わせて適切な内容で作成した。

- ・ 紙レポート連携サービス説明会の開催（平成30年2月）

教授会の前に開催し、専任教員の7割程度が参加

- ・ 教授会の前に行うテーマ別FD

教授会の前に開催し、専任教員の7割程度が参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・ 学生へのアンケート結果を踏まえて、教務入試委員会で対策を議論。その結果を各専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。

・ 全学的な取り組みとして、新任教員に対するFDや学生相談総合センター等の各種専門分野の教職員によるFDを通じて、学生指導に関する様々な観点からの研鑽を行っている。また、授業を効率化するシステムの開発、周知を通じて、授業の改善に役立っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

少人数のセミナーを除く全講義科目で学生による授業評価を実施し、アンケート結果を教員にフィードバックして教育の質の向上に役立っている。実施時期は、原則として各期における最終の授業時に行う。各授業科目についてアンケートが実施されることは、事前に教員及び学生に通知する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は、教員及び学生に公開することを原則とし、項目を選んで公開する。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制
a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）
該当なし
b 委員会の開催状況（回数や開催日など）
該当なし
c 委員会の審議事項等
該当なし
d その他
該当なし
② 審議状況
a 審議した内容
該当なし
b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
該当なし
c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況
該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
申請時の授業科目が漏れなく開講できており、設置計画を着実に実行している。 今後も、さらに総合的な研究教育体制を整備し、本学部の一層の充実を図る。
② 自己点検・評価報告書
a 公表（予定）時期
・令和元年10月頃 公表予定
b 公表方法
・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省あて提出している。 ・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。
③ 認証評価を受ける計画
・学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）
a ホームページへの公表予定の有無 （ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ）
b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 6月 1日 ）
b 公表無の場合の特段の理由 （ ）
(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

(2) 大学名

名古屋大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷通子 (平成27年4月)		
研究科長	(ムラセ ヒロシ) 村瀬洋 (平成29年4月)		

副研究科長	(キタ エイスケ) 北 栄 輔 (平成29年4月)		
副研究科長	(アリタ タカヤ) 有 田 隆 也 (平成29年4月)	(エダヒロ マサト) 枝 廣 正 人 (平成31年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成31年4月 1日(31)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
情報学研究科 心理・認知科学専攻 (博士後期課程) 博士(情報学) 博士(学術)	文学関係	3年	7人	年次 人	21人	基礎となる学部等 情報学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	1.04 倍	-	
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()			
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]			
志願者数	()	()	()	()	11	2	3	1	8	()	()	()			
	[]	[]	[]	[]	[3]	[1]	[1]	[-]	[-]	[2]	[]	[]			
	[]	[]	[]	[]	[1]	[1]	[1]	[-]	[2]	[2]	[]	[]			
受験者数	()	()	()	()	11	2	3	1	8	()	()	()			
	[]	[]	[]	[]	[3]	[1]	[1]	[-]	[-]	[2]	[]	[]			
	[]	[]	[]	[]	[1]	[1]	[1]	[-]	[2]	[2]	[]	[]			
合格者数	()	()	()	()	10	2	2	1	8	()	()	()			
	[]	[]	[]	[]	[2]	[1]	[1]	[-]	[-]	[2]	[]	[]			
	[]	[]	[]	[]	[1]	[1]	[1]	[-]	[2]	[2]	[]	[]			
B 入学者数	()	()	()	()	10	2	2	1	7	()	()	()			
	[]	[]	[]	[]	[2]	[1]	[1]	[-]	[-]	[2]	[]	[]			
	[]	[]	[]	[]	[1]	[1]	[1]	[-]	[2]	[2]	[]	[]			
入学定員超過率 B/A					1.71		0.42		1						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	10 [1] (-)	2 [1] (-)	2 [1] (-)	1 [-] (-)	7 [2] (-)	1 [-] (-)			
2年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[1] (-)	[1] (-)	2 [1] (-)	2 [1] (-)	2 [1] (-)		
3年次					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	9 [1] (-)				
4年次									[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	12 [2] (-)	14 [3] (-)	14 [3] (-)	1 [-] (-)	21 [5] (-)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	12人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	14人	1人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	1人	0人	就職のため
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	21人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		1人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{14} = \boxed{7.14} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{21} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<情報学研究科 心理・認知科学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	情報学特論II	1①		1		1						6
	情報倫理II	1②		1								1
	リーダーシップ特論	1①		1								3
	実世界データ循環システム特論II-1	1③		1								1
	実世界データ循環システム特論II-2	1④		1								1
	小計(5科目)	-		5		1						12
実践的教育科目	インターンシップII-A	1・2・3 ①②③ ④		2								1
	インターンシップII-B	1・2・3 ①②③ ④		1								1
	インターンシップII-C	1・2・3 ①②③ ④		2								1
	グローバルチャレンジII-A	1・2① ②③④		2								2
	グローバルチャレンジII-B	1・2① ②③④		3								2
	グローバルチャレンジII-C	1・2① ②③④		4								2
	グローバルチャレンジII-D	1・2① ②③④		5								2
	グローバルチャレンジII-E	1・2① ②③④		6								2
	小計(8科目)	-		25								13
主専攻科目 セミナー	認知科学セミナーII-a	1①		1		1	2					
	認知科学セミナーII-b	1②		1		1	2					
	認知科学セミナーII-c	1③		1		1	2					
	認知科学セミナーII-d	1④		1		1	2					
	認知科学セミナーII-e	2①		1		1	2					
	認知科学セミナーII-f	2②		1		1	2					
	認知科学セミナーII-g	2③		1		1	2					
	認知科学セミナーII-h	2④		1		1	2					
	心理学セミナーII-a	1①		1		4	3					
	心理学セミナーII-b	1②		1		4	3					
	心理学セミナーII-c	1③		1		4	3					
	心理学セミナーII-d	1④		1		4	3					
	心理学セミナーII-e	2①		1		4	3					
	心理学セミナーII-f	2②		1		4	3					
	心理学セミナーII-g	2③		1		4	3					
	心理学セミナーII-h	2④		1		4	3					
	小計(16科目)	-		16		40	40					
	(研究指導)	-		-		4	4					
	小計(1科目)	-				4	4					
合計(30科目)		-		46		45	44					25
卒業要件及び履修方法												
主専攻科目(セミナー)から6単位以上を含む合計8単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び学位試験に合格すること。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	情報学特論II(未開講)	1①		1		1						6
	情報倫理II(未開講)	1②		1								1
	リーダーシップ特論(未開講)	1①		1								3
	実世界データ循環システム特論II-1(未開講)	1③		1								1
	実世界データ循環システム特論II-2(未開講)	1④		1								1
	小計(5科目)	-		5		1						12
実践的教育科目	インターンシップII-A	1・2・3 ①②③ ④		2								1
	インターンシップII-B	1・2・3 ①②③ ④		1								1
	インターンシップII-C	1・2・3 ①②③ ④		2								1
	グローバルチャレンジII-A	1・2① ②③④		2								2
	グローバルチャレンジII-B	1・2① ②③④		3								2
	グローバルチャレンジII-C	1・2① ②③④		4								2
	グローバルチャレンジII-D	1・2① ②③④		5								2
	グローバルチャレンジII-E	1・2① ②③④		6								2
	小計(8科目)	-		25								13
主専攻科目 セミナー	認知科学セミナーII-a(未開講)	1①		1				1	2			1
	認知科学セミナーII-b(未開講)	1②		1				1	2			1
	認知科学セミナーII-c	1③		1				1	2			1
	認知科学セミナーII-d	1④		1				1	2			1
	認知科学セミナーII-e	2①		1				1	2			1
	認知科学セミナーII-f	2②		1				1	2			1
	認知科学セミナーII-g	2③		1				1	2			1
	認知科学セミナーII-h	2④		1				1	2			1
	心理学セミナーII-a	1①		1				3	3			
	心理学セミナーII-b	1②		1				3	3			
	心理学セミナーII-c	1③		1				3	3			
	心理学セミナーII-d	1④		1				3	3			
	心理学セミナーII-e	2①		1				3	3			
	心理学セミナーII-f	2②		1				3	3			
	心理学セミナーII-g	2③		1				3	3			
	心理学セミナーII-h	2④		1				3	3			
	小計(16科目)	-		16			32	40				8
	(研究指導)	-		-			4	4				
	小計(1科目)	-					4	4				
合計(30科目)		-		46		37	44					33
卒業要件及び履修方法												
主専攻科目(セミナー)から6単位以上を含む合計8単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び学位試験に合格すること。												

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	情報学特論II	1①		1		1						6	
	情報倫理II	1②		1								1	
	リーダーシップ特論(未開講)	1①		1								3	
	実世界データ循環システム特論II-1	1③		1								1	
	実世界データ循環システム特論II-2	1④		1								1	
小計(5科目)		-		5		1						12	
実践的教育科目	インターンシップII-A	1・2・3 ①②③		2								1	
	インターンシップII-B	1・2・3 ①②③		1								1	
	インターンシップII-C	①②③ A		2								1	
	グローバルチャレンジII-A	1・2① ②③④		2								2	
	グローバルチャレンジII-B	1・2① ②③④		3								2	
	グローバルチャレンジII-C	1・2① ②③④		4								2	
	グローバルチャレンジII-D	1・2① ②③④		5								2	
	グローバルチャレンジII-E	1・2① ②③④		6								2	
小計(8科目)		-		25								13	
主専攻科目	セミナー	認知科学セミナーII-a	1①	1		2	2						1
		認知科学セミナーII-b	1②	1		2	2						1
		認知科学セミナーII-c	1③	1		2	2						1
		認知科学セミナーII-d	1④	1		2	2						1
		認知科学セミナーII-e	2①	1		2	2						1
		認知科学セミナーII-f	2②	1		2	2						1
		認知科学セミナーII-g	2③	1		2	2						1
		認知科学セミナーII-h	2④	1		2	2						1
		心理学セミナーII-a	1①	1		4	4						
		心理学セミナーII-b	1②	1		4	4						
		心理学セミナーII-c	1③	1		4	4						
		心理学セミナーII-d	1④	1		4	4						
		心理学セミナーII-e	2①	1		4	4						
		心理学セミナーII-f	2②	1		4	4						
		心理学セミナーII-g	2③	1		4	4						
		心理学セミナーII-h	2④	1		4	4						
小計(16科目)		-		16		48	48					8	
(研究指導)		-		-		4	5						
小計(1科目)		-				4	5						
合計(30科目)		-		46		53	53					33	
卒業要件及び履修方法													
主専攻科目(セミナー)から6単位以上を含む合計8単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び学位試験に合格すること。													

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	情報学特論II(未開講)	1①		1		1						6	
	情報倫理II(未開講)	1②		1								1	
	リーダーシップ特論(未開講)	1①		1								3	
	実世界データ循環システム特論II-1(未開講)	1③		1								1	
	実世界データ循環システム特論II-2(未開講)	1④		1								1	
小計(5科目)		-		5		1						12	
実践的教育科目	インターンシップII-A	1・2・3 ①②③		2								1	
	インターンシップII-B	1・2・3 ①②③		1								1	
	インターンシップII-C	①②③ A		2								1	
	グローバルチャレンジII-A	1・2① ②③④		2								2	
	グローバルチャレンジII-B	1・2① ②③④		3								2	
	グローバルチャレンジII-C	1・2① ②③④		4								2	
	グローバルチャレンジII-D	1・2① ②③④		5								2	
	グローバルチャレンジII-E	1・2① ②③④		6								2	
小計(8科目)		-		25								13	
主専攻科目	セミナー	認知科学セミナーII-a(未開講)	1①	1		1	2						1
		認知科学セミナーII-b(未開講)	1②	1		1	2						1
		認知科学セミナーII-c	1③	1		1	2						1
		認知科学セミナーII-d	1④	1		1	2						1
		認知科学セミナーII-e	2①	1		1	2						1
		認知科学セミナーII-f	2②	1		1	2						1
		認知科学セミナーII-g	2③	1		1	2						1
		認知科学セミナーII-h	2④	1		1	2						1
		心理学セミナーII-a	1①	1		1	4	4					
		心理学セミナーII-b	1②	1		1	4	4					
		心理学セミナーII-c	1③	1		1	4	4					
		心理学セミナーII-d	1④	1		1	4	4					
		心理学セミナーII-e	2①	1		1	4	4					
		心理学セミナーII-f	2②	1		1	4	4					
		心理学セミナーII-g	2③	1		1	4	4					
		心理学セミナーII-h	2④	1		1	4	4					
小計(16科目)		-		16		40	48					8	
(研究指導)		-		-		4	5						
小計(1科目)		-				4	5						
合計(30科目)		-		46		45	53					33	
卒業要件及び履修方法													
主専攻科目(セミナー)から6単位以上を含む合計8単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び学位試験に合格すること。													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・教育内容の充実のため、「認知科学セミナーII-a~h」の兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「心理学セミナーII-a~h」の専任教員の配置を「准教授3」から「准教授4」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「(研究指導)」の専任教員の配置を「准教授4」から「准教授5」に変更。

【平成30年度】

- ・担当教員の退職のため、「認知科学セミナーII-a~d」の専任教員の配置を「教授2」から「教授1」に変更。

【令和元年度】

- ・他機関採用による辞任のため、「心理学セミナーII-a~h」の専任教員の配置を「准教授4」から「准教授3」に変更。
- ・他機関採用による辞任のため、「(研究指導)」の専任教員の配置を「准教授5」から「准教授4」に変更。
- ・担当教員の退職のため、「心理学セミナーII-a~h」の専任教員の配置を「教授4」から「教授3」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	29 科目	0 科目	29 科目	0 科目	29 科目	0 科目	29 科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{29} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体 うち附属病院 51,789㎡ 施設整備（新築、改修、解体）に伴う、 面積・室数の増減のため(元)		
	校舎敷地	628,131 617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131 617,966 ㎡				
	運動場用地	105,775 105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775 105,994 ㎡				
	小 計	733,906 723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906 723,960 ㎡				
	そ の 他	2,507,320 2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320 2,495,186 ㎡				
	合 計	3,241,226 3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226 3,219,146 ㎡				
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体		
		590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	252 -234 室	232 -240 室	1,680 -1,326 室	16 17 室 (補助職員 1 人)	14 室 (補助職員 0 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員を新規採用したため(29)			
	情報学研究科			114 112 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体	
	情報学部・情報学研究科	3,272,188 -〔1,527,524〕	54,571〔23,725〕 54,836〔24,093〕	30,880〔30,309〕 20,848〔20,776〕	59,261 10,294	17,798	129,577		
		3,272,188〔1,527,524〕 3,353,092〔1,550,503〕 3,337,531〔1,531,848〕	-(54,571〔23,725〕) -(54,836〔24,093〕) (54,722〔23,560〕)	-(30,880〔30,309〕) -(20,848〔20,776〕) (20,678〔20,608〕)	(59,261 10,294)	(17,798)	(129,577)		
		計	3,272,188 -〔1,527,524〕	54,571〔23,725〕 54,836〔24,093〕	30,880〔30,309〕 20,848〔20,776〕	59,261 10,294	17,798		129,577
	3,272,188〔1,527,524〕 3,353,092〔1,550,503〕 3,337,531〔1,531,848〕	-(54,571〔23,725〕) -(54,836〔24,093〕) (54,722〔23,560〕)	-(30,880〔30,309〕) -(20,848〔20,776〕) (20,678〔20,608〕)	(59,261 10,294)	(17,798)	(129,577)			
(6) 図書館	面 積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数					大学全体	
	24,829 ㎡ 28,681 ㎡	2,034 2,195 席	3,140,500 冊						
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体		
	9,229 ㎡	弓道場、プール(25m×7コース)、陸上競技場(400mトラック)、テニスコート(11面)、野球場(1面)、相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場(各1カ所)							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

- ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次10	520	学士(文学)	1.04		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)			昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)			昭和24年度		
学部共通			3年次10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次10	20						
情報学部				405		1.03	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	177	学士(情報学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数理学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,494				昭和24年度		3年次編入20人を含む。保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
医学科	6	107	3年次5	662	学士(医学)	1.01	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	
保健学科	4	200	3年次— 2年次—	832	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				2,040		1.02		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		
化学生命工学科	4	99	—	297	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	249	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	330	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	354	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	450	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	120	学士(工学)	1.04	平成29年度	平成29年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
環境土木・建築学科	4	80	—	240	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
農学部				680		1.07		昭和26年度		
生物環境科学科	4	35	—	140	学士(農学)	1.08		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士(農学)	1.06		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士(農学)	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 55 2年次 — 年次	7,979						
文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		昭和28年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(歴史学)	—		平成12年度		
					博士(文学)					
					博士(歴史学)					
人文学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 (博士前期課程)	2	104	—	208	修士(文学)	0.99	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	61	—	183	修士(歴史学)					
					修士(学術)					
					博士(文学)	0.73	平成29年度			
					博士(歴史学)					
					博士(学術)					
教育発達科学研究科								昭和28年度 (平成12年度名称変更) 平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(教育学)	0.73				
(博士後期課程)	3	16	—	48	修士(教育)					
					博士(教育学)	0.70				
					博士(教育)					
心理発達科学専攻 (博士前期課程)	2	22	—	44	修士(心理学)	0.88		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	修士(臨床心理学)					
					博士(心理学)	0.86				
法学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
総合法政専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(法学)	0.38		平成16年度		
(博士後期課程)	3	17	—	51	修士(比較法学)					
					修士(現代法学)					
					博士(法学)	0.42				
					博士(比較法学)					
					博士(現代法学)					
実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.66		平成16年度		
経済学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(経済学)	1.01		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	修士(経営管理)					
					博士(経済学)	0.51				
産業経営システム専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(経済学)	1.06		平成12年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(経済学)	0.75				
情報学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(情報学)	1.13	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	修士(学術)					
					博士(情報学)	0.91				
					博士(学術)					
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(情報学)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	修士(学術)					
					博士(情報学)	0.79				
					博士(学術)					

大学の名称	名古屋大学									備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地		
<u>社会情報学専攻</u> (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(情報学)	0.88	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1		
<u>(博士後期課程)</u>	3	5	—	15	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.66					
<u>心理・認知科学専攻</u> (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学)	0.73	平成29年度	平成29年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	7	—	21	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.99					
<u>情報システム学専攻</u> (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	9	—	27	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.55					
<u>知能システム学専攻</u> (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学)	1.24	平成29年度	平成29年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	10	—	30	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.83					
理学研究科											
<u>素粒子宇宙物理学専攻</u> (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05		昭和28年度 平成7年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	30	—	90	博士(理学)	0.88					
<u>物質理学専攻</u> (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20		平成7年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	22	—	66	博士(理学)	0.66					
<u>生命理学専攻</u> (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05		平成8年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	18	—	54	博士(理学)	0.42					
<u>名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻</u> (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度			
医学系研究科											
<u>総合医学専攻</u> (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12		昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)	
<u>名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度			
<u>名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度			
<u>名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度		平成30年10月学生受入開始	
<u>医科学専攻</u> (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87		平成13年度			
<u>医療行政コース</u>	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00					
<u>看護学専攻</u> (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(看護学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止	
<u>(博士後期課程)</u>	3	6	—	18	博士(看護学)	—					

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
医療技術学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	20	—	40	修士(医療技術学)	—				
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(医療技術学)	—				
リハビリテーション療法学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	10	—	20	修士(リハビリテーション療法学)	—				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(リハビリテーション療法学)	—				
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
電子情報システム専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
機械理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
航空宇宙工学専攻								昭和35年度(平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
社会基盤工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
結晶材料工学専攻								昭和52年度(平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
エネルギー理工学専攻								平成5年度(平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
量子工学専攻								平成3年度(平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マイクロ・ナノシステム工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
物質制御工学専攻								平成8年度(平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				
生命分子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03				
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18				
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年度名称変更) 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
生物圏資源学専攻										
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
生命技術科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
森林・資材科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	27 6	— —	54 12	修士(農学) 博士(農学)	1.09 0.46	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
植物生産科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	30 9	— —	60 18	修士(農学) 博士(農学)	1.11 0.60	平成30年度	平成30年度		
動物科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	28 7	— —	56 14	修士(農学) 博士(農学)	0.98 0.21	平成30年度	平成30年度		
応用生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	66 16	— —	132 32	修士(農学) 博士(農学)	1.04 0.57	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オ ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科 国際開発専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— — — —		平成3年度 平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
国際協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— — — —		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(学術) 博士(学術)	— —		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
国際開発協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	44 22	— —	88 44	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学)	1.13 0.61	平成30年度	平成30年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
多元数理科学研究科					博士(学術)			平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
多元数理科学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(数理学)	1.06		平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(数理学)	0.49				
国際言語文化研究科								平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
日本語文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術)	—				
国際多元文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	博士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—				
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学)	0.87		平成13年度		
(博士後期課程)	3	24	—	72	修士(理学)	—				
					博士(環境学)	0.57				
					博士(理学)	—				
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(環境学)	1.24		平成13年度		
(博士後期課程)	3	21	—	63	修士(工学)	—				
					修士(建築学)	—				
					博士(環境学)	0.37				
					博士(工学)	—				
					博士(建築学)	—				
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(環境学)	0.84		平成13年度		
(博士後期課程)	3	13	—	39	修士(社会学)	—				
					修士(地理学)	—				
					修士(法学)	—				
					修士(経済学)	—				
					博士(環境学)	0.48				
					博士(社会学)	—				
					博士(地理学)	—				
					博士(法学)	—				
					博士(経済学)	—				
情報科学研究科								平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				
メディア科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				
創薬科学研究科 基盤創薬学専攻								平成24年度		
(博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学)	1.13		平成24年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(創薬科学)	0.66		平成26年度		
合計										
博士前期課程		1,604	0	3,208						
博士後期課程		568	0	1,638						
博士課程		161	—	644						
修士課程		30	—	50						
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	長岡 正隆 平成29年4月 工学博士 情報学特論II※
兼任	教授	北 栄輔 平成29年4月 工学博士 情報学特論II※ リーダーシップ特論※
兼任	教授	戸田山 和久 平成29年4月 文学 修士※ 情報学特論II※ 情報倫理II
兼任	教授	安田 孝美 平成29年4月 工学博士 情報学特論II※ リーダーシップ特論※
兼任	教授	村瀬 洋 平成29年4月 工学博士 情報学特論II※ リーダーシップ特論※ インターンシップII-A インターンシップII-B インターンシップII-C

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	長岡 正隆 平成29年4月 工学博士 情報学特論II※
兼任	教授	北 栄輔 平成29年4月 工学博士 情報学特論II※ リーダーシップ特論※
兼任	教授	戸田山 和久 平成29年4月 文学 修士※ 情報学特論II※ 情報倫理II
兼任	教授	安田 孝美 平成29年4月 工学博士 情報学特論II※ リーダーシップ特論※
兼任	教授	村瀬 洋 平成29年4月 工学博士 情報学特論II※ リーダーシップ特論※ インターンシップII-A インターンシップII-B インターンシップII-C

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専任	准教授	石井 敬子 平成30年4月 博士(人間・環境学) 心理学セミナーII-a 心理学セミナーII-b 心理学セミナーII-c 心理学セミナーII-d 心理学セミナーII-e 心理学セミナーII-f 心理学セミナーII-g 心理学セミナーII-h (研究指導)
兼任	教授	長岡 正隆 平成29年4月 工学博士 情報学特論II※
兼任	教授	北 栄輔 平成29年4月 工学博士 情報学特論II※ リーダーシップ特論※
兼任	教授	戸田山 和久 平成29年4月 文学 修士※ 情報学特論II※ 情報倫理II
兼任	教授	安田 孝美 平成29年4月 工学博士 情報学特論II※ リーダーシップ特論※
兼任	教授	村瀬 洋 平成29年4月 工学博士 情報学特論II※ リーダーシップ特論※ インターンシップII-A インターンシップII-B インターンシップII-C

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専任	准教授	石井 敬子 平成30年4月 博士(人間・環境学) 心理学セミナーII-a 心理学セミナーII-b 心理学セミナーII-c 心理学セミナーII-d 心理学セミナーII-e 心理学セミナーII-f 心理学セミナーII-g 心理学セミナーII-h (研究指導)
兼任	教授	長岡 正隆 平成29年4月 工学博士 情報学特論II※
兼任	教授	北 栄輔 平成29年4月 工学博士 情報学特論II※ リーダーシップ特論※
兼任	教授	戸田山 和久 平成29年4月 文学 修士※ 情報学特論II※ 情報倫理II
兼任	教授	安田 孝美 平成29年4月 工学博士 情報学特論II※ リーダーシップ特論※
兼任	教授	村瀬 洋 平成29年4月 工学博士 情報学特論II※ リーダーシップ特論※ インターンシップII-A インターンシップII-B インターンシップII-C

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・平成29年4月柴田和久准教授就任。平成29年1月AC教員審査済み。
- ・平成29年4月小林哲生講師（兼任）就任。

【平成30年度】

- ・齋藤洋典教授定年退職。設置時の計画通り、担当する全科目に十分な数の教員が配置されているため、授業の実施に支障はない。
- ・鈴木敦命准教授辞任により、石井敬子准教授に変更。平成30年1月AC教員審査済み。

【令和元年度】

- ・川口潤教授定年退職。設置時の計画通り、担当する全科目に十分な数の教員が配置されているため、授業の実施に支障はない。
- ・他機関に採用されたため、柴田和久准教授が辞任。当該教員は、設置時の計画には入っておらず、追加で採用した教員であり、担当する全科目に十分な数の教員が配置されているため、授業の実施に支障はない。

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
2 名	2 名	3 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
4	4	0	0	8	4	4	0	0	8
(6)	(5)	(0)	(0)	(11)					
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
8	0	0			8	0	0		
(11)	(0)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
5	4	0	0	9	4	4	0	0	8
[1]	[]	[]	[]	[]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
9	0	0			8	0	0		
[0]	[0]	[0]			[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{8}{8} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3)-① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退(未就任)の理由
1		該当なし					
2							
合計(D)					後任補充状況の集計(E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)
〇〇	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)-② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	鈴木 敦命		選択	心理学セミナーII-a	①	H29.8.31付けで他大学に採用のため辞任(30)
				選択	心理学セミナーII-b	①	
				選択	心理学セミナーII-c	①	
				選択	心理学セミナーII-d	①	
				選択	心理学セミナーII-e	①	
				選択	心理学セミナーII-f	①	
				選択	心理学セミナーII-g	①	
				選択	心理学セミナーII-h	①	
				—	(研究指導)	①	
2	准教授	柴田 和久		選択	心理学セミナーII-a	①	H30.9.30付けで他機関に採用のため辞任(31)
				選択	心理学セミナーII-b	①	
				選択	心理学セミナーII-c	①	
				選択	心理学セミナーII-d	①	
				選択	心理学セミナーII-e	①	
				選択	心理学セミナーII-f	①	
				選択	心理学セミナーII-g	①	
				選択	心理学セミナーII-h	①	
				—	(研究指導)	①	

合計(F)					後任補充状況の集計(G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	16	科目	選択	16	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	16	科目	計	16	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)-③ 上記(3)-①・(3)-②の合計

合計(D)+(F)					後任補充状況の集計(E)+(G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	16	科目	選択	16	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	16	科目	計	16	科目	計	0	科目

(3)-④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{2}{8} = 25\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	齋藤 洋典	選択	認知科学セミナーII-a	①	H30.3.31付け65歳で定年退職 (30)				
			選択	認知科学セミナーII-b	①					
			選択	認知科学セミナーII-c	①					
			選択	認知科学セミナーII-d	①					
			—	(研究指導)	①					
2	教授	川口 潤	選択	心理学セミナーII-a	①	H31.3.31付け65歳で定年退職 (31)				
			選択	心理学セミナーII-b	①					
			選択	心理学セミナーII-c	①					
			選択	心理学セミナーII-d	①					
			選択	心理学セミナーII-e	①					
			選択	心理学セミナーII-f	①					
			選択	心理学セミナーII-g	①					
			選択	心理学セミナーII-h	①					
			—	(研究指導)	①					
3										
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	12	科目	選択	12	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	12	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>辞任した鈴木敦命准教授の全担当科目について、専任教員が十分な人数で共同で担当していることに加え、後任の専任教員である石井敬子准教授が担当するため、支障はないと考えている。なお、石井敬子准教授は、既にAC教員審査を受けて、科目担当を認められている。学生に配布するシラバスや学生便覧の印刷以前に本件が明らかとなったことから、修正した上で配布しており、1年生だけでなく2、3年生にも配布していることから、学生への周知についても問題はない。</p> <p>定年退職の教員の担当科目については、設置時の計画通り、他の専任教員が担当し、学生への周知もシラバスや学生便覧等で行っている。</p> <p>辞任した柴田和久准教授は、設置時の計画には入っておらず、追加で採用した教員であることに加え、当該教員の全担当科目について、専任教員が十分な人数で共同で担当しているため、支障はないと考えている。学生に配布するシラバスや学生便覧の印刷以前に本件が明らかとなったことから、修正した上で配布しており、1年生だけでなく2、3年生にも配布していることから、学生への周知についても問題はない。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<情報学研究科 心理・認知科学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

名古屋大学では、学内共同教育研究施設として「高等教育研究センター」を設置し、高等教育に関する専門的・実践的研究のもと、各種の教育改善支援を実施している。
また、情報学研究科では、FDは研究科執行部、教務入試委員会を主体として企画し、授業評価アンケートや教授会の前に講師を招いて実施する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

執行部会議及び教務入試委員会は、それぞれ夏休みなどを除いて原則として毎月1回開催している。その場において、FDに関する事項を随時審議する。

c 委員会の審議事項等

- ・ 学生による授業評価アンケートに関する事項
- ・ FDに関する事項
- ・ 学生の進学・休学・復学に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 本学新任教員研修FDへの参加
- ・ 新入生に対する教育意識調査の実施（4月新入生ガイダンス）
- ・ 学生による授業評価アンケートの実施（各学期末）
- ・ 授業アンケート及び教員自己評価結果に基づく授業方法改善のためのFDの開催（5月）
- ・ 教育目標及びシラバスの対比評価の実施（4月）
- ・ シラバスの点検（12月）
- ・ 紙レポート連携サービス説明会の開催（平成30年2月）
- ・ 教授会の前に行うテーマ別FD
 - 外国人教員によるイギリスの大学における状況の変化について（平成29年5月）
 - 研究費の適切な使用について（平成29年6月）（平成30年7月）
 - 学生相談総合センターによる現状報告と部局との連携について（平成29年11月）
 - ハラスメントの防止について（平成29年12月）
 - 安全保障輸出管理について（平成30年3月）
 - どのように精神科医と連携するか -精神科受診をためらう学生にどう勧めるか-（平成30年6月）
 - 産学連携における秘密情報管理（平成30年7月）

b 実施方法

・ 本学新任教員研修FDへの参加

高等教育研究センターが主催し、全学の新任教員を対象とした研修会を行った。各種職務の遂行に必要な基本情報及び授業で困ったときや改善したいときに参考となる情報を得る機会とした。

・ 新入生に対する教育意識調査の実施（4月新入生ガイダンス）

新入生ガイダンスを開催し、本学部教育目標・カリキュラム及び修了要件を周知するとともに、新入生教育意識調査アンケートを実施し、その結果をFDに反映させた。

・ 学生による授業評価アンケートの実施（各学期末）

教務入試委員会において、質問項目を検討・決定のうえ、これに基づいて授業評価アンケートを実施し、その結果を担当教員へフィードバックして授業実施方法等の改善に役立てている。

・ 授業アンケート及び教員自己評価結果に基づく授業方法改善のためのFDの開催（5月）

授業評価アンケート実施前に教務入試委員会において、授業評価アンケートの質問項目等について授業運営の改善に繋げるためにより効果的な質問となるよう出席教員間で検討し、質問項目が適切かどうかを検討し決定した。また、教員の自己評価結果についても授業方法の改善に繋がるようにこれを活用することを確認した。

・ 教育目標及びシラバスの対比評価の実施（4月）

シラバスを学生に公表するにあたり、その作成段階において、本学部の教育目標等と照らし合わせて適切な内容で作成するように授業を担当する全教員に依頼した。

・ シラバスの点検（12月）

次年度向けのシラバス作成にあたり、各教員に今年度のシラバスを点検し、必要に応じてこれを修正のうえ、次年度のシラバスを作成するように授業を担当する全教員に依頼した。

・ 紙レポート連携サービス説明会の開催（平成30年2月）

複合機などでスキャンしたレポートを解析し、受講者の学籍番号と点数を自動で読み取って、結果を出力できる紙レポートシステムの説明会を実施した。紙レポートの並び替えや成績入力の手間をなくしてミスを低減するとともに、解答用紙返却の効率化を図るシステムの利用方法を知る機会とした。

・ 教授会の前に行うテーマ別FD

教授会の開催前に、全教員を対象としたテーマ別のFDを開催した。

[外国人教員によるイギリスの大学における状況の変化について]

外国人教員による講演と質疑応答を通じて、海外の大学の状況について、学ぶ機会とした。

[研究費の適切な使用について]

研究費の適正使用、不正防止の重要性を再認識する機会とした。

[学生相談総合センターによる現状報告と部局との連携について]

学生相談総合センターより、学生の状況や相談内容、学生支援の現状について報告があった後、センターと学部、研究科との連携について、意見交換を行った。

[ハラスメントの防止について]

ハラスメント相談センターにより、学生の指導上起こり得るハラスメントの具体例とその対応策について説明を受けたあと、質疑応答による議論により、学生指導に関する知識を深める機会とした。

[安全保障輸出管理について]

国内での留学生等への技術指導も対象となりえる安全保障輸出管理について、学術研究・産学官連携推進本部による講演により、知識を深める機会とした。

[どのように精神科医と連携するか -精神科受診をためらう学生にどう勧めるか-]

学生相談総合センターにより、代表的な病気の特徴、受診をためらう学生にセンターや精神科等の受診を勧める方法について説明を受けた後、質疑応答による議論により、学生指導に関する知識を深める機会とした。

[産学連携における秘密情報管理]

学術研究・産学官連携推進本部により、秘密情報の定義、秘密情報漏洩時の学内措置及び代表的事例、秘密情報管理における適切な保管方法及び注意点等について説明を受けた後、質疑応答による議論により、学生指導に関する知識を深める機会とした。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・ 本学新任教員研修FDへの参加

平成29年4月開催に新任教員2名が参加、平成30年4月開催に新任教員1名が参加

・ 新入生に対する教育意識調査の実施（4月新入生ガイダンス）

平成29年4月、平成30年4月開催に専任教員多数が参加

・ 授業アンケート及び教員自己評価結果に基づく授業方法改善のためのFDの開催

教務入試委員会（委員長1名、研究科委員6名）を年間12回開催し、教務内容全般について、審議・改善を図り、その中で、授業アンケートや教員自己評価の結果等について検討した。

・ 教育目標及びシラバスの対比評価の実施

シラバスを学生に公表するにあたり、その作成段階において、全教員が本学部の教育目標等と照らし合わせて適切な内容で作成した。

・ シラバスの点検

シラバスを学生に公表するにあたり、その作成段階において、全教員が本研究科の教育目標等と照らし合わせて適切な内容で作成した。

・ 紙レポート連携サービス説明会の開催（平成30年2月）

教授会の前で開催し、専任教員の7割程度が参加

・ 教授会の前に行うテーマ別FD

教授会の前で開催し、専任教員の7割程度が参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・学生へのアンケート結果を踏まえて、教務入試委員会で対策を議論。その結果を各専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。
- ・全学的な取り組みとして、新任教員に対するFDや学生相談総合センター等の各種専門分野の教職員によるFDを通じて、学生指導に関する様々な観点からの研鑽を行っている。また、授業を効率化するシステムの開発、周知を通じて、授業の改善に役立っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

少人数のセミナーを除く全講義科目で学生による授業評価を実施し、アンケート結果を教員にフィードバックして教育の質の向上に役立っている。実施時期は、原則として各期における最終の授業時に行う。各授業科目についてアンケートが実施されることは、事前に教員及び学生に通知する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は、教員及び学生に公開することを原則とし、項目を選んで公開する。

- (注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制
a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）
該当なし
b 委員会の開催状況（回数や開催日など）
該当なし
c 委員会の審議事項等
該当なし
d その他
該当なし
② 審議状況
a 審議した内容
該当なし
b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
該当なし
c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況
該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
申請時の授業科目が漏れなく開講できており、設置計画を着実に実行している。 今後も、さらに総合的な研究教育体制を整備し、本学部の一層の充実を図る。
② 自己点検・評価報告書
a 公表（予定）時期
・令和元年10月頃 公表予定
b 公表方法
・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省あて提出している。 ・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。
③ 認証評価を受ける計画
・学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

- a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）
- b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 6月 1日 ）
- b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注） ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

(2) 大学名

名古屋大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷通子 (平成27年4月)		
研究科長	(ムラセ ヒロシ) 村瀬洋 (平成29年4月)		

副研究科長	(キタ エイスケ) 北 栄 輔 (平成29年4月)		
副研究科長	(アリタ タカヤ) 有 田 隆 也 (平成29年4月)	(エダヒロ マサト) 枝 廣 正 人 (平成31年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成31年4月 1日(31)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
情報学研究科 情報システム学専攻 (博士後期課程) 博士(情報学) 博士(学術)	工学関係	3年	9人	年次 人	27人	基礎となる学部等 情報学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	9 (-) [-]	() []	9 (-) [-]	() []	9 (-) [-]	() []	() []	() []	0.55 倍	-	
志願者数	() []	() []	() []	() []	6 [2]	- [-]	7 [3]	- [-]	3 [1]	() []	() []	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	6 [2]	- [-]	7 [3]	- [-]	3 [1]	() []	() []	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	6 [2]	- [-]	7 [3]	- [-]	2 [1]	() []	() []	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	6 [2]	- [-]	7 [3]	- [-]	2 [1]	() []	() []	() []			
入学定員超過率 B/A					0.66		0.77		0.22						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	6 [2] (-)	- [-] (-)	7 [3] (-)	- [-] (-)	2 [1] (-)	- [-] (-)			
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[2] (-)	[-] (-)	[3] (-)	[-] (-)			
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[2] (-)	[] ()	
4年次	/				[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	6 [2] (-)	- [-] (-)	13 [5] (-)	- [-] (-)	15 [6] ()		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	6人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	13人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	15人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{13} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<情報学研究科 情報システム学専攻（博士後期課程）>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	情報学特論II	1①		1							7
	情報倫理II	1②		1							1
	リーダーシップ特論	1①		1							3
	実世界データ管理システム特論II-1	1③		1							1
	実世界データ管理システム特論II-2	1④		1							1
	小計(5科目)	-		5							13
実践的教育科目	インターンシップII-A	1・2・3 ①②③④		2							1
	インターンシップII-B	1・2・3 ①②③④		1							1
	インターンシップII-C	1・2・3 ①②③④		2							1
	グローバルチャレンジII-A	1・2① ②③④		2							2
	グローバルチャレンジII-B	1・2① ②③④		3							2
	グローバルチャレンジII-C	1・2① ②③④		4							2
	グローバルチャレンジII-D	1・2① ②③④		5							2
	グローバルチャレンジII-E	1・2① ②③④		6							2
	小計(8科目)	-		25							13
主専攻科目	計算論セミナーII-a	1①		1		2	1		1		
	計算論セミナーII-b	1②		1		2	1		1		
	計算論セミナーII-c	1③		1		2	1		1		
	計算論セミナーII-d	1④		1		2	1		1		
	計算論セミナーII-e	2①		1		2	1		1		
	計算論セミナーII-f	2②		1		2	1		1		
	計算論セミナーII-g	2③		1		2	1		1		
	計算論セミナーII-h	2④		1		2	1		1		
	情報プラットフォーム論セミナーII-a	1①		1		4	4		1		
	情報プラットフォーム論セミナーII-b	1②		1		4	4		1		
	情報プラットフォーム論セミナーII-c	1③		1		4	4		1		
	情報プラットフォーム論セミナーII-d	1④		1		4	4		1		
	情報プラットフォーム論セミナーII-e	2①		1		4	4		1		
	情報プラットフォーム論セミナーII-f	2②		1		4	4		1		
	情報プラットフォーム論セミナーII-g	2③		1		4	4		1		
	情報プラットフォーム論セミナーII-h	2④		1		4	4		1		
	ソフトウェア論セミナーII-a	1①		1		3	2		1		
	ソフトウェア論セミナーII-b	1②		1		3	2		1		
	ソフトウェア論セミナーII-c	1③		1		3	2		1		
	ソフトウェア論セミナーII-d	1④		1		3	2		1		
	ソフトウェア論セミナーII-e	2①		1		3	2		1		
	ソフトウェア論セミナーII-f	2②		1		3	2		1		
	ソフトウェア論セミナーII-g	2③		1		3	2		1		
	ソフトウェア論セミナーII-h	2④		1		3	2		1		
	情報ネットワークシステム論セミナーII-a	1①		1		2	2		2		
	情報ネットワークシステム論セミナーII-b	1②		1		2	2		2		
	情報ネットワークシステム論セミナーII-c	1③		1		2	2		2		
	情報ネットワークシステム論セミナーII-d	1④		1		2	2		2		
	情報ネットワークシステム論セミナーII-e	2①		1		2	2		2		
	情報ネットワークシステム論セミナーII-f	2②		1		2	2		2		
	情報ネットワークシステム論セミナーII-g	2③		1		2	2		2		
	情報ネットワークシステム論セミナーII-h	2④		1		2	2		2		
	小計(32科目)	-		32		88	72		40		
	(研究指導)	-		-		11	9				
	小計(1科目)	-				11	9				
	合計(46科目)	-		62		99	81		40		26
卒業要件及び履修方法											
主専攻科目(セミナー)から6単位以上を含む合計8単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び学位試験に合格すること。											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	情報学特論II(未開講)	1①		1							7
	情報倫理II(未開講)	1②		1							1
	リーダーシップ特論(未開講)	1①		1							3
	実世界データ管理システム特論II-1(未開講)	1③		1							1
	実世界データ管理システム特論II-2(未開講)	1④		1							1
	小計(5科目)	-		5							13
実践的教育科目	インターンシップII-A	1・2・3 ①②③④		2							1
	インターンシップII-B	1・2・3 ①②③④		1							1
	インターンシップII-C	1・2・3 ①②③④		2							1
	グローバルチャレンジII-A	1・2① ②③④		2							2
	グローバルチャレンジII-B	1・2① ②③④		3							2
	グローバルチャレンジII-C	1・2① ②③④		4							2
	グローバルチャレンジII-D	1・2① ②③④		5							2
	グローバルチャレンジII-E	1・2① ②③④		6							2
	小計(8科目)	-		25							13
主専攻科目	計算論セミナーII-a	1①		1		2	1		1		
	計算論セミナーII-b	1②		1		2	1		1		
	計算論セミナーII-c(未開講)	1③		1		2	1		1		
	計算論セミナーII-d(未開講)	1④		1		2	1		1		
	計算論セミナーII-e(未開講)	2①		1		2	1		1		
	計算論セミナーII-f(未開講)	2②		1		2	1		1		
	計算論セミナーII-g	2③		1		2	1		1		
	計算論セミナーII-h	2④		1		2	1		1		
	情報プラットフォーム論セミナーII-a	1①		1		4	5		0		1
	情報プラットフォーム論セミナーII-b	1②		1		4	5		0		1
	情報プラットフォーム論セミナーII-c	1③		1		4	5		0		1
	情報プラットフォーム論セミナーII-d	1④		1		4	5		0		1
	情報プラットフォーム論セミナーII-e	2①		1		4	5		0		1
	情報プラットフォーム論セミナーII-f	2②		1		4	5		0		1
	情報プラットフォーム論セミナーII-g	2③		1		4	5		0		1
	情報プラットフォーム論セミナーII-h	2④		1		4	5		0		1
	ソフトウェア論セミナーII-a	1①		1		4	2		1		1
	ソフトウェア論セミナーII-b	1②		1		4	2		1		1
	ソフトウェア論セミナーII-c(未開講)	1③		1		4	2		1		1
	ソフトウェア論セミナーII-d(未開講)	1④		1		4	2		1		1
	ソフトウェア論セミナーII-e(未開講)	2①		1		4	2		1		1
	ソフトウェア論セミナーII-f(未開講)	2②		1		4	2		1		1
	ソフトウェア論セミナーII-g	2③		1		4	2		1		1
	ソフトウェア論セミナーII-h	2④		1		4	2		1		1
	情報ネットワークシステム論セミナーII-a	1①		1		2	2		2		2
	情報ネットワークシステム論セミナーII-b	1②		1		2	2		2		2
	情報ネットワークシステム論セミナーII-c	1③		1		2	2		2		2
	情報ネットワークシステム論セミナーII-d	1④		1		2	2		2		2
	情報ネットワークシステム論セミナーII-e	2①		1		2	2		2		2
	情報ネットワークシステム論セミナーII-f	2②		1		2	2		2		2
	情報ネットワークシステム論セミナーII-g	2③		1		2	2		2		2
	情報ネットワークシステム論セミナーII-h	2④		1		2	2		2		2
	小計(32科目)	-		32		96	80		32		16
	(研究指導)	-		-		12	10				
	小計(1科目)	-				12	10				
	合計(46科目)	-		62		108	90		32		42
卒業要件及び履修方法											
主専攻科目(セミナー)から6単位以上を含む合計8単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び学位試験に合格すること。											

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
共通科目	情報学特論II	1①		1							7
	情報倫理II	1②		1							1
	リーダーシップ特論(未開講)	1①		1							3
	実世界データ管理システム特論II-1	1③		1							1
	実世界データ管理システム特論II-2	1④		1							1
小計(5科目)	-		5								13
実践的教育科目	インターンシップII-A	1・2・3 ①②③		2							1
	インターンシップII-B	①②③ ④		1							1
	インターンシップII-C	1・2・3 ①②③ ④		2							1
	グローバルチャレンジII-A	1・2① ②③④		2							2
	グローバルチャレンジII-B	1・2①		3							2
	グローバルチャレンジII-C	1・2① ②③④		4							2
	グローバルチャレンジII-D	1・2① ②③④		5							2
	グローバルチャレンジII-E	1・2① ②③④		6							2
小計(8科目)	-		25								13
主専攻科目	計算論セミナーII-a(未開講)	1①		1		2	1		1		
	計算論セミナーII-b(未開講)	1②		1		2	1		1		
	計算論セミナーII-c	1③		1		2	1		1		
	計算論セミナーII-d	1④		1		2	1		1		
	計算論セミナーII-e	2①		1		2	1		1		
	計算論セミナーII-f	2②		1		2	1		1		
	計算論セミナーII-g	2③		1		2	1		1		
	計算論セミナーII-h	2④		1		2	1		1		
	情報プラットフォーム論セミナーII-a	1①		1		3	4		1		1
	情報プラットフォーム論セミナーII-b	1②		1		3	4		1		1
	情報プラットフォーム論セミナーII-c	1③		1		3	4		1		1
	情報プラットフォーム論セミナーII-d	1④		1		3	4		1		1
	情報プラットフォーム論セミナーII-e	2①		1		3	4		1		1
	情報プラットフォーム論セミナーII-f	2②		1		3	4		1		1
	情報プラットフォーム論セミナーII-g	2③		1		3	4		1		1
	情報プラットフォーム論セミナーII-h	2④		1		3	4		1		1
	ソフトウェア論セミナーII-a(未開講)	1①		1		3	2		1		1
	ソフトウェア論セミナーII-b(未開講)	1②		1		3	2		1		1
	ソフトウェア論セミナーII-c	1③		1		3	2		1		1
	ソフトウェア論セミナーII-d	1④		1		3	2		1		1
	ソフトウェア論セミナーII-e	2①		1		3	2		1		1
	ソフトウェア論セミナーII-f	2②		1		3	2		1		1
	ソフトウェア論セミナーII-g	2③		1		3	2		1		1
	ソフトウェア論セミナーII-h	2④		1		3	2		1		1
	情報ネットワークシステム論セミナーII-a	1①		1		2	2		2		2
	情報ネットワークシステム論セミナーII-b	1②		1		2	2		2		2
	情報ネットワークシステム論セミナーII-c	1③		1		2	2		2		2
	情報ネットワークシステム論セミナーII-d	1④		1		2	2		2		2
	情報ネットワークシステム論セミナーII-e	2①		1		2	2		2		2
	情報ネットワークシステム論セミナーII-f	2②		1		2	2		2		2
	情報ネットワークシステム論セミナーII-g	2③		1		2	2		2		2
	情報ネットワークシステム論セミナーII-h	2④		1		2	2		2		2
小計(32科目)	-		32		80	72		40			16
(研究指導)	-		-		10	9					
小計(1科目)	-		-		10	9					
合計(46科目)	-		62		90	81		40			42
卒業要件及び履修方法											
主専攻科目(セミナー)から6単位以上を含む合計8単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び学位試験に合格すること。											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
共通科目	情報学特論II(未開講)	1①		1							7
	情報倫理II(未開講)	1②		1							1
	リーダーシップ特論(未開講)	1①		1							3
	実世界データ管理システム特論II-1(未開講)	1③		1							1
	実世界データ管理システム特論II-2(未開講)	1④		1							1
小計(5科目)	-		5								13
実践的教育科目	インターンシップII-A	1・2・3 ①②③		2							1
	インターンシップII-B	①②③ ④		1							1
	インターンシップII-C	1・2・3 ①②③ ④		2							1
	グローバルチャレンジII-A	1・2① ②③④		2							2
	グローバルチャレンジII-B	1・2①		3							2
	グローバルチャレンジII-C	1・2① ②③④		4							2
	グローバルチャレンジII-D	1・2① ②③④		5							2
	グローバルチャレンジII-E	1・2① ②③④		6							2
小計(8科目)	-		25								13
主専攻科目	計算論セミナーII-a	1①		1		1	1		1		1
	計算論セミナーII-b	1②		1		1	1		1		1
	計算論セミナーII-c(未開講)	1③		1		1	1		1		1
	計算論セミナーII-d(未開講)	1④		1		1	1		1		1
	計算論セミナーII-e(未開講)	2①		1		1	1		1		1
	計算論セミナーII-f(未開講)	2②		1		1	1		1		1
	計算論セミナーII-g	2③		1		1	1		1		1
	計算論セミナーII-h	2④		1		1	1		1		1
	情報プラットフォーム論セミナーII-a	1①		1		3	4		2		1
	情報プラットフォーム論セミナーII-b	1②		1		3	4		2		1
	情報プラットフォーム論セミナーII-c	1③		1		3	4		2		1
	情報プラットフォーム論セミナーII-d	1④		1		3	4		2		1
	情報プラットフォーム論セミナーII-e	2①		1		3	4		2		1
	情報プラットフォーム論セミナーII-f	2②		1		3	4		2		1
	情報プラットフォーム論セミナーII-g	2③		1		3	4		2		1
	情報プラットフォーム論セミナーII-h	2④		1		3	4		2		1
	ソフトウェア論セミナーII-a	1①		1		4	2		1		1
	ソフトウェア論セミナーII-b	1②		1		4	2		1		1
	ソフトウェア論セミナーII-c(未開講)	1③		1		4	2		1		1
	ソフトウェア論セミナーII-d(未開講)	1④		1		4	2		1		1
	ソフトウェア論セミナーII-e(未開講)	2①		1		4	2		1		1
	ソフトウェア論セミナーII-f(未開講)	2②		1		4	2		1		1
	ソフトウェア論セミナーII-g	2③		1		4	2		1		1
	ソフトウェア論セミナーII-h	2④		1		4	2		1		1
	情報ネットワークシステム論セミナーII-a	1①		1		2	2		2		2
	情報ネットワークシステム論セミナーII-b	1②		1		2	2		2		2
	情報ネットワークシステム論セミナーII-c	1③		1		2	2		2		2
	情報ネットワークシステム論セミナーII-d	1④		1		2	2		2		2
	情報ネットワークシステム論セミナーII-e	2①		1		2	2		2		2
	情報ネットワークシステム論セミナーII-f	2②		1		2	2		2		2
	情報ネットワークシステム論セミナーII-g	2③		1		2	2		2		2
	情報ネットワークシステム論セミナーII-h	2④		1		2	2		2		2
小計(32科目)	-		32		80	72		48			16
(研究指導)	-		-		10	9					
小計(1科目)	-		-		10	9					
合計(46科目)	-		62		90	81		48			42
卒業要件及び履修方法											
主専攻科目(セミナー)から6単位以上を含む合計8単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び学位試験に合格すること。											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

--

【平成29年度】

<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭の事情による就任辞退のため、「情報プラットフォーム論セミナーII-a~h」の専任教員の配置を「教授4」から「教授3」に変更。 ・ 教育内容の充実のため、「情報プラットフォーム論セミナーII-a~h」の兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。 ・ 教育内容の充実のため、「ソフトウェア論セミナーII-a~h」の兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。 ・ 家庭の事情による就任辞退のため、「(研究指導)」の専任教員の配置を「教授11」から「教授10」に変更。

【平成30年度】

<ul style="list-style-type: none"> ・ 他大学採用による辞任のため、「計算論セミナーII-a~h」の専任教員の配置を「教授2」から「教授1」に変更。 ・ 教育内容の充実のため、「ソフトウェア論セミナーII-a~h」の専任教員の配置を「教授3」から「教授4」に変更。

【令和元年度】

<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育内容の充実のため、「計算論セミナーII-a~h」の専任教員の配置を「教授1」から「教授2」に変更。 ・ 教育内容の充実のため、「情報プラットフォーム論セミナーII-a~h」の専任教員の配置を「教授3」から「教授4」に変更。 ・ 担当教員の職位の変更のため、「情報プラットフォーム論セミナーII-a~h」の専任教員の配置を「准教授4」から「准教授5」に、「助教1」から「助教0」に変更。 ・ 教育内容の充実及び担当教員の職位の変更のため、「研究指導」の専任教員の配置を「教授10」から「教授12」に、「准教授9」から「准教授10」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	45 科目	0 科目	45 科目	0 科目 [0]	45 科目 [0]	0 科目 [0]	45 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{45} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 うち附属病院 51,789㎡ 施設整備（新築、改修、解体）に伴う、面積・室数の増減のため(元)					
	校舎敷地	628,131 617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131 617,966 ㎡						
	運動場用地	105,775 105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775 105,994 ㎡						
	小 計	733,906 723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906 723,960 ㎡						
	そ の 他	2,507,320 2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320 2,495,186 ㎡						
	合 計	3,241,226 3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226 3,219,146 ㎡						
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体					
		590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)						
(3) 教室等	講義室		演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体				
	252 -234 室		232 -240 室	1,680 -1,326 室	16 17 室 (補助職員 1 人)	14 室 (補助職員 0 人)					
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員を新規採用したため(29)					
	情報学研究科			114 112 室							
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体			
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル							
		冊	種	[うち外国書]					点	点	点
		3,272,188 -[1,527,524]-	54,571 [23,725] 54,836 [24,093]	30,880 [30,309] 20,848 [20,776]					59,261 10,294	17,798	129,577
		3,272,188 [1,527,524] 3,353,092 [1,550,503] 3,337,531 [1,531,848]	-(54,571 [23,725]) -(54,836 [24,093]) (54,722 [23,560])	-(30,880 [30,309]) -(20,848 [20,776]) (20,678 [20,608])					(59,261 10,294)	(17,798)	(129,577)
計	3,272,188 -[1,527,524]-	54,571 [23,725] 54,836 [24,093]	30,880 [30,309] 20,848 [20,776]	59,261 10,294	17,798	129,577					
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体				
	24,829 ㎡ 28,681 ㎡		2,031 2,195 席		3,140,500 冊						
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体				
	9,229 ㎡		弓道場、プール(25m×7コース)、陸上競技場(400mトラック)、テニスコート(11面)、野球場(1面)、相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場(各1か所)								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度			
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円			
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円				
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		千円	千円	千円	千円	千円	千円				
学生納付金以外の維持方法の概要											

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次 10	520	学士(文学)	1.04		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次 10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次 10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)			昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)			昭和24年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報学部				405		1.03	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	177	学士(情報学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数理学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,494				昭和24年度		3年次編入20人を含む。保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
医学科	6	107	3年次 5	662	学士(医学)	1.01	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	
保健学科	4	200	3年次 — 2年次 —	832	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				2,040		1.02		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		平成29年度より学生募集停止
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		平成29年度より学生募集停止
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		平成29年度より学生募集停止
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
化学生命工学科	4	99	—	297	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	249	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	330	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	354	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	450	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	120	学士(工学)	1.04	平成29年度	平成29年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
環境土木・建築学科	4	80	—	240	学士（工学）	1.01	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
農学部				680		1.07		昭和26年度		
生物環境科学科	4	35	—	140	学士（農学）	1.08		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士（農学）	1.06		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士（農学）	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 55 2年次 — 年次	7,979						
文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（文学）	—		昭和28年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	修士（歴史学） 博士（文学） 博士（歴史学）	—		平成12年度		
人文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 （博士前期課程）	2	104	—	208	修士（文学）	0.99	平成29年度	平成29年度		
（博士後期課程）	3	61	—	183	修士（歴史学） 修士（学術） 博士（文学） 博士（歴史学） 博士（学術）	0.73	平成29年度			
教育発達科学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 （博士前期課程）	2	32	—	64	修士（教育学）	0.73		昭和28年度 (平成12年度名称変更) 平成12年度		
（博士後期課程）	3	16	—	48	修士（教育） 博士（教育学） 博士（教育）	0.70				
心理発達科学専攻 （博士前期課程）	2	22	—	44	修士（心理学）	0.88		平成12年度		
（博士後期課程）	3	15	—	45	修士（臨床心理学） 博士（心理学）	0.86				
法学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
総合法政専攻 （博士前期課程）	2	35	—	70	修士（法学）	0.38		昭和28年度		
（博士後期課程）	3	17	—	51	修士（比較法学） 修士（現代法学） 博士（法学） 博士（比較法学） 博士（現代法学）	0.42		平成16年度		
実務法曹養成専攻 （専門職学位課程）	3	50	—	150	法務博士 （専門職）	0.66		平成16年度		
経済学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 （博士前期課程）	2	30	—	60	修士（経済学）	1.01		昭和28年度		
（博士後期課程）	3	15	—	45	修士（経営管理 学） 博士（経済学）	0.51		平成12年度		
産業経営システム専攻 （博士前期課程）	2	14	—	28	修士（経済学）	1.06		平成12年度		
（博士後期課程）	3	7	—	21	博士（経済学）	0.75				
情報学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 （博士前期課程）	2	14	—	28	修士（情報学）	1.13	平成29年度	平成29年度		
（博士後期課程）	3	4	—	12	修士（学術） 博士（情報学） 博士（学術）	0.91				
複雑系科学専攻 （博士前期課程）	2	36	—	72	修士（情報学）	1.19	平成29年度	平成29年度		
（博士後期課程）	3	8	—	24	修士（学術） 博士（情報学） 博士（学術）	0.79				

大学の名称	名古屋大学									備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地		
<u>社会情報学専攻</u> (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(情報学)	0.88	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1		
<u>(博士後期課程)</u>	3	5	—	15	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.66					
<u>心理・認知科学専攻</u> (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学) 修士(学術)	0.73	平成29年度	平成29年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	7	—	21	博士(情報学) 博士(学術)	0.99					
<u>情報システム学専攻</u> (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学) 修士(学術)	1.04	平成29年度	平成29年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	9	—	27	博士(情報学) 博士(学術)	0.55					
<u>知能システム学専攻</u> (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学) 修士(学術)	1.24	平成29年度	平成29年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	10	—	30	博士(情報学) 博士(学術)	0.83					
理学研究科											
<u>素粒子宇宙物理学専攻</u> (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05		昭和28年度 平成7年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	30	—	90	博士(理学)	0.88					
<u>物質理学専攻</u> (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20		平成7年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	22	—	66	博士(理学)	0.66					
<u>生命理学専攻</u> (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05		平成8年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	18	—	54	博士(理学)	0.42					
<u>名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻</u> (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度			
医学系研究科											
<u>総合医学専攻</u> (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12		昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)	
<u>名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度			
<u>名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度			
<u>名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度		平成30年10月学生受入開始	
<u>医科学専攻</u> (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87		平成13年度			
<u>医療行政コース</u>	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00					
<u>看護学専攻</u> (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(看護学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止	
<u>(博士後期課程)</u>	3	6	—	18	博士(看護学)	—					

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
医療技術学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	20 7	— —	40 21	修士(医療技術学) 博士(医療技術学)	— —		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
リハビリテーション療法学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	10 4	— —	20 12	修士(リハビリテーション療法学) 博士(リハビリテーション療法学)	— —		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(工学) 博士(工学)	— —		平成16年度		平成29年度より学生募集停止
マテリアル理工学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(工学) 博士(工学)	— —		平成16年度		平成29年度より学生募集停止
電子情報システム専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(工学) 博士(工学)	— —		平成16年度		平成29年度より学生募集停止
機械理工学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(工学) 博士(工学)	— —		平成16年度		平成29年度より学生募集停止
航空宇宙工学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(工学) 博士(工学)	— —		昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
社会基盤工学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(工学) 博士(工学)	— —		平成16年度		平成29年度より学生募集停止
結晶材料工学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(工学) 博士(工学)	— —		昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
エネルギー理工学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(工学) 博士(工学)	— —		平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
量子工学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(工学) 博士(工学)	— —		平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
マイクロ・ナノシステム工学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(工学) 博士(工学)	— —		平成16年度		平成29年度より学生募集停止
物質制御工学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(工学) 博士(工学)	— —		平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				
生命分子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03				
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18				
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年度名称変更) 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
生物圏資源学専攻										
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
生命技術科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
森林・資材科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	27 6	— —	54 12	修士(農学) 博士(農学)	1.09 0.46	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
植物生産科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	30 9	— —	60 18	修士(農学) 博士(農学)	1.11 0.60	平成30年度	平成30年度		
動物科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	28 7	— —	56 14	修士(農学) 博士(農学)	0.98 0.21	平成30年度	平成30年度		
応用生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	66 16	— —	132 32	修士(農学) 博士(農学)	1.04 0.57	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オ ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
国際開発専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— — — —		平成3年度 平成3年度		平成30年度より学生募集停止
国際協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— — — —		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(学術) 博士(学術)	— —		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
国際開発協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	44 22	— —	88 44	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学)	1.13 0.61	平成30年度	平成30年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
多元数理科学研究科					博士(学術)			平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
多元数理科学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(数理学)	1.06		平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(数理学)	0.49				
国際言語文化研究科								平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
日本語文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術)	—				
国際多元文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	博士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—				
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学)	0.87		平成13年度		
(博士後期課程)	3	24	—	72	修士(理学)	0.57				
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	博士(環境学)	1.24		平成13年度		
(博士後期課程)	3	21	—	63	修士(工学)	0.37				
					修士(建築学)					
博士(環境学)					博士(工学)					
博士(建築学)										
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(環境学)	0.84		平成13年度		
(博士後期課程)	3	13	—	39	修士(社会学)	0.48				
					修士(地理学)					
					修士(法学)					
					修士(経済学)					
					博士(環境学)					
					博士(社会学)					
					博士(地理学)					
					博士(法学)					
					博士(経済学)					
情報科学研究科								平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				
メディア科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				
創薬科学研究科 基盤創薬学専攻								平成24年度		
(博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学)	1.13		平成24年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(創薬科学)	0.66		平成26年度		
合計										
博士前期課程		1,604	0	3,208						
博士後期課程		568	0	1,638						
博士課程		161	—	644						
修士課程		30	—	50						
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	長岡 正隆 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	長岡 正隆 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	長岡 正隆 平成29年4月 工学博士
		情報学特論II※			情報学特論II※			情報学特論II※
兼任	教授	北 栄輔 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	北 栄輔 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	北 栄輔 平成29年4月 工学博士
		情報学特論II※ リーダーシップ特論※			情報学特論II※ リーダーシップ特論※			情報学特論II※ リーダーシップ特論※
兼任	教授	戸田山 和久 平成29年4月 文学 修士※	兼任	教授	戸田山 和久 平成29年4月 文学 修士※	兼任	教授	戸田山 和久 平成29年4月 文学 修士※
		情報学特論II※ 情報倫理II			情報学特論II※ 情報倫理II			情報学特論II※ 情報倫理II
兼任	教授	安田 孝美 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	安田 孝美 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	安田 孝美 平成29年4月 工学博士
		情報学特論II※ リーダーシップ特論※			情報学特論II※ リーダーシップ特論※			情報学特論II※ リーダーシップ特論※
兼任	教授	三輪 和久 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	三輪 和久 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	三輪 和久 平成29年4月 工学博士
		情報学特論II※			情報学特論II※			情報学特論II※
兼任	教授	村瀬 洋 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	村瀬 洋 平成29年4月 工学博士	兼任	教授	村瀬 洋 平成29年4月 工学博士
		情報学特論II※ リーダーシップ特論※ インターンシップII-A インターンシップII-B インターンシップII-C			情報学特論II※ リーダーシップ特論※ インターンシップII-A インターンシップII-B インターンシップII-C			情報学特論II※ リーダーシップ特論※ インターンシップII-A インターンシップII-B インターンシップII-C
兼任	教授	武田 一哉 平成29年4月 博士 (工学)	兼任	教授	武田 一哉 平成29年4月 博士 (工学)	兼任	教授	武田 一哉 平成29年4月 博士 (工学)
		情報学特論II※ 実世界データ循環システム特論II-1 実世界データ循環システム特論II-2 グローバルチャレンジII-A グローバルチャレンジII-B グローバルチャレンジII-C グローバルチャレンジII-D グローバルチャレンジII-E			情報学特論II※ 実世界データ循環システム特論II-1 実世界データ循環システム特論II-2 グローバルチャレンジII-A グローバルチャレンジII-B グローバルチャレンジII-C グローバルチャレンジII-D グローバルチャレンジII-E			情報学特論II※ 実世界データ循環システム特論II-1 実世界データ循環システム特論II-2 グローバルチャレンジII-A グローバルチャレンジII-B グローバルチャレンジII-C グローバルチャレンジII-D グローバルチャレンジII-E
兼任	准教授	井手 一郎 平成29年4月 博士 (工学)	兼任	准教授	井手 一郎 平成29年4月 博士 (工学)	兼任	准教授	井手 一郎 平成29年4月 博士 (工学)
		グローバルチャレンジII-A グローバルチャレンジII-B グローバルチャレンジII-C グローバルチャレンジII-D グローバルチャレンジII-E			グローバルチャレンジII-A グローバルチャレンジII-B グローバルチャレンジII-C グローバルチャレンジII-D グローバルチャレンジII-E			グローバルチャレンジII-A グローバルチャレンジII-B グローバルチャレンジII-C グローバルチャレンジII-D グローバルチャレンジII-E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
					大山 博司 平成29年4月 工学博士			大山 博司 平成29年4月 工学博士
			兼任	講師	情報プラットフォーム論セミナーII-a 情報プラットフォーム論セミナーII-b 情報プラットフォーム論セミナーII-c 情報プラットフォーム論セミナーII-d 情報プラットフォーム論セミナーII-e 情報プラットフォーム論セミナーII-f 情報プラットフォーム論セミナーII-g 情報プラットフォーム論セミナーII-h	兼任	講師	情報プラットフォーム論セミナーII-a 情報プラットフォーム論セミナーII-b 情報プラットフォーム論セミナーII-c 情報プラットフォーム論セミナーII-d 情報プラットフォーム論セミナーII-e 情報プラットフォーム論セミナーII-f 情報プラットフォーム論セミナーII-g 情報プラットフォーム論セミナーII-h
					佐藤 守一 平成29年4月 博士(工学)			佐藤 守一 平成29年4月 博士(工学)
			兼任	講師	ソフトウェア論セミナーII-a ソフトウェア論セミナーII-b ソフトウェア論セミナーII-c ソフトウェア論セミナーII-d ソフトウェア論セミナーII-e ソフトウェア論セミナーII-f ソフトウェア論セミナーII-g ソフトウェア論セミナーII-h	兼任	講師	ソフトウェア論セミナーII-a ソフトウェア論セミナーII-b ソフトウェア論セミナーII-c ソフトウェア論セミナーII-d ソフトウェア論セミナーII-e

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・家庭の事情により坂本直史教授就任辞退。担当する全科目に十分な数の専任教員が配置されているため、授業の実施に支障はない。
- ・平成29年4月大山博司講師（兼任）就任。
- ・平成29年4月佐藤守一講師（兼任）就任。

【平成30年度】

- ・他大学に採用されたため、金森敬文教授が辞任。
- ・平成30年4月榎勇一教授就任。平成29年7月教員審査済み。
- ・平成30年10月番原睦則教授就任。平成30年7月AC教員審査済み。
- ・平成30年10月石原亨教授就任。平成30年7月AC教員審査済み。

【令和元年度】

- ・松原豊助教の職位を准教授に変更。平成30年7月AC教員審査済み。
- ・平成31年4月増田豊助教就任。平成31年2月AC教員審査済み。

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4 名	3 名	3 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文科省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設 置 時 の 計 画					現 在（報 告 時）の 状 況				
教 授	准 教 授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准 教 授	講 師	助 教	計 (B)
11	9	0	5	25	12	10	0	5	27
(10)	(9)	(0)	(5)	(24)					
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
18	2	5			22	0	5		
(17)	(2)	(5)							
現 在（報 告 時）の 完 成 年 度 時 の 状 況					現 在（報 告 時）の 完 成 年 度 時 の 計 画				
教 授	准 教 授	講 師	助 教	計 (C)	教 授	准 教 授	講 師	助 教	計 (D)
12	10	0	5	27	12	10	0	5	27
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	[1]	[0]	[0]	[2]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
22	0	5			22	0	5		
[4]	[Δ2]	[0]			[4]	[Δ2]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、
完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年 齢 構 成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{27}{25} = \boxed{108} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{27} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	坂本 直史		選択	情報プラットフォーム論セミナーII-a	①	家庭の事情のため就任辞退 (29)			
				選択	情報プラットフォーム論セミナーII-b	①				
				選択	情報プラットフォーム論セミナーII-c	①				
				選択	情報プラットフォーム論セミナーII-d	①				
				選択	情報プラットフォーム論セミナーII-e	①				
				選択	情報プラットフォーム論セミナーII-f	①				
				選択	情報プラットフォーム論セミナーII-g	①				
				選択	情報プラットフォーム論セミナーII-h	①				
				—	(研究指導)	①				
2										
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	8	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	8	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	金森 敬文		選択	計算論セミナーII-a	①	H29.9.30付けで他大学に採用のため辞任 (30)			
				選択	計算論セミナーII-b	①				
				選択	計算論セミナーII-c	①				
				選択	計算論セミナーII-d	①				
				選択	計算論セミナーII-e	①				
				選択	計算論セミナーII-f	①				
				選択	計算論セミナーII-g	①				
				選択	計算論セミナーII-h	①				
				—	(研究指導)	①				
2										
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	8	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	8	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	16	科目	選択	16	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	16	科目	計	16	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - \text{③合計(D)} + (F)}{(2) - \text{②設置時の計画(A)}} = \frac{2}{25} = \boxed{8} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1		該当なし					
2							
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>就任を辞退した坂本直史教授の全担当科目について、専任教員が十分な人数で共同で担当していることに加え、後任の専任教員である石原亨教授が担当するため、授業の実施に支障はないと考えている。なお、石原亨教授は、既にAC教員審査を受けて、科目担当を認められている。</p> <p>学生に配布するシラバスや学生便覧の印刷以前に本件が明らかとなったことから、修正した上で配布しており、1年生だけでなく2年生にも配布していることから、学生への周知についても問題はない。</p> <p>辞任した金森敬文教授の全担当科目について、専任教員が十分な人数で共同で担当していることに加え、後任の専任教員である番原睦則教授が担当するため、授業の実施に支障はないと考えている。なお、番原睦則教授は、既にAC教員審査を受けて、科目担当を認められている。</p> <p>学生に配布するシラバスや学生便覧の印刷以前に本件が明らかとなったことから、修正した上で配布しており、1年生だけでなく2年生にも配布していることから、学生への周知についても問題はない。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<情報学研究科 情報システム学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

名古屋大学では、学内共同教育研究施設として「高等教育研究センター」を設置し、高等教育に関する専門的・実践的研究のもと、各種の教育改善支援を実施している。
また、情報学研究科では、FDは研究科執行部、教務入試委員会を主体として企画し、授業評価アンケートや教授会の前に講師を招いて実施する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

執行部会議及び教務入試委員会は、それぞれ夏休みなどを除いて原則として毎月1回開催している。その場において、FDに関する事項を随時審議する。

c 委員会の審議事項等

- ・ 学生による授業評価アンケートに関する事項
- ・ FDに関する事項
- ・ 学生の進学・休学・復学に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 本学新任教員研修FDへの参加
- ・ 新生に対する教育意識調査の実施（4月新生ガイダンス）
- ・ 学生による授業評価アンケートの実施（各学期末）
- ・ 授業アンケート及び教員自己評価結果に基づく授業方法改善のためのFDの開催（5月）
- ・ 教育目標及びシラバスの対比評価の実施（4月）
- ・ シラバスの点検（12月）
- ・ 紙レポート連携サービス説明会の開催（平成30年2月）
- ・ 教授会の前に行うテーマ別FD
 - 外国人教員によるイギリスの大学における状況の変化について（平成29年5月）
 - 研究費の適切な使用について（平成29年6月）（平成30年7月）
 - 学生相談総合センターによる現状報告と部局との連携について（平成29年11月）
 - ハラスメントの防止について（平成29年12月）
 - 安全保障輸出管理について（平成30年3月）
 - どのように精神科医と連携するか -精神科受診をためらう学生にどう勧めるか-（平成30年6月）
 - 産学連携における秘密情報管理（平成30年7月）

b 実施方法

・ 本学新任教員研修FDへの参加

高等教育研究センターが主催し、全学の新任教員を対象とした研修会を行った。各種職務の遂行に必要な基本情報及び授業で困ったときや改善したいときに参考となる情報を得る機会とした。

・ 新生に対する教育意識調査の実施（4月新生ガイダンス）

新生ガイダンスを開催し、本学部教育目標・カリキュラム及び修了要件を周知するとともに、新生教育意識調査アンケートを実施し、その結果をFDに反映させた。

・ 学生による授業評価アンケートの実施（各学期末）

教務入試委員会において、質問項目を検討・決定のうえ、これに基づいて授業評価アンケートを実施し、その結果を担当教員へフィードバックして授業実施方法等の改善に役立てている。

・ 授業アンケート及び教員自己評価結果に基づく授業方法改善のためのFDの開催（5月）

授業評価アンケート実施前に教務入試委員会において、授業評価アンケートの質問項目等について授業運営の改善に繋げるためにより効果的な質問となるよう出席教員間で検討し、質問項目が適切かどうかを検討し決定した。また、教員の自己評価結果についても授業方法の改善に繋がるようにこれを活用することを確認した。

・ 教育目標及びシラバスの対比評価の実施（4月）

シラバスを学生に公表するにあたり、その作成段階において、本学部の教育目標等と照らし合わせて適切な内容で作成するように授業を担当する全教員に依頼した。

・ シラバスの点検（12月）

次年度向けのシラバス作成にあたり、各教員に今年度のシラバスを点検し、必要に応じてこれを修正のうえ、次年度のシラバスを作成するように授業を担当する全教員に依頼した。

・ 紙レポート連携サービス説明会の開催（平成30年2月）

複合機などでスキャンしたレポートを解析し、受講者の学籍番号と点数を自動で読み取って、結果を出力できる紙レポートシステムの説明会を実施した。紙レポートの並び替えや成績入力の手間をなくしてミスを低減するとともに、解答用紙返却の効率化を図るシステムの利用方法を知る機会とした。

・ 教授会の前に行うテーマ別FD

教授会の開催前に、全教員を対象としたテーマ別のFDを開催した。

[外国人教員によるイギリスの大学における状況の変化について]

外国人教員による講演と質疑応答を通じて、海外の大学の状況について、学ぶ機会とした。

[研究費の適切な使用について]

研究費の適正使用、不正防止の重要性を再認識する機会とした。

[学生相談総合センターによる現状報告と部局との連携について]

学生相談総合センターより、学生の状況や相談内容、学生支援の現状について報告があった後、センターと学部、研究科との連携について、意見交換を行った。

[ハラスメントの防止について]

ハラスメント相談センターにより、学生の指導上起こり得るハラスメントの具体例とその対応策について説明を受けたあと、質疑応答による議論により、学生指導に関する知識を深める機会とした。

[安全保障輸出管理について]

国内での留学生等への技術指導も対象となりえる安全保障輸出管理について、学術研究・産学官連携推進本部による講演により、知識を深める機会とした。

[どのように精神科医と連携するか -精神科受診をためらう学生にどう勧めるか-]

学生相談総合センターにより、代表的な病気の特徴、受診をためらう学生にセンターや精神科等の受診を勧める方法について説明を受けた後、質疑応答による議論により、学生指導に関する知識を深める機会とした。

[産学連携における秘密情報管理]

学術研究・産学官連携推進本部により、秘密情報の定義、秘密情報漏洩時の学内措置及び代表的事例、秘密情報管理における適切な保管方法及び注意点等について説明を受けた後、質疑応答による議論により、学生指導に関する知識を深める機会とした。

○ 開催状況（教員の参加状況含む）

・ 本学新任教員研修FDへの参加

平成29年4月開催に新任教員2名が参加、平成30年4月開催に新任教員1名が参加

・ 新生に対する教育意識調査の実施（4月新生ガイダンス）

平成29年4月、平成30年4月開催に専任教員多数が参加

・ 授業アンケート及び教員自己評価結果に基づく授業方法改善のためのFDの開催

教務入試委員会（委員長1名、研究科委員6名）を年間12回開催し、教務内容全般について、審議・改善を図り、その中で、授業アンケートや教員自己評価の結果等について検討した。

・ 教育目標及びシラバスの対比評価の実施

シラバスを学生に公表するにあたり、その作成段階において、全教員が本学部の教育目標等と照らし合わせて適切な内容で作成した。

・ シラバスの点検

シラバスを学生に公表するにあたり、その作成段階において、全教員が本研究科の教育目標等と照らし合わせて適切な内容で作成した。

・ 紙レポート連携サービス説明会の開催（平成30年2月）教授会の前に行うテーマ別FD

・ 教授会の前に行うテーマ別FD

教授会の前に開催し、専任教員の7割程度が参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・学生へのアンケート結果を踏まえて、教務入試委員会で対策を議論。その結果を各専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。

・全学的な取り組みとして、新任教員に対するFDや学生相談総合センター等の各種専門分野の教職員によるFDを通じて、学生指導に関する様々な観点からの研鑽を行っている。また、授業を効率化するシステムの開発、周知を通じて、授業の改善に役立っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

少人数のセミナーを除く全講義科目で学生による授業評価を実施し、アンケート結果を教員にフィードバックして教育の質の向上に役立っている。実施時期は、原則として各期における最終の授業時に行う。各授業科目についてアンケートが実施されることは、事前に教員及び学生に通知する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は、教員及び学生に公開することを原則とし、項目を選んで公開する。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況(各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む)

該当なし

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

申請時の授業科目が漏れなく開講できており、設置計画を着実に実行している。
今後も、さらに総合的な研究教育体制を整備し、本学部の一層の充実を図る。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和元年10月頃 公表予定

b 公表方法

- ・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省あて提出している。
- ・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。

③ 認証評価を受ける計画

- ・学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 6月 1日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

(2) 大学名

名古屋大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷通子 (平成27年4月)		
研究科長	(ムラセ ヒロシ) 村瀬洋 (平成29年4月)		

副研究科長	(キタ エイスケ) 北 栄 輔 (平成29年4月)		
副研究科長	(アリタ タカヤ) 有 田 隆 也 (平成29年4月)	(エダヒロ マサト) 枝 廣 正 人 (平成31年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成31年4月 1日(31)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
情報学研究科 知能システム学専攻 (博士後期課程) 博士(情報学) 博士(学術)	工学関係	3年	10人	年次人	30人	基礎となる学部等 情報学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	0.93 倍	-	
志願者数	()	()	()	()	6	2	11	4	8	()	()	()			
受験者数	()	()	()	()	6	2	11	4	()	()	()	()			
合格者数	()	()	()	()	6	2	10	3	7	()	()	()			
B 入学者数	()	()	()	()	6	2	10	3	7	()	()	()			
入学定員超過率 B/A					0.80		1.30		0.70						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	6 [4] (-)	2 [2] (-)	10 [2] (-)	3 [2] (-)	7 [4] (-)	3 [2] (-)			
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	6 [4] (-)	2 [2] (-)	10 [2] (-)	2 [2] (-)			
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	6 [4] (-)	[] ()		
4年次	/				[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()		
計			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	8 [6] (-)	18 [8] (-)	28 [5] (-)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	8人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	21人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	28人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{18} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{28} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<情報学研究科 知能システム学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	情報学特論II	1①		1		2						5
	情報倫理II	1②		1								1
	リーダーシップ特論	1①		1		1						2
	実世界データ循環システム特論II-1	1③		1		1						
	実世界データ循環システム特論II-2	1④		1		1						
	小計(5科目)	-		5		5						8
実践的教育科目	インターンシップII-A	1・2・3 ①②③④		2		1						
	インターンシップII-B	1・2・3 ①②③④		1		1						
	インターンシップII-C	1・2・3 ①②③④		2		1						
	グローバルチャレンジII-A	1・2① ②③④		2		1	1					
	グローバルチャレンジII-B	1・2① ②③④		3		1	1					
	グローバルチャレンジII-C	1・2① ②③④		4		1	1					
	グローバルチャレンジII-D	1・2① ②③④		5		1	1					
グローバルチャレンジII-E	1・2① ②③④		6		1	1						
	小計(8科目)	-		25		8	5					
主専攻科目	セミナー	基盤知能情報学セミナーII-a	1①	1		3	4		1			
		基盤知能情報学セミナーII-b	1②	1		3	4		1			
		基盤知能情報学セミナーII-c	1③	1		3	4		1			
		基盤知能情報学セミナーII-d	1④	1		3	4		1			
		基盤知能情報学セミナーII-e	2①	1		3	4		1			
		基盤知能情報学セミナーII-f	2②	1		3	4		1			
		基盤知能情報学セミナーII-g	2③	1		3	4		1			
		基盤知能情報学セミナーII-h	2④	1		3	4		1			
		システム知能情報学セミナーII-a	1①	1		4	2		3			
		システム知能情報学セミナーII-b	1②	1		4	2		3			
		システム知能情報学セミナーII-c	1③	1		4	2		3			
		システム知能情報学セミナーII-d	1④	1		4	2		3			
		システム知能情報学セミナーII-e	2①	1		4	2		3			
		システム知能情報学セミナーII-f	2②	1		4	2		3			
		システム知能情報学セミナーII-g	2③	1		4	2		3			
		システム知能情報学セミナーII-h	2④	1		4	2		3			
		フィールド知能情報学セミナーII-a	1①	1		2	1		2			
		フィールド知能情報学セミナーII-b	1②	1		2	1		2			
		フィールド知能情報学セミナーII-c	1③	1		2	1		2			
		フィールド知能情報学セミナーII-d	1④	1		2	1		2			
		フィールド知能情報学セミナーII-e	2①	1		2	1		2			
		フィールド知能情報学セミナーII-f	2②	1		2	1		2			
		フィールド知能情報学セミナーII-g	2③	1		2	1		2			
		フィールド知能情報学セミナーII-h	2④	1		2	1		2			
	小計(24科目)	-		24		72	56		48			
	(研究指導)	-		-		9	7					
	小計(1科目)	-		-		9	7					
	合計(37科目)	-		54		94	68		48			8

卒業要件及び履修方法

主専攻科目(セミナー)から6単位以上を含む合計8単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び学位試験に合格すること。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	情報学特論II(未開講)	1①		1		2						5
	情報倫理II(未開講)	1②		1								1
	リーダーシップ特論(未開講)	1①		1		1						2
	実世界データ循環システム特論II-1(未開講)	1③		1		1						
	実世界データ循環システム特論II-2(未開講)	1④		1		1						
	小計(5科目)	-		5		5						8
実践的教育科目	インターンシップII-A	1・2・3 ①②③④		2		1						
	インターンシップII-B	1・2・3 ①②③④		1		1						
	インターンシップII-C	1・2・3 ①②③④		2		1						
	グローバルチャレンジII-A	1・2① ②③④		2		1	1					
	グローバルチャレンジII-B	1・2① ②③④		3		1	1					
	グローバルチャレンジII-C	1・2① ②③④		4		1	1					
	グローバルチャレンジII-D	1・2① ②③④		5		1	1					
グローバルチャレンジII-E	1・2① ②③④		6		1	1						
	小計(8科目)	-		25		8	5					
主専攻科目	セミナー	基盤知能情報学セミナーII-a	1①	1		4	4		1			1
		基盤知能情報学セミナーII-b	1②	1		4	4		1			1
		基盤知能情報学セミナーII-c	1③	1		4	4		1			1
		基盤知能情報学セミナーII-d	1④	1		4	4		1			1
		基盤知能情報学セミナーII-e	2①	1		4	4		1			1
		基盤知能情報学セミナーII-f	2②	1		4	4		1			1
		基盤知能情報学セミナーII-g	2③	1		4	4		1			1
		基盤知能情報学セミナーII-h	2④	1		4	4		1			1
		システム知能情報学セミナーII-a	1①	1		4	3		3			3
		システム知能情報学セミナーII-b	1②	1		4	3		3			3
		システム知能情報学セミナーII-c	1③	1		4	3		3			3
		システム知能情報学セミナーII-d	1④	1		4	3		3			3
		システム知能情報学セミナーII-e	2①	1		4	3		3			3
		システム知能情報学セミナーII-f	2②	1		4	3		3			3
		システム知能情報学セミナーII-g	2③	1		4	3		3			3
		システム知能情報学セミナーII-h	2④	1		4	3		3			3
		フィールド知能情報学セミナーII-a	1①	1		3	0		2			2
		フィールド知能情報学セミナーII-b	1②	1		3	0		2			2
		フィールド知能情報学セミナーII-c	1③	1		3	0		2			2
		フィールド知能情報学セミナーII-d	1④	1		3	0		2			2
		フィールド知能情報学セミナーII-e	2①	1		3	0		2			2
		フィールド知能情報学セミナーII-f	2②	1		3	0		2			2
		フィールド知能情報学セミナーII-g	2③	1		3	0		2			2
		フィールド知能情報学セミナーII-h	2④	1		3	0		2			2
	小計(24科目)	-		24		88	56		48			8
	(研究指導)	-		-		11	7					
	小計(1科目)	-		-		11	7					
	合計(37科目)	-		54		112	68		48			16

卒業要件及び履修方法

主専攻科目(セミナー)から6単位以上を含む合計8単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び学位試験に合格すること。

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	情報学特論II	1①		1		2						5
	情報倫理II	1②		1								1
	リーダーシップ特論(未開講)	1①		1		1						2
	実世界データ循環システム特論II-1	1③		1		1						
	実世界データ循環システム特論II-2	1④		1		1						
小計(5科目)	-		5		5							8
実践的教育科目	インターンシップII-A	1・2・3 ①②③ A		2		1						
	インターンシップII-B	1・2・3 ①②③ B		1		1						
	インターンシップII-C	1・2・3 ①②③ C		2		1						
	グローバルチャレンジII-A	1・2① ②③④		2		1	1					
	グローバルチャレンジII-B	1・2① ②③④		3		1	1					
	グローバルチャレンジII-C	1・2① ②③④		4		1	1					
	グローバルチャレンジII-D	1・2① ②③④		5		1	1					
	グローバルチャレンジII-E	1・2① ②③④		6		1	1					
小計(8科目)	-		25		8	5						
主専攻科目 セミナー	基礎知能情報学セミナーII-a	1①		1		3	5		1			1
	基礎知能情報学セミナーII-b	1②		1		3	5		1			1
	基礎知能情報学セミナーII-c	1③		1		3	5		1			1
	基礎知能情報学セミナーII-d	1④		1		3	5		1			1
	基礎知能情報学セミナーII-e	2①		1		3	5		1			1
	基礎知能情報学セミナーII-f	2②		1		3	5		1			1
	基礎知能情報学セミナーII-g	2③		1		3	5		1			1
	基礎知能情報学セミナーII-h	2④		1		3	5		1			1
	システム知能情報学セミナーII-a	1①		1		4	3		3			3
	システム知能情報学セミナーII-b	1②		1		4	3		3			3
	システム知能情報学セミナーII-c	1③		1		4	3		3			3
	システム知能情報学セミナーII-d	1④		1		4	3		3			3
	システム知能情報学セミナーII-e	2①		1		4	3		3			3
	システム知能情報学セミナーII-f	2②		1		4	3		3			3
	システム知能情報学セミナーII-g	2③		1		4	3		3			3
	システム知能情報学セミナーII-h	2④		1		4	3		3			3
	フィールド知能情報学セミナーII-a(未開講)	1①		1		2	1		2			2
	フィールド知能情報学セミナーII-b(未開講)	1②		1		2	1		2			2
	フィールド知能情報学セミナーII-c(未開講)	1③		1		2	1		2			2
	フィールド知能情報学セミナーII-d(未開講)	1④		1		2	1		2			2
	フィールド知能情報学セミナーII-e(未開講)	2①		1		2	1		2			2
	フィールド知能情報学セミナーII-f(未開講)	2②		1		2	1		2			2
	フィールド知能情報学セミナーII-g(未開講)	2③		1		2	1		2			2
	フィールド知能情報学セミナーII-h(未開講)	2④		1		2	1		2			2
小計(24科目)	-		24		72	72		48				8
(研究指導)	-		-		9	9						
小計(1科目)	-		-		9	9						
合計(37科目)	-		54		94	86		48				16
卒業要件及び履修方法												
主専攻科目(セミナー)から6単位以上を含む合計8単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び学位試験に合格すること。												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	情報学特論II(未開講)	1①		1		2						5
	情報倫理II(未開講)	1②		1								1
	リーダーシップ特論(未開講)	1①		1		1						2
	実世界データ循環システム特論II-1(未開講)	1③		1		1						
	実世界データ循環システム特論II-2(未開講)	1④		1		1						
小計(5科目)	-		5		5							8
実践的教育科目	インターンシップII-A	1・2・3 ①②③ A		2		1						
	インターンシップII-B	1・2・3 ①②③ B		1		1						
	インターンシップII-C	1・2・3 ①②③ C		2		1						
	グローバルチャレンジII-A	1・2① ②③④		2		1	1					
	グローバルチャレンジII-B	1・2① ②③④		3		1	1					
	グローバルチャレンジII-C	1・2① ②③④		4		1	1					
	グローバルチャレンジII-D	1・2① ②③④		5		1	1					
	グローバルチャレンジII-E	1・2① ②③④		6		1	1					
小計(8科目)	-		25		8	5						
主専攻科目 セミナー	基礎知能情報学セミナーII-a	1①		1		3	4		2			1
	基礎知能情報学セミナーII-b	1②		1		3	4		2			1
	基礎知能情報学セミナーII-c	1③		1		3	4		2			1
	基礎知能情報学セミナーII-d	1④		1		3	4		2			1
	基礎知能情報学セミナーII-e	2①		1		3	4		2			1
	基礎知能情報学セミナーII-f	2②		1		3	4		2			1
	基礎知能情報学セミナーII-g	2③		1		3	4		2			1
	基礎知能情報学セミナーII-h	2④		1		3	4		2			1
	システム知能情報学セミナーII-a	1①		1		4	3		3			3
	システム知能情報学セミナーII-b	1②		1		4	3		3			3
	システム知能情報学セミナーII-c	1③		1		4	3		3			3
	システム知能情報学セミナーII-d	1④		1		4	3		3			3
	システム知能情報学セミナーII-e	2①		1		4	3		3			3
	システム知能情報学セミナーII-f	2②		1		4	3		3			3
	システム知能情報学セミナーII-g	2③		1		4	3		3			3
	システム知能情報学セミナーII-h	2④		1		4	3		3			3
	フィールド知能情報学セミナーII-a	1①		1		3	0		2			2
	フィールド知能情報学セミナーII-b	1②		1		3	0		2			2
	フィールド知能情報学セミナーII-c	1③		1		3	0		2			2
	フィールド知能情報学セミナーII-d	1④		1		3	0		2			2
	フィールド知能情報学セミナーII-e	2①		1		3	0		2			2
	フィールド知能情報学セミナーII-f	2②		1		3	0		2			2
	フィールド知能情報学セミナーII-g	2③		1		3	0		2			2
	フィールド知能情報学セミナーII-h	2④		1		3	0		2			2
小計(24科目)	-		24		80	56		56				8
(研究指導)	-		-		10	7						
小計(1科目)	-		-		10	7						
合計(37科目)	-		54		103	68		56				16
卒業要件及び履修方法												
主専攻科目(セミナー)から6単位以上を含む合計8単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び学位試験に合格すること。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・教育内容の充実のため、「基盤知能情報学セミナーII-a~h」の専任教員の配置を「准教授4」から「准教授5」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「基盤知能情報学セミナーII-a~h」の兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「システム知能情報学セミナーII-a~h」の専任教員の配置を「准教授2」から「准教授3」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「(研究指導)」の専任教員の配置を「准教授7」から「准教授9」に変更。

【平成30年度】

- ・他大学採用による辞任のため、「基盤知能情報学セミナーII-a~h」の専任教員の配置を「准教授5」から「准教授4」に変更。
- ・担当教員の職位の変更のため、「フィールド知能情報学セミナーII-a~h」の専任教員の配置を「教授2」から「教授3」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の職位の変更および他大学採用による辞任のため、「(研究指導)」の専任教員の配置を「教授9」から「教授10」に、「准教授9」から「准教授7」に変更。

【令和元年度】

- ・教育内容の充実のため、「基盤知能情報学セミナーII-a~h」の専任教員の配置を「教授3」から「教授4」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「(研究指導)」の専任教員の配置を「教授10」から「教授11」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	37 科目	0 科目	37 科目	0 科目	37 科目	0 科目	37 科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{37} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容				備考			
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 うち附属病院 51,789㎡ 施設整備（新築、改修、解体）に伴う、面積・室数の増減のため（元）			
	校舎敷地	628,131 617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131 617,966 ㎡				
	運動場用地	105,775 105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775 105,994 ㎡				
	小計	733,906 723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906 723,960 ㎡				
	その他	2,507,320 2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320 2,495,186 ㎡				
	合計	3,241,226 3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226 3,219,146 ㎡				
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
		590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	252 -234 室	232 -240 室	1,680 -1,326 室	16 17 室 (補助職員 1 人)	14 室 (補助職員 0 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室数		専任教員を新規採用したため（29）			
	情報学研究科			114 112 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体	
		情報学部・情報学研究科	3,272,188 -[1,527,524]- 3,272,188 [1,527,524] 3,353,092 [1,550,503] 3,337,531 [1,531,848]	54,571 [23,725] 54,836 [24,093] -(54,571 [23,725]) -(54,836 [24,093]) (54,722 [23,560])	30,880 [30,309] 20,848 [20,776] -(30,880 [30,309]) -(20,848 [20,776]) (20,678 [20,608])	59,261 10,294 (59,261 10,294)	17,798 (17,798)		129,577 (129,577)
	計	3,272,188 -[1,527,524]- 3,272,188 [1,527,524] 3,353,092 [1,550,503] 3,337,531 [1,531,848]	54,571 [23,725] 54,836 [24,093] -(54,571 [23,725]) -(54,836 [24,093]) (54,722 [23,560])	30,880 [30,309] 20,848 [20,776] -(30,880 [30,309]) -(20,848 [20,776]) (20,678 [20,608])	59,261 10,294 (59,261 10,294)	17,798 (17,798)	129,577 (129,577)		
(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数		大学全体				
	24,829 ㎡ 28,681 ㎡	2,031 2,195 席	3,140,500 冊						
(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体			
	9,229 ㎡	弓道場、プール（25m×7コース）、陸上競技場（400mトラック）、テニスコート（11面）、野球場（1面）、相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場（各1か所）							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（元）」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

- ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次 10	520	学士(文学)	1.04		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次 10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次 10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)			昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)			昭和24年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報学部				405		1.03	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	177	学士(情報学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数理学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,494				昭和24年度		3年次編入20人を含む。保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
医学科	6	107	3年次 5	662	学士(医学)	1.01	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	
保健学科	4	200	3年次 — 2年次 —	832	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				2,040		1.02		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		平成29年度より学生募集停止
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		平成29年度より学生募集停止
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		平成29年度より学生募集停止
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
化学生命工学科	4	99	—	297	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	249	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	330	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	354	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	450	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	120	学士(工学)	1.04	平成29年度	平成29年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
環境土木・建築学科	4	80	—	240	学士（工学）	1.01	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
農学部				680		1.07		昭和26年度		
生物環境科学科	4	35	—	140	学士（農学）	1.08		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士（農学）	1.06		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士（農学）	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 55 2年次 — 年次	7,979						
文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（文学） 修士（歴史学）	—		昭和28年度 平成12年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	博士（文学） 博士（歴史学）	—				
人文学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 （博士前期課程）	2	104	—	208	修士（文学） 修士（歴史学） 修士（学術）	0.99	平成29年度	平成29年度		
（博士後期課程）	3	61	—	183	博士（文学） 博士（歴史学） 博士（学術）	0.73	平成29年度			
教育発達科学研究科								昭和28年度 (平成12年度名称変更) 平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 （博士前期課程）	2	32	—	64	修士（教育学） 修士（教育）	0.73				
（博士後期課程）	3	16	—	48	博士（教育学） 博士（教育）	0.70				
心理発達科学専攻 （博士前期課程）	2	22	—	44	修士（心理学） 修士（臨床心理学）	0.88		平成12年度		
（博士後期課程）	3	15	—	45	博士（心理学）	0.86				
法学研究科								昭和28年度 平成16年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
綜合法政専攻 （博士前期課程）	2	35	—	70	修士（法学） 修士（比較法学） 修士（現代法学）	0.38				
（博士後期課程）	3	17	—	51	博士（法学） 博士（比較法学） 博士（現代法学）	0.42				
実務法曹養成専攻 （専門職学位課程）	3	50	—	150	法務博士 （専門職）	0.66		平成16年度		
経済学研究科								昭和28年度 平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 （博士前期課程）	2	30	—	60	修士（経済学） 修士（経営管理 学）	1.01				
（博士後期課程）	3	15	—	45	博士（経済学）	0.51				
産業経営システム専攻 （博士前期課程）	2	14	—	28	修士（経済学）	1.06		平成12年度		
（博士後期課程）	3	7	—	21	博士（経済学）	0.75				
情報学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 （博士前期課程）	2	14	—	28	修士（情報学） 修士（学術）	1.13	平成29年度	平成29年度		
（博士後期課程）	3	4	—	12	博士（情報学） 博士（学術）	0.91				
複雑系科学専攻 （博士前期課程）	2	36	—	72	修士（情報学） 修士（学術）	1.19	平成29年度	平成29年度		
（博士後期課程）	3	8	—	24	博士（情報学） 博士（学術）	0.79				

大学の名称	名古屋大学									備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地		
<u>社会情報学専攻</u> (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(情報学)	0.88	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1		
<u>(博士後期課程)</u>	3	5	—	15	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.66					
<u>心理・認知科学専攻</u> (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学) 修士(学術)	0.73	平成29年度	平成29年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	7	—	21	博士(情報学) 博士(学術)	0.99					
<u>情報システム学専攻</u> (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学) 修士(学術)	1.04	平成29年度	平成29年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	9	—	27	博士(情報学) 博士(学術)	0.55					
<u>知能システム学専攻</u> (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学) 修士(学術)	1.24	平成29年度	平成29年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	10	—	30	博士(情報学) 博士(学術)	0.83					
理学研究科										昭和28年度	
<u>素粒子宇宙物理学専攻</u> (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05		平成7年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	30	—	90	博士(理学)	0.88					
<u>物質理学専攻</u> (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20		平成7年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	22	—	66	博士(理学)	0.66					
<u>生命理学専攻</u> (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05		平成8年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	18	—	54	博士(理学)	0.42					
<u>名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻</u> (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度			
医学系研究科									昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)
<u>総合医学専攻</u> (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12					
<u>名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度			
<u>名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度			
<u>名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度		平成30年10月学生受入開始	
<u>医科学専攻</u> (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87		平成13年度			
<u>医療行政コース</u>	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00					
<u>看護学専攻</u> (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(看護学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止	
<u>(博士後期課程)</u>	3	6	—	18	博士(看護学)	—					

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
医療技術学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	20 7	— —	40 21	修士(医療技術学) 博士(医療技術学)	— —		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
リハビリテーション療法学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	10 4	— —	20 12	修士(リハビリテーション療法学) 博士(リハビリテーション療法学)	— —		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(工学) 博士(工学)	— —		平成16年度		平成29年度より学生募集停止
マテリアル理工学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(工学) 博士(工学)	— —		平成16年度		平成29年度より学生募集停止
電子情報システム専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(工学) 博士(工学)	— —		平成16年度		平成29年度より学生募集停止
機械理工学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(工学) 博士(工学)	— —		平成16年度		平成29年度より学生募集停止
航空宇宙工学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(工学) 博士(工学)	— —		昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
社会基盤工学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(工学) 博士(工学)	— —		平成16年度		平成29年度より学生募集停止
結晶材料工学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(工学) 博士(工学)	— —		昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
エネルギー理工学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(工学) 博士(工学)	— —		平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
量子工学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(工学) 博士(工学)	— —		平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
マイクロ・ナノシステム工学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(工学) 博士(工学)	— —		平成16年度		平成29年度より学生募集停止
物質制御工学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(工学) 博士(工学)	— —		平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				
生命分子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03				
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18				
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年度名称変更) 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
生物圏資源学専攻										
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
生命技術科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
森林・資材科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	27 6	— —	54 12	修士(農学) 博士(農学)	1.09 0.46	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
植物生産科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	30 9	— —	60 18	修士(農学) 博士(農学)	1.11 0.60	平成30年度	平成30年度		
動物科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	28 7	— —	56 14	修士(農学) 博士(農学)	0.98 0.21	平成30年度	平成30年度		
応用生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	66 16	— —	132 32	修士(農学) 博士(農学)	1.04 0.57	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オ ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科 国際開発専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— — — —		平成3年度 平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
国際協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— — — —		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(学術) 博士(学術)	— —		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
国際開発協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	44 22	— —	88 44	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学)	1.13 0.61	平成30年度	平成30年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
多元数理科学研究科					博士(学術)			平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
多元数理科学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(数理学)	1.06		平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(数理学)	0.49				
国際言語文化研究科								平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
日本語文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術)	—				
国際多元文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	博士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—				
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学)	0.87		平成13年度		
(博士後期課程)	3	24	—	72	修士(理学)	0.57				
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(環境学)	1.24		平成13年度		
(博士後期課程)	3	21	—	63	修士(工学)	0.37				
					修士(建築学)					
					博士(環境学)					
					博士(工学)					
					博士(建築学)					
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(環境学)	0.84		平成13年度		
(博士後期課程)	3	13	—	39	修士(社会学)	0.48				
					修士(地理学)					
					修士(法学)					
					修士(経済学)					
					博士(環境学)					
					博士(社会学)					
					博士(地理学)					
					博士(法学)					
					博士(経済学)					
情報科学研究科								平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				
メディア科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				
創薬科学研究科 基盤創薬学専攻								平成24年度		
(博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学)	1.13		平成24年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(創薬科学)	0.66		平成26年度		
合計										
博士前期課程		1,604	0	3,208						
博士後期課程		568	0	1,638						
博士課程		161	—	644						
修士課程		30	—	50						
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	川西 康友 平成29年4月 博士 (情報学)	専	助教	川西 康友 平成29年4月 博士 (情報学)	専	助教	川西 康友 平成29年4月 博士 (情報学)
		基盤知能情報学セミナーII-a 基盤知能情報学セミナーII-b 基盤知能情報学セミナーII-c 基盤知能情報学セミナーII-d 基盤知能情報学セミナーII-e 基盤知能情報学セミナーII-f 基盤知能情報学セミナーII-g 基盤知能情報学セミナーII-h			基盤知能情報学セミナーII-a 基盤知能情報学セミナーII-b 基盤知能情報学セミナーII-c 基盤知能情報学セミナーII-d 基盤知能情報学セミナーII-e 基盤知能情報学セミナーII-f 基盤知能情報学セミナーII-g 基盤知能情報学セミナーII-h			基盤知能情報学セミナーII-a 基盤知能情報学セミナーII-b 基盤知能情報学セミナーII-c 基盤知能情報学セミナーII-d 基盤知能情報学セミナーII-e 基盤知能情報学セミナーII-f 基盤知能情報学セミナーII-g 基盤知能情報学セミナーII-h
専	助教	松本 哲也 平成29年4月 博士 (工学)	専	助教	松本 哲也 平成29年4月 博士 (工学)	専	助教	松本 哲也 平成29年4月 博士 (工学)
		システム知能情報学セミナーII-a システム知能情報学セミナーII-b システム知能情報学セミナーII-c システム知能情報学セミナーII-d システム知能情報学セミナーII-e システム知能情報学セミナーII-f システム知能情報学セミナーII-g システム知能情報学セミナーII-h			システム知能情報学セミナーII-a システム知能情報学セミナーII-b システム知能情報学セミナーII-c システム知能情報学セミナーII-d システム知能情報学セミナーII-e システム知能情報学セミナーII-f システム知能情報学セミナーII-g システム知能情報学セミナーII-h			システム知能情報学セミナーII-a システム知能情報学セミナーII-b システム知能情報学セミナーII-c システム知能情報学セミナーII-d システム知能情報学セミナーII-e システム知能情報学セミナーII-f システム知能情報学セミナーII-g システム知能情報学セミナーII-h
								藤井 慶輔 平成31年4月 博士(人間・環境学)
								基盤知能情報学セミナーII-a 基盤知能情報学セミナーII-b 基盤知能情報学セミナーII-c 基盤知能情報学セミナーII-d 基盤知能情報学セミナーII-e 基盤知能情報学セミナーII-f 基盤知能情報学セミナーII-g 基盤知能情報学セミナーII-h
専	助教	大野 誠寛 平成29年4月 博士 (情報科学)	専	助教	大野 誠寛 平成29年4月 博士 (情報科学)			
		システム知能情報学セミナーII-a システム知能情報学セミナーII-b システム知能情報学セミナーII-c システム知能情報学セミナーII-d システム知能情報学セミナーII-e システム知能情報学セミナーII-f システム知能情報学セミナーII-g システム知能情報学セミナーII-h			システム知能情報学セミナーII-a システム知能情報学セミナーII-b システム知能情報学セミナーII-c システム知能情報学セミナーII-d システム知能情報学セミナーII-e システム知能情報学セミナーII-f システム知能情報学セミナーII-g システム知能情報学セミナーII-h			

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・平成29年4月石黒祥生准教授就任。平成29年1月教員審査済み。
- ・平成29年4月笹野遼平准教授就任。平成29年1月教員審査済み。
- ・平成29年4月中谷智広講師（兼任）就任。
- ・松原茂樹准教授の職位を教授に変更。平成29年7月AC教員審査済み。

【平成30年度】

- ・他大学に採用されたため、宮島（山本）千代美准教授が辞任。
- ・大野誠寛助教辞任により、駒水孝裕助教に変更。平成29年11月AC教員審査済み。
- ・中谷智広講師（兼任）を小川厚徳講師（兼任）に変更。
- ・平成30年7月二宮芳樹教授就任。平成30年4～5月AC教員審査済み。

【令和元年度】

- ・平成31年4月藤井慶輔助教就任。平成31年2月AC教員審査済み。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時にお ける設置基準上の必要 教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4 名	3 名	3 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
9	7	0	6	22	10	7	0	7	24
(9)	(9)	(0)	(6)	(24)					
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
16	0	6			16	1	7		
(17)	(1)	(6)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
10	7	0	7	24	10	7	0	7	24
[1]	[0]	[0]	[1]	[2]	[1]	[0]	[0]	[1]	[2]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
16	1	7			16	1	7		
[0]	[1]	[1]			[0]	[1]	[1]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員のう ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{24}{22} = 109.09\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{24} = 0\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1		該当なし					
2							
合計（D）					後任補充状況の集計（E）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	准教授	宮島(山本) 千代美		選択	基盤知能情報学セミナーII-a	①	H30.3.31付けで他大学に採用のため辞任（30）			
				選択	基盤知能情報学セミナーII-b	①				
				選択	基盤知能情報学セミナーII-c	①				
				選択	基盤知能情報学セミナーII-d	①				
				選択	基盤知能情報学セミナーII-e	①				
				選択	基盤知能情報学セミナーII-f	①				
				選択	基盤知能情報学セミナーII-g	①				
				選択	基盤知能情報学セミナーII-h	①				
				—	(研究指導)	①				
2	助教	大野 誠寛		選択	システム知能情報学セミナーII-a	①	H29.10.31付けで他大学に採用のため辞任（30）			
				選択	システム知能情報学セミナーII-b	①				
				選択	システム知能情報学セミナーII-c	①				
				選択	システム知能情報学セミナーII-d	①				
				選択	システム知能情報学セミナーII-e	①				
				選択	システム知能情報学セミナーII-f	①				
				選択	システム知能情報学セミナーII-g	①				
				選択	システム知能情報学セミナーII-h	①				
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	16	科目	選択	16	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	16	科目	計	16	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	16	科目	選択	16	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	16	科目	計	16	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{2}{22} = 9.09\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1		該当なし						
2								
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>辞任した宮島千代美准教授の全担当科目について、専任教員が十分な人数で共同で担当していることに加え、後任の専任教員である二宮芳樹教授が担当するため、授業の実施に支障はないと考えている。なお、二宮芳樹教授は、既にAC教員審査を受けて、科目担当を認められている。</p> <p>学生に配布するシラバスや学生便覧の印刷以前に本件が明らかとなったことから、修正した上で配布しており、1年生だけでなく2年生にも配布していることから、学生への周知についても問題はない。</p> <p>辞任した大野誠寛助教の全担当科目について、専任教員が十分な人数で共同で担当していることに加え、後任の専任教員である駒水孝裕助教が担当するため、授業の実施に支障はないと考えている。なお、駒水孝裕助教は、既にAC教員審査を受けて、科目担当を認められている。</p> <p>学生に配布するシラバスや学生便覧の印刷以前に本件が明らかとなったことから、修正した上で配布しており、1年生だけでなく2年生にも配布していることから、学生への周知についても問題はない。</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<情報学研究科 知能システム専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>名古屋大学では、学内共同教育研究施設として「高等教育研究センター」を設置し、高等教育に関する専門的・実践的研究のもと、各種の教育改善支援を実施している。 また、情報学研究科では、FDは研究科執行部、教務入試委員会を主体として企画し、授業評価アンケートや教授会の前に講師を招いて実施する。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>執行部会議及び教務入試委員会は、それぞれ夏休みなどを除いて原則として毎月1回開催している。その場において、FDに関する事項を随時審議する。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生による授業評価アンケートに関する事項 ・ FDに関する事項 ・ 学生の進学・休学・復学に関する事項 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本学新任教員研修FDへの参加 ・ 新生に対する教育意識調査の実施（4月新生ガイダンス） ・ 学生による授業評価アンケートの実施（各学期末） ・ 授業アンケート及び教員自己評価結果に基づく授業方法改善のためのFDの開催（5月） ・ 教育目標及びシラバスの対比評価の実施（4月） ・ シラバスの点検（12月） ・ 紙レポート連携サービス説明会の開催（平成30年2月） ・ 教授会の前に行うテーマ別FD <ul style="list-style-type: none"> 外国人教員によるイギリスの大学における状況の変化について（平成29年5月） 研究費の適切な使用について（平成29年6月）（平成30年7月） 学生相談総合センターによる現状報告と部局との連携について（平成29年11月） ハラスメントの防止について（平成29年12月） 安全保障輸出管理について（平成30年3月） どのように精神科医と連携するか -精神科受診をためらう学生にどう勧めるか-（平成30年6月） 産学連携における秘密情報管理（平成30年7月）
--

b 実施方法

・本学新任教員研修FDへの参加

高等教育研究センターが主催し、全学の新任教員を対象とした研修会を行った。各種職務の遂行に必要な基本情報及び授業で困ったときや改善したいときに参考となる情報を得る機会とした。

・新入生に対する教育意識調査の実施（4月新入生ガイダンス）

新入生ガイダンスを開催し、本学部教育目標・カリキュラム及び修了要件を周知するとともに、新入生教育意識調査アンケートを実施し、その結果をFDに反映させた。

・学生による授業評価アンケートの実施（各学期末）

教務入試委員会において、質問項目を検討・決定のうえ、これに基づいて授業評価アンケートを実施し、その結果を担当教員へフィードバックして授業実施方法等の改善に役立てている。

・授業アンケート及び教員自己評価結果に基づく授業方法改善のためのFDの開催（5月）

授業評価アンケート実施前に教務入試委員会において、授業評価アンケートの質問項目等について授業運営の改善に繋げるためにより効果的な質問となるよう出席教員間で検討し、質問項目が適切かどうかを検討し決定した。また、教員の自己評価結果についても授業方法の改善に繋がるようにこれを活用することを確認した。

・教育目標及びシラバスの対比評価の実施（4月）

シラバスを学生に公表するにあたり、その作成段階において、本学部の教育目標等と照らし合わせて適切な内容で作成するように授業を担当する全教員に依頼した。

・シラバスの点検（12月）

次年度向けのシラバス作成にあたり、各教員に今年度のシラバスを点検し、必要に応じてこれを修正のうえ、次年度のシラバスを作成するように授業を担当する全教員に依頼した。

・紙レポート連携サービス説明会の開催（平成30年2月）

複合機などでスキャンしたレポートを解析し、受講者の学籍番号と点数を自動で読み取って、結果を出力できる紙レポートシステムの説明会を実施した。紙レポートの並び替えや成績入力の手間をなくしてミスを低減するとともに、解答用紙返却の効率化を図るシステムの利用方法を知る機会とした。

・教授会の前に行うテーマ別FD

教授会の開催前に、全教員を対象としたテーマ別のFDを開催した。

[外国人教員によるイギリスの大学における状況の変化について]

外国人教員による講演と質疑応答を通じて、海外の大学の状況について、学ぶ機会とした。

[研究費の適切な使用について]

研究費の適正使用、不正防止の重要性を再認識する機会とした。

[学生相談総合センターによる現状報告と部局との連携について]

学生相談総合センターより、学生の状況や相談内容、学生支援の現状について報告があった後、センターと学部、研究科との連携について、意見交換を行った。

[ハラスメントの防止について]

ハラスメント相談センターにより、学生の指導上起こり得るハラスメントの具体例とその対応策について説明を受けたあと、質疑応答による議論により、学生指導に関する知識を深める機会とした。

[安全保障輸出管理について]

国内での留学生等への技術指導も対象となりえる安全保障輸出管理について、学術研究・産学官連携推進本部による講演により、知識を深める機会とした。

[どのように精神科医と連携するか -精神科受診をためらう学生にどう勧めるか-]

学生相談総合センターにより、代表的な病気の特徴、受診をためらう学生にセンターや精神科等の受診を勧める方法について説明を受けた後、質疑応答による議論により、学生指導に関する知識を深める機会とした。

[産学連携における秘密情報管理]

学術研究・産学官連携推進本部により、秘密情報の定義、秘密情報漏洩時の学内措置及び代表的事例、秘密情報管理における適切な保管方法及び注意点等について説明を受けた後、質疑応答による議論により、学生指導に関する知識を深める機会とした。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・本学新任教員研修FDへの参加

平成29年4月開催に新任教員2名が参加、平成30年4月開催に新任教員1名が参加

・新入生に対する教育意識調査の実施（4月新入生ガイダンス）

平成29年4月、平成30年4月開催に専任教員多数が参加

・授業アンケート及び教員自己評価結果に基づく授業方法改善のためのFDの開催

教務入試委員会（委員長1名、研究科委員6名）を年間12回開催し、教務内容全般について、審議・改善を図り、その中で、授業アンケートや教員自己評価の結果等について検討した。

・教育目標及びシラバスの対比評価の実施

シラバスを学生に公表するにあたり、その作成段階において、全教員が本学部の教育目標等と照らし合わせて適切な内容で作成した。

・シラバスの点検

シラバスを学生に公表するにあたり、その作成段階において、全教員が本研究科の教育目標等と照らし合わせて適切な内容で作成した。

・紙レポート連携サービス説明会の開催（平成30年2月）

教授会の前に開催し、専任教員の7割程度が参加

・教授会の前に行うテーマ別FD

教授会の前に開催し、専任教員の7割程度が参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・学生へのアンケート結果を踏まえて、教務入試委員会で対策を議論。その結果を各専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。

・全学的な取り組みとして、新任教員に対するFDや学生相談総合センター等の各種専門分野の教職員によるFDを通じて、学生指導に関する様々な観点からの研鑽を行っている。また、授業を効率化するシステムの開発、周知を通じて、授業の改善に役立っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

少人数のセミナーを除く全講義科目で学生による授業評価を実施し、アンケート結果を教員にフィードバックして教育の質の向上に役立てている。実施時期は、原則として各期における最終の授業時に行う。各授業科目についてアンケートが実施されることは、事前に教員及び学生に通知する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は、教員及び学生に公開することを原則とし、項目を選んで公開する。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

- ① 体制
- a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）
該当なし
 - b 委員会の開催状況（回数や開催日など）
該当なし
 - c 委員会の審議事項等
該当なし
 - d その他
該当なし
- ② 審議状況
- a 審議した内容
該当なし
 - b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
該当なし
 - c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況
該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
申請時の授業科目が漏れなく開講できており、設置計画を着実に実行している。
今後も、さらに総合的な研究教育体制を整備し、本学部の一層の充実を図る。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期
・令和元年10月頃 公表予定
 - b 公表方法
・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省あて提出している。
・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。
- ③ 認証評価を受ける計画
・学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 6月 1日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注） ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。